

一括PDF 仕事

ドキュメンテーション



バージョン
2023.08.14.0943

バルクPDF.DE

著作権©2023 TADELSUCHT UG (有限責任)

1 はじめに1.1 BulkPDF とは何ですか?またどのように機能しますか?。	5
1.2 機能。	6
1.3 要件。。	9
1.3.1 システム。。	9
1.3.2 データ ソース - スプレッドシート ファイル。	9
1.3.3 データ ソース - Microsoft SQL Server。。	10
1.3.4 データ ソース - Microsoft Access。	10
1.3.5 JSON。	11
1.3.6 XML	11
1.3.7 データ ソース - MySQL/MariaDB サーバー。。	12
1.3.8 PDF フォーム。	12
1.4 標準 PDF フォームのフィールド タイプと一致するデータ。	13
1.4.1 テキストボックス。。	13
1.4.2 チェックボックス。。	13
1.4.3 ラジオボタン。	14
1.4.4 リストボックス。。	14
1.4.5 コンボボックス。。	14
1.5 BulkPDF ビジネスの特殊フィールドのタイプと一致するデータ。	15
1.5.1 ハイパーリンク。。	15
1.5.2 画像。	15
1.5.3 付属品。	15
1.5.4 スキャンした内容を入力するための追加ボタン フォーム。	15
1.5.5 追加の「テキストボックス」。	16
1.5.6 追加の「ラジオボタン」。。	16
1.5.7 「チェックボックスボタン」の追加。	16
1.5.8 バーコード。。	16
1.6 インストールとライセンス。。	17
1.6.1 グラフィカルなインストール。	17
1.7 無人インストール (サイレント インストール)。	18
1.7.1 ライセンス。	19
1.7.2 マルチユーザー/ターミナル サーバー ライセンス。。	19
2つの応用シナリオ (ステップバイステップの説明)	20
2.1 提供されるサンプル ファイル。	20
2.1.1 サンプル ファイルの詳細。。	20
2.1.2 サンプル PDF フォームに記入します。。	22
3 ユーザーインターフェースの詳細 (GUI)	32

3.1 ホーム。							32
3.1.1 概要。							33
3.1.2 ライセンスのアクティベーション。							34
3.1.3 設定: 保存とロード。							35
3.2 データソース。 3.2.1 概要。							36
							36
3.2.2 Excel/スプレッドシート ファイル。							37
3.2.3 Microsoft SQL サーバー。							39
3.2.4 Microsoft SQL Server カスタム クエリ。							41
3.2.5 Microsoft Access。							42
3.2.6 Microsoft Access カスタム クエリ。							44
3.2.7 JSON。							45
3.2.8 XML							47
3.2.9 スプレッドシート / Excel (列と行の入れ替え)							48
3.2.10 MySQL/MariaDB サーバー。							48
3.2.11 MySQL/MariaDB サーバーのカスタムクエリ。							50
3.3 PDF フォーム。							51
3.3.1 概要。							52
3.3.2 PDF プレビュー。							54
3.3.3 PDF フォームフィールドへのデータの割り当て。							55
3.3.4 テキストボックスと一般フィールドのデータ選択。							56
3.3.5 フォームフィールドにデータソースを使用します。							58
3.3.6 フォームフィールドの定数テキストを設定します。							60
3.3.7 個々のフォームフィールドの書き込み保護。							61
3.3.8 フォームフィールドの日付フォーマット。							62
3.3.9 チェックボックス。							64
3.3.10 ラジオボタン。							65
3.3.11 リストボックス。							66
3.3.12 コンボボックス。							67
3.3.13 バーコード全般。							67
3.3.14 QR コード。							68
3.3.15 ハイパーリンク。							70
3.3.16 画像。							71
3.3.17 添付ファイル。							72
3.4 オプション。							72
3.5 完了。							76
3.6 電子メールの下書きジェネレーター。							80
3.7 その他。							84
3.7.1 サポートウィンドウ。							85

3.7.2	ドキュメントウィンドウ。	。 。 。 。	。 。 。 。 。	。 。 。 。 。	。 。 。 。 。	。 。 。 。 。	86
3.7.3	エラーウィンドウ (例外) 。	。 。 。	。 。 。 。	。 。 。 。	。 。 。 。	。 。 。 。	87
3.7.4	フォントの選択とフォントの色の選択。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	87
3.7.5	追加機能。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	88
4	コマンドライン (BulkPDF ビジネスコンソール)						90
4.1	パラメータリスト。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	90
4.2	コンソール アプリケーションからの出力。		。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	92
5	つの設定ファイル						96
5.1	相対パス。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	96
5.2	構成ファイルからのサンプルの抜粋。				。 。 。	。 。 。	97
5.2.1	通常フィールド。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	98
5.2.2	特殊フィールド。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	。 。 。	99
5.2.3	グローバルオプション。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	99
5.2.4	ファイル名ジェネレーター。	。	。 。	。 。	。 。	。 。	100
5.2.5	電子メール。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	102
6	つのヒントとコツ						103
6.1	PDFescape を使用して PDF フォームを作成または修復します。					。 。 。	103
6.2	LibreOffice/OpenOffice Writer を使用した PDF フォームの作成。	。 。 。	103				
6.2.1	テキストフィールドの例 (テキストボックス) 。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	104
6.2.2	オプションフィールドの例 (ラジオボタン) 。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	105
6.2.3	マーキングフィールド (チェックボックス)。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	106
6.2.4	リストフィールド (リストボックス) 。	。	。	。	。	。	107
6.2.5	コンボボックス。						108
6.3	署名の作成。	。	。	。	。	。	108
6.4	日付のフォーマット。	。	。	。	。	。	108
6.5	接続文字列。	。	。	。	。	。	111
6.6	ドキュメントの同時印刷。						111
7	よくある質問 (FAQ)						112
7.1	BulkPDF Business のシステム要件は何ですか? 。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	112
7.2	BulkPDF がインストールされません。 [Windows スマート スクリーン] 。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	112
7.3	私のファイルやデータはアップロードされますか、それともそのまま残されますか? どういわけか私のコンピューター? 。						113
7.4	プログラムは Mac OS でも利用できますか? 。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	113
7.5	ライセンスを同時に使用できるユーザーの数は? は? 。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	113
7.6	ライセンスは何台のコンピュータで使用できますか? 。	。 。	。 。	。 。	。 。	。 。	113

7.7 「ライセンス キーは現在使用されています」というメッセージが表示されます すでにいくつかのデバイスで使用されています。」それはどういう意味ですか？。。。。	113
7.8 PDF プレビューでフォームフィールドが正しい場所がありません 遺伝子の位置がずれて表示されます。	114
7.9 BulkPDF Business114 に PDF フォーム フィールドが表示されない	
7.10 Acrobat Reader で Unicode 文字が正しく表示されない (中国語、キリル文字、アラビア語など)。。	114
7.11 Windows が間違った PDF ビューアを開き続けるか、 PDF ファイルを閲覧するための Web ブラウザ (Chrome,Edge)。。。。	115
7.12 System.InvalidCastException: データを boolean に変換できませんでした。。	116
7.13 System.IndexOutOfRangeException: "グループ内のラジオ ボタンは X 個のみです 見つかった。選択されたインデックスは Y でした。」	116
7.14 System.InvalidOperationException: 'Microsoft.ACE.OLEDB.12.0' プロバイダーがローカル マシンに登録されていません。。	116
7.15 Excel ファイルでデータが認識されません。。	116
7.16 日付フィールドも 00:00:00 で指定されます。どのようにすることができます それは削除されるのですか？。	116
7.17 データ ソース ファイル (Excel,CSV など) または PDFファイルを移動しました。私のBulkPDFビジネスはまだ機能しています 設定ファイル?。	117
7.18 バッチスクリプト経由でコンソールアプリケーションを呼び出す場合 ドイツ語のウムラウトなどの文字が正しく転送されない117	
7.19 フィールドの複数の列の組み合わせ。	117
7.20 データとプレビューに従って「チェックボックス」または「ラジオボタン」を入れる必要があります XFA PDF では選択されますが、Acrobat Reader では選択されず。。。。	117
7.21 生成された PDF の数値形式を修正するにはどうすればよいですか? テーブルに設定されている形式は維持されません。どのようにすることができます たとえば、小数点以下 2 桁の数値と EUR 記号など 最後に見せる?。	118
参考文献8件	119

1

導入

1.1 BulkPDF とは何ですか?またどのように機能しますか?

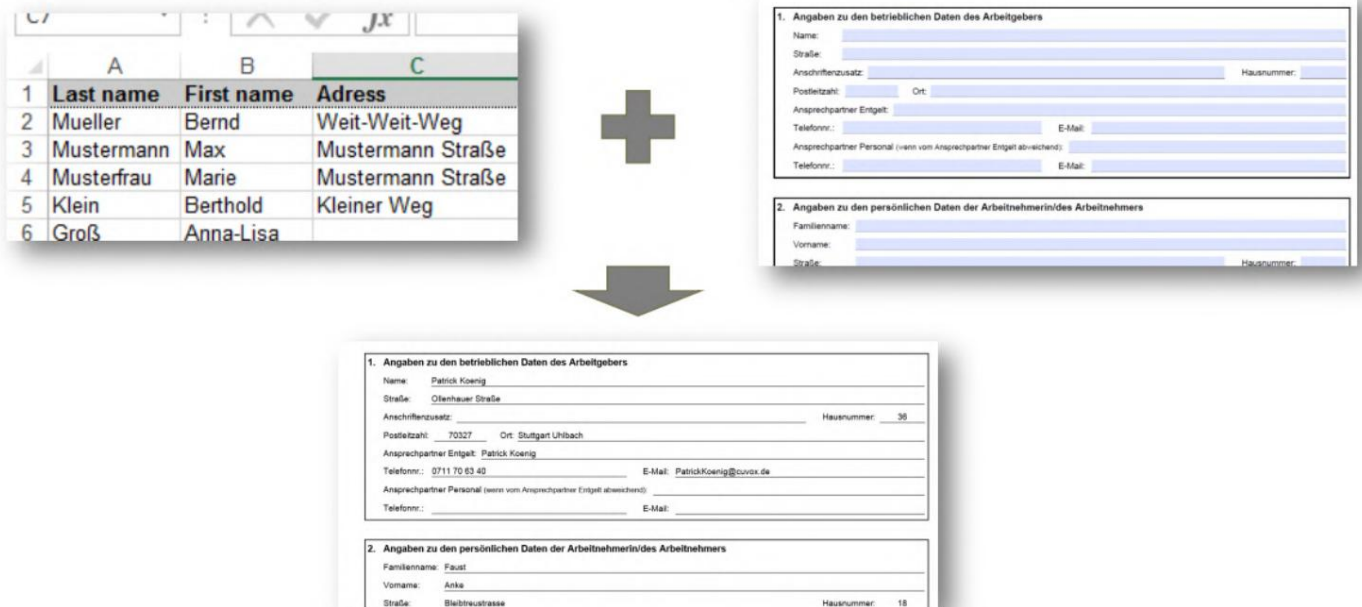
つまり、BulkPDF は、利用可能なデータを自動的に認識します。

選択した表形式のデータ ソース (Excel、SQL - データベースなど) の

見つかった列名は、フォーム フィールドに手動または自動で割り当てることができます。充填が開始された後、

ソフトウェアはテーブルを 1 行ずつ実行し、セルの値を PDF フォームに挿入します。PDF ファイルも表から取得されます。

描画したファイル名は保存されます。その結果、完成した PDF フォームが得られ、すぐに送信できます。



1.2 特徴

以下は、プログラムの機能の簡単な概要と詳細なリストです。

簡単な概要

使い方は簡単専門知識がなくても、わかりやすく簡単に使用できます。

将来に向けた最適化一度作成した PDF 構成は、すぐに作成できます。
また使われる。

データ ソースのサポートさまざまなデータ ソースがサポートされています (例: Excel、CSV、SQL データベースなど)。

クラウドを使わないデータ保護。データをアップロードせずに。欧州のデータ保護規制に準拠しています。ドイツ製。

アップデートプログラムは常に進化し、新しい機能が追加されています
装着した。

わずか数ステップで自動化

- 1. データソースの選択

- 2. 手動または自動で PDF フォームフィールドにデータを割り当てる

テーブル

- 3. ファイル名を選択します

数百もの PDF ドキュメントを同時に作成ワンクリックで、完成した PDF ドキュメントをいくつでも同時に作成できます。

バーコードさまざまなバーコードがサポートされています。(例: QR、データ マトリックス、PDF417、EAN8、EAN13、Codabar、Code11、Code39、Code93、Code128[A、B、C]、GS1-128、UPC)

さらなる機能

- AcroForm および XFA のサポート
- PDF 署名
- データに依存するファイル名
- 書き込み保護
- 画像とハイパーリンク
- PDFファイル

詳細な機能リスト

- ソフトウェアライセンス: プロプライエタリ
- PDF フォームに自動的に入力する
- ウォーターマークなし (デモ外)
- 無制限の数の PDF ファイル
- モダンでわかりやすいインターフェイス
- 積極的なさらなる開発
- ライブ PDF プレビュー
- PDF ファイルに署名
- マイクロソフトエクセル
- リプレオフィス/オープンオフィス

- Microsoft SQLサーバー
- MySQL / マリアDB
- 動的な PDF ファイルの命名
- PDF圧縮
- 日付の形式
- ピクチャー
- ハイパーリンク
- 電子メールの下書きジェネレーター
- 一次元バーコード (Codabar, Code11, Code128A, Code128, Code128B, Code128C, Code39, Code93, CodeUpc, Ean13, Ean8, GS1Code128)
- 二次元バーコード (Pdf417, DataMatrix_Barcode, QR)
- ドキュメント: はい、ただしまだ作成中です。
- インターネットなしで使用可能 (オフライン): はい、1 回限りのオンライン アクティベーション後は可能です。
- BulkPDF フリーウェア構成ファイルをサポート
- BulkPDF Business 構成ファイルをサポート
- コンソール アプリケーション (バッチ スクリプト統合)
- さまざまな書記体系 (Unicode) のサポート
- さまざまな言語に適した見栄えの良いフォントの選択。
筆記システム: 開発中。
- カスタムフォント
- アクロフォーム
- XFA: はい。ただし、一部の XFA ドキュメントはサポートされない場合があります。
- ウィンドウズ
- Mac OS: いいえ、ただし仮想マシンでは使用できません (例:
パラレル デスクトップ、VirtualBox)
- Linux: いいえ、ただし仮想マシンで使用可能 (例: Vir
tualBox)

1.3 要件

1.3.1 システム

Windows 7、Windows 8、Windows 10、および Windows 11 と互換性があります。

インストールには約 500 MB のディスク容量が必要です。このプログラムでは、ライセンスのアクティベーションのために 1 回限りのインターネット接続が必要です。

1.3.2 データ ソース - スプレッドシート ファイル

スプレッドシート ファイル内のデータを使用できるようにするには、

データの正しい形式を指定する必要があります。最初の行は常に属します

列名。これらには一意でわかりやすい名前を付ける必要があります

目的のレコードを選択するためにプログラムで使用されるため、独自のものです。

なる。BulkPDF は、空のセルが見つかるまで列名をチェックします。したがって、たとえば、最初の列の最初の行は空であってはなりません。空でない場合、

さらなるデータを見つけることができます。次に、プログラムは最大値を決定します

テーブル内の行数。これを行うために、プログラムは行ごとに処理を実行し、

行が完全に空のセルで構成されている場合にのみ停止します。

たとえば、有効なテーブルは次のようになります。

ファーストネーム	姓の住所	...
ミュラー	ベルント	はるか遠く
マスターマン・マックス		マスターマン通りおよび...
モデルの女性マリー		マスターマン通りおよび...
...

別の例として、付属のサンプル スプレッドシート ファイル

考慮する必要があります (2.1.1 を参照)。

スプレッドシート ファイルを読み取るための別のデータ ソースもあります。このデータ ソースでは、列と行の動作が逆になるため、たとえば次のテーブルも使用できます (詳細については、セクションを参照してください)。

3.2.9):

名前ベルント	マックス	マリー	...
姓 :ミュラー	ムスターマン	モデルの女性	...
住所	はるか遠くのマスターマン通り	マスターマン通り
...

Excel で Excel 関数を使用することは注目に値します。

データ ソースがサポートされており、データを表示する便利な方法を提供します

PDF フォームフィールドに挿入する前に処理して準備するため
なる。

このプログラムは、次のスプレッドシート ファイル形式をサポートしています[7]。

ファイル タイプ	コンテナ形式	ファイル形式.xlsx	OpenXml	Excel のバージョン
2007 以降	ZIP,CFB+ZIP			
.xlsb	郵便番号,CFB		OpenXml	2007 以降
.xls	CFB		BIFF8	97,2000,XP,2003 98,2001,vX,2004 (Mac)
.xls	CFB		BIFF5	5.0,95
.xls	-		BIFF4	4.0
.xls	-		BIFF3	3.0
.xls	-		BIFF2	2.0,2.2
.csv	-		CSV	(アレ)

1.3.3 データソース - Microsoft SQL Server

Microsoft SQL サーバーからのデータを使用する場合、データ取得にはいくつかのバリエーションがあります。

一方では、「接続文字列」を入力するだけで、それぞれのデータベースで使用可能なすべての接続文字列が自動的に
入力されるオプションを選択できます。

表が表示されます。これらのテーブルの 1 つを選択して、データ ソースとして機能させることができます。有効な

「接続文字列」の例については、「」を参照してください。

セクション6.5を参照してください。

2 番目のオプションは、「接続文字列」の隣にあるプレーンなオプションです。

必要なデータを返す SQL クエリを入力します。これ

オプションにより、Microsoft SQL 上で T-SQL の全機能が可能になります

BulkPDF 内のデータ ソースとしてサーバーを使用します。

1.3.4 データソース - Microsoft Access

「Microsoft Access」サーバーからのデータを使用できるものもいくつかあります。

データ収集用のバリエーションが利用可能です。

一方では、データベース ファイル (.accdb または .mdb) を選択するだけで、それぞれのデータベースで使用可
能なすべてのテーブルが自動的に表示されるオプションを選択できます。これらのテーブルから、

1 つを選択してデータ ソースとして機能させることができます。

2 番目のオプションは、ファイルの横に SQL クエリを入力する機能です。

これにより、必要なデータが得られます。このオプションでは、完全な
データ ソース用の Microsoft Access データベース上の SQL の機能
BulkPDF 内。

場合によっては、「Microsoft Access データベース エンジン 2010 再頒布可能 64 ビット バージョン」などの不足している依存関係をダウンロードしてインストールする必要がある場合があります (ポイント 7.14 を参照)。

1.3.5 JSON

JSON ファイル内のデータを使用できるようにするには、データが特定の形式である必要があります。次の JSON 構造は完全な状態になります。

例: BulkPDF で読み取り可能:

```
1  {
2    「テーブル」:[
3      {
4        "姓": "ミューラー",
5        "名": "ベルント",
6        "住所": "はるか遠く",
7        "チェックボックスの値": "はい",
8        "ラジオボタンの値": "2",
9        "Combobox_Value": "ケーキ"
10     },
11    {
12      "姓": "雌鹿",
13      ...
14      "Combobox_Value": "テスト"
15    },
16    ...
17  ]
18 }
```

1.3.6 XML

XML ファイル内のデータを使用できるようにするには、データが特定の形式である必要があります。次の XML 構造は完全な状態になります。

例: BulkPDF で読み取り可能:

```

1  <?xml バージョン="1.0" エンコーディング="UTF-8"?>
2  <ルート>
3    <行>
4      <Last_name>ミュラー</Last_name>
5      <First_name>ベルン</First_name>
6      <アドレス>はるか遠く</アドレス>
7      <Checkbox_Value>はい</Checkbox_Value>
8      <Radio_button_value>2</Radio_button_value>
9      <Combobox_Value>ケーキ</Combobox_Value>
10   </行>
11   <行>
12     <Last_name>雌鹿</Last_name>
13   ...
14     <Combobox_Value>テスト</Combobox_Value>
15   </行>
16   ...
17 </root>

```

1.3.7 データソース - MySQL / MariaDB サーバー

MySQL または MariaDB サーバーからのデータの BulkPDF への統合
いくつかの方法で実現できます。

方法の 1 つは、「接続文字列」を入力することです。

関連するデータベースの使用可能なテーブルが自動的にリストされます。このリストからテーブルをデータ ソースとして選択できます。有効な「接続文字列」形式のサンプル例については、次を参照してください。

セクション 6.5 を参照してください。

もう 1 つの方法は、「接続文字列」に加えて必要なデータを提供する SQL クエリを作成することです。この方法を使用すると、MySQL または MariaDB で SQL 関数の全範囲を使用できます。

サーバーを使用して、BulkPDF 内でデータ ソースを構成できます。

エレン。

1.3.8 PDF フォーム

PDF フォームは、Acro 形式のフォーム要素を含む PDF ファイルです。

Forms または XFA が所有します。このようなフォーム要素は次のように認識できます。

Acrobat Reader で、たとえばテキストフィールドをクリックしてテキストを入力したとき

できる。一方、テキストを入力するために、最初に Acrobat Reader でテキストフィールド自体の枠を描画する必要がある場合は、

本当の意味での PDF フォームではなく、PDF です。

フォームを表すファイル。この表現は、スキャンされた画像、または目に見える文字 (アンダースコアなど) でマークされたフォームに過ぎず、印刷版では手動でのみ入力できます。このようなドキュメントは、BulkPDF Business によって、追加の「テキストボックス」、「ラジオ ボタン」、および「チェックボックス」特殊フィールド タイプを使用して非常に二次的にのみサポートされます。

実際の PDF フォームでは、これらのフォーム フィールドにはすべて名前があり、すでに値またはデフォルト値が設定されている場合があります。BulkPDF を簡単に使用するには、PDF ファイル内のフォーム フィールド名が意味のあるものである必要があります。

これらは、BulkPDF でデータを割り当てるときに簡単に識別できます。

有効な例については、プログラムに付属のサンプル フォームまたはセクション 2 を参照してください。

1.4 標準 PDF フォームのフィールド タイプと一致するデータ

このサブ章では、PDF フォームで使用できるすべてのフィールド タイプについて説明します。さらに、BulkPDF Business が期待するデータは、

田畑。

1.4.1 テキストボックス

「テキストボックス」フィールドには、バージョンに応じて単一行または複数行のテキストが含まれます。さらに、そのようなフィールドにはフォント、フォント サイズ、書き込み保護を設定できます。選択したフォントに基づいて

考えられるすべての文字をサポートします。

TEXTFELD-BEISPIEL (TEXTBOX):

Vorname: **Nachname:**

1.4.2 チェックボックス

「チェックボックス」フィールドは選択されていても、選択されていない場合があります。

MARKIERFELD (CHECKBOX):

Umweltfreundliche Verpackung:

このタイプのフィールドに入力するには、次の値を使用できます。

「X」が選択されました	「Y」が選択されていない
1	0
真実	間違い
の上	オフ
y	n
はい	いいえ
はい	いいえ
ウイ	非
シ	

1.4.3 ラジオボタン

「ラジオ ボタン」は実際には選択可能な「チェックボックス」のようなフィールドのグループですが、選択できる項目は1つだけです。のために

このタイプのフィールドに入力するには、項目のインデックスに対応する番号が必要です。以下の例では、「男性」が「1」、「女性」が「2」、「その他」が「3」となります。

OPTIONSFELD-BEISPIEL (RADIOBOX):

Geschlecht: Männlich Weiblich Divers

1.4.4 リストボックス

「リストボックス」とは、PDFフォームの設定に応じて、リストから1つ以上の値を選択できるリストフィールドタイプです。のために

PDFフォームの作成者が指定した値を入力できます

定数値を介して取得されるか、データ ソースを介して動的に取得されます。動的バリエーションでは、選択されるテキストは次のようにする必要があります。

書き出すための PDF フォーム。

LISTENFELD (LISTBOX):

Zugehörige Branche: IT
Industrial
Cake-Factory
Tax

1.4.5 コンボボックス

「コンボ ボックス」は、主に「リスト ボックス」と同様に動作しますが、このフィールド タイプを対象としており、リセットされていない独自のフィールド タイプも使用できる点が異なります。

値を使用できます。

KOMBINATIONSFELD (COMBOBOX):

Derzeitige Tätigkeit:

1.5 BulkPDF Business の特殊フィールド タイプと一致するデータ

1.5.1 ハイパーリンク

ハイパーリンクは、テキストと参照先の URL の 2 つのコンポーネントで構成されます。両方の値をフィールドの位置の隣に設定する必要があります
なる。ハイパーリンクのフォントを設定することもできます。

1.5.2 画像

画像には、位置と希望のサイズに加えて、値としてファイル パスが必要です。次のファイル タイプがサポートされています。

1. BMP
2. JPEG
3. GIF
4. PNG
5. TIF
6. ICOとアイコン

1.5.3 ファイル添付

添付ファイルは、システム上のファイルへのパスを値として表します。ファイルの説明はファイル名であり、MIME タイプはファイル拡張子に基づいて自動的に決定されます。

1.5.4 スキャンしたフォームに記入するための追加ボタン

本当の意味でのPDF形式ではないのですが、
フォームの画像のみを含む PDF などというものはありません
実際の PDF のようにフォームフィールドを編集する可能性
フォームフィールドが該当します。ただし、BulkPDF Business ではフィールドを追加できます。

上に挿入し、もちろんデータを入力します。PDF ファイルに表示されるフォーム フィールドは、次のコマンドを使用して視覚的に重ね合わせることができます。

その上の「テキストボックス」「ラジオボタン」「チェックボックスボタン」について適切に説明しました。

1.5.5 追加の「テキストボックス」

追加の「テキスト ボックス」は読み取り専用の「テキスト ボックス」に対応し、実際の「テキスト ボックス」フィールドが存在しなくても、BulkPDF を使用して PDF ドキュメントに追加できます。通常必要な設定に加えて、フィールドの位置とサイズも必要です。

1.5.6 追加の「ラジオボタン」

追加の「ラジオ ボタン」は読み取り専用の「ラジオ ボタン」に対応しており、実際の「テキストボックス」フィールドが存在しなくても、BulkPDF を使用して PDF ドキュメントに追加できます。通常必要な設定に加えて、フィールドの位置とサイズも必要です。

このフィールドは 1 つのラジオ ボタンであるため、項目のグループが必要な場合は、これらの特別なフィールドタイプをいくつか追加する必要があります。

1.5.7 追加の「チェックボックスボタン」

追加の「チェックボックス ボタン」は読み取り専用の「チェックボックス ボタン」に対応し、実際の「チェックボックス ボタン」フィールドが存在しなくても、BulkPDF を使用して PDF ドキュメントに追加できます。通常必要な設定に加えて、フィールドの位置とサイズも必要です。

1.5.8 バーコード

バーコード フィールドは、個々の PDF フォームのデータから動的に生成でき、フォーム内の選択した適切な位置に画像として挿入されます。以下は、サポートされているすべてのバーコード タイプを含む 2 つのバーコード グループのリストです。

二次元バーコード

1. PDF417: <https://en.wikipedia.org/wiki/PDF417>
2. データマトリックス: https://en.wikipedia.org/wiki/Data_Matrix
3. QR: https://en.wikipedia.org/wiki/QR_code

一次元バーコード

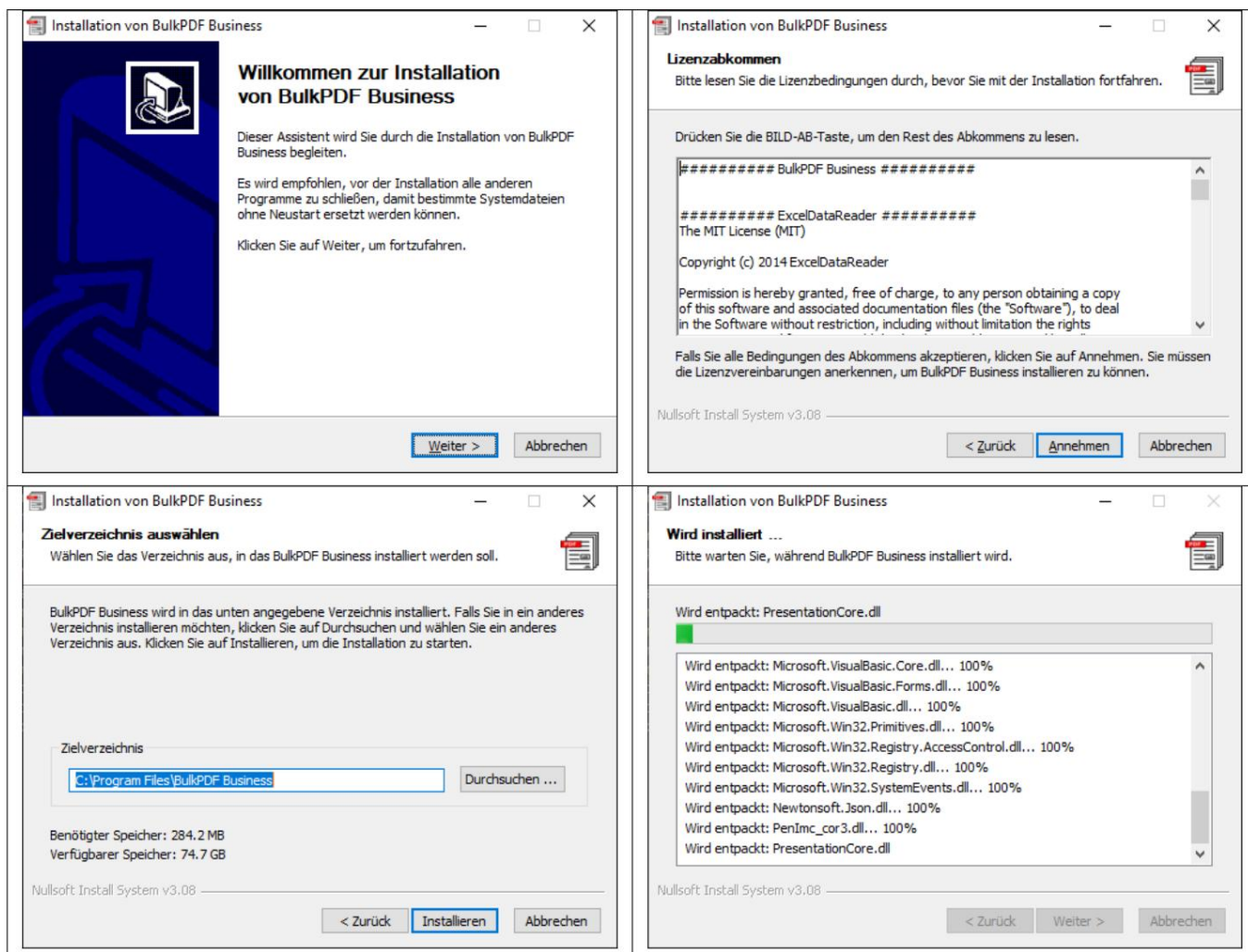
1. Codabar: <https://en.wikipedia.org/wiki/Codabar>
2. コード 11: https://en.wikipedia.org/wiki/Code_11
3. コード128、コード128A、コード128B、コード128C: https://en.wikipedia.org/wiki/Code_128
4. コード 39: https://en.wikipedia.org/wiki/Code_39
5. コード93: https://en.wikipedia.org/wiki/Code_93
6. CodeUpc: https://en.wikipedia.org/wiki/Universal_Product_Code
7. Ean8、Ean13: https://en.wikipedia.org/wiki/International_Article_
番号
8. GS1Code128: <https://en.wikipedia.org/wiki/GS1-128>

1.6 インストールとライセンス供与

インストールの種類とライセンスの種類に関する次の情報。

1.6.1 グラフィカルなインストール

インストールに必要な手順をスクリーンショットで示します。



1.7 サイレントインストール

"/S" パラメータを使用すると、無人インストールを実行できます。インストールパスを指定する場合は、/D=C:\NewInstallDir\パラメータを使用して実行できます。このタイプのインストールの場合

%appdata%\BulkPDF フォルダー内の「Licenseconfirmation」のライセンスを取得するためまたは、システム上のインストールパスにコピーされます。この「Licenseconfirmation」は、プログラムでのアクティベーションまたは経由で各システムでアクティベートできます。

「BulkPDF ビジネスターミナルライセンサー」である限りマルチユーザーライセンスです。これはアクティベーションのタイプによって異なります % appdata %\BulkPDF フォルダーまたはシステム上のインストールパスにあります。でこれはシングルユーザーライセンスでは不可能です。

には固定のハードウェア ID が含まれており、起動時にまだそのハードウェア ID が存在するかどうかチェックされます。システム一致を実行しています。

1.7.1 ライセンス

通常のライセンス認証は、スタート ページのプログラムを介して実行されます。

(第3.1.2 章を参照)

1.7.2 マルチユーザー/ターミナルサーバーライセンス

ターミナル サーバーのライセンスを取得するには、インストール フォルダーにある「BulkPDF-Business-terminal-Licenser.exe」を昇格された権限で呼び出す必要があります。有効なマルチユーザー/ターミナル サーバー ライセンス キーを入力してアクティブ化すると、このアプリケーションはインストール フォルダーにライセンス ファイル自体を作成します。このライセンス ファイルは、後で BulkPDF Business によってターミナル サーバー ユーザーのライセンス検証に使用されます。



アプリケーションシナリオ

(のためのステップ

手順説明)

次のアプリケーション シナリオでは、
ソフトウェア。

2.1 付属のサンプルファイル

プログラムを起動すると、プログラムの最初のページにある情報テキストからサンプル ファイルをロードできます。さらに、サンプル ファイルを直接ロードすることもできます (セクション2.1.1 を参照)。

2.1.1 サンプルファイルの詳細

サンプルファイルは「ProcessExample.BulkPDF」という構成で構成されています。
データ ソース「ProcessExample.xlsx」と、インストール フォルダー(「C:\Program Files\BulkPDF Business」)にある PDF フォーム「ProcessExample.pdf」から。
インストール中にインストール パスを変更された場合を除きます)。

BulkPDF ビジネス構成: 「ProcessExample.BulkPDF」この BulkPDF ビジネス構成ファイルには、以前の手順で使用されたすべての情報が含まれています。

セッションのほか、データ ソース (「ProcessExample.xlsx」) や PDF フォーム (「ProcessExample.pdf」) などの個々のファイルへの参照も含まれます。これ

構成は何度でもロードできるため、すべての設定を何度でも行う必要はありません。このファイルは JSON 形式 [5] でエンコードされており、人間が判読できる形式であり、必要に応じてテキスト エディタを使用して手動で編集できます。これは、特にファイル パスを手動で調整する場合に必要な可能性があります。

データソース (Excelファイル) : 「ProcessExample.xlsx」
 スプレッドシート ファイルはテーブルで構成されます。テーブル 「Table1 (くん)」
 構成例で選択した 「dendaten)」とテーブル 「表2 (信用力)」を選択します。

1	Nachname (Textbox)	Vorname	Straße	Hausnummer	Postleitzahl	Ort	Geschlecht (Radio Button / Radiobox)	Umweltfreundliche Verpackung (Checkbox)	Zugehörige Branche (Listbox)	Derzeitige Tätigkeit (ComboBox)
2	Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	23	10178	Berlin	1	1	IT	Angestellter
3	Mustermann	Max	Mustermann Straße	5	80331	München	1	2	Industrial	Ehrenamtlicher
4	Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	7	70515	Wunstorf	2	Yes	Cake-Factory	Freelancer
5	Klein	Berthold	Kleiner Weg	3	70173	Stuttgart	3	No	Tax	König von Deutschland
6	Groß	Anna-Lisa	Blumenweg	13	40210	Düsseldorf	3	Ja	Top secret	Ehrenamtlicher
7	蛋糕	饼干		17	34117	Kassel	2	Yes	Industrial	Ehrenamtlicher
8	топт	новенькие		2	39104	Magdeburg	1	Yes	Cake-Factory	Angestellter
9	ř, ů, ě, č	הקליטה	ים הבה	37	24103	Buay	1	Yes	IT	Angestellter
10										
11										
12										
13										

	A	B	C
1	Nachname (Textbox)	Vorname	Kreditwürdig
2	Mueller	Bernd	Yes
3	Mustermann	Max	y
4	Musterfrau	Marie	x
5	Klein	Berthold	oui
6	Groß	Anna-Lisa	sí
7	蛋糕	蛋糕	是
8	топт	топт	да
9	ř, ů, ě, č	הקליטה	true
10			

PDF形式 : 「ProcessExample.pdf」

サンプル PDF フォームにはすべての標準 PDF フォーム要素が含まれているため、プログラムをテストするときに一度入力できます。

Beispiel-Bestell-Formular

[Company Name]
[Street Address, City, ST ZIP Code]
[Phone]
[Email]
[Website]

TEXTFELD-BEISPIEL (TEXTBOX):

Vorname: **Nachname:**

Straße: **Hausnummer:**

Postleitzahl: **Ort:**

OPTIONSFELD-BEISPIEL (RADIOBOX):

Geschlecht: Männlich Weiblich Divers

MARKIERFELD (CHECKBOX):

Umweltfreundliche Verpackung:

LISTENFELD (LISTBOX):

Zugehörige Branche: IT
Industrial
Cake-Factory
Tax

KOMBINATIONSFELD (COMBOBOX):

Derzeitige Tätigkeit:

2.1.2 サンプル PDF フォームの記入

以下では、実行される手順の簡単な説明に基づいて、サンプル PDF フォームにサンプル スプレッドシート ファイルのデータが入力されます。

ホームページ

プログラムが開始されると、プログラムの「スタート ページ」が開きます。これにより、短いウェルカム テキスト、このドキュメントへの参照、

設定例とフィードバック ページへのリンクを読み込みます。

BulkPDF Business

Vielen Dank, dass Sie sich für die Nutzung von BulkPDF Business entschieden haben. Die Software, welche automatisiertes Ausfüllen von PDF-Formularen benutzerfreundlich und datenschutzgerecht für jeden Verfügbar macht. In den nächsten Schritten wird Sie das Programm zur Auswahl einer Datenquelle, der Zuweisung der Daten zu PDF-Formular Felder, der Dateinamenseinstellungen sowie der Ausgabe Ihrer PDF-Formular-Dateien führen. Klicken Sie nun bitte, um zu dem nächsten Schritt zu gelangen, auf die Schaltfläche unten in der rechten Ecke.

Bitte nehmen Sie sich die Zeit einmal in den FAQ (häufig gestellte Fragen) und in die Dokumentation hineinzuschauen. [Klicken Sie hier, um die Dokumentation zu öffnen.](#)

Für einen schnellen Überblick über das Programm steht auch Beispiel-Konfiguration zur Verfügung. [Klicken Sie hier, um die Beispiel-Konfiguration zu laden.](#)

Falls Sie Kritik, Wünsche an die weitere Entwicklungen oder allgemeines Feedback gegeben möchten, [klicken Sie bitte hier.](#)

Software-Lizenz

Software-Lizenz-Code: Lizenz aktivieren

Lizenz-Status: Verfallsdatum:

Software-Version

Installiert: Verfügbar:

Versionskanal: [Auf neue Version aktualisieren](#)

Optionen

Sprache:

Support [?](#) Konfiguration: [Laden](#) [Speichern](#) [Weiter](#)

右下隅の「次へ」ボタンをクリックすると、「データ ソース」ページが表示されます。

データ ソースこ

の手順では、最初にデータ ソース タイプ「Excel」が選択され、次に Excel ファイル自体が選択されます。

BulkPDF Business [DEMO]

Startseite Datenquelle PDF-Formular Optionen Fertigstellung

Datenquelle

↑

Wählen Sie eine Datenquelle.

BulkPDF Business

PDF

2021.12.30.811

Dokumentation

Rechtliches

Copyright © 2021 Julien Bartels

Support Konfiguration: Laden Speichern Zurück Weiter

BulkPDF Business [DEMO]

Startseite Datenquelle PDF-Formular Optionen Fertigstellung

Datenquelle Tabellenkalkulation / Excel

Tabellenkalkulation

Tabellenkalkulation-Datei: Auswählen...

Tabelle:

↑

Wählen Sie eine Tabellenkalkulationsdatei und eine Tabelle aus.

BulkPDF Business

PDF

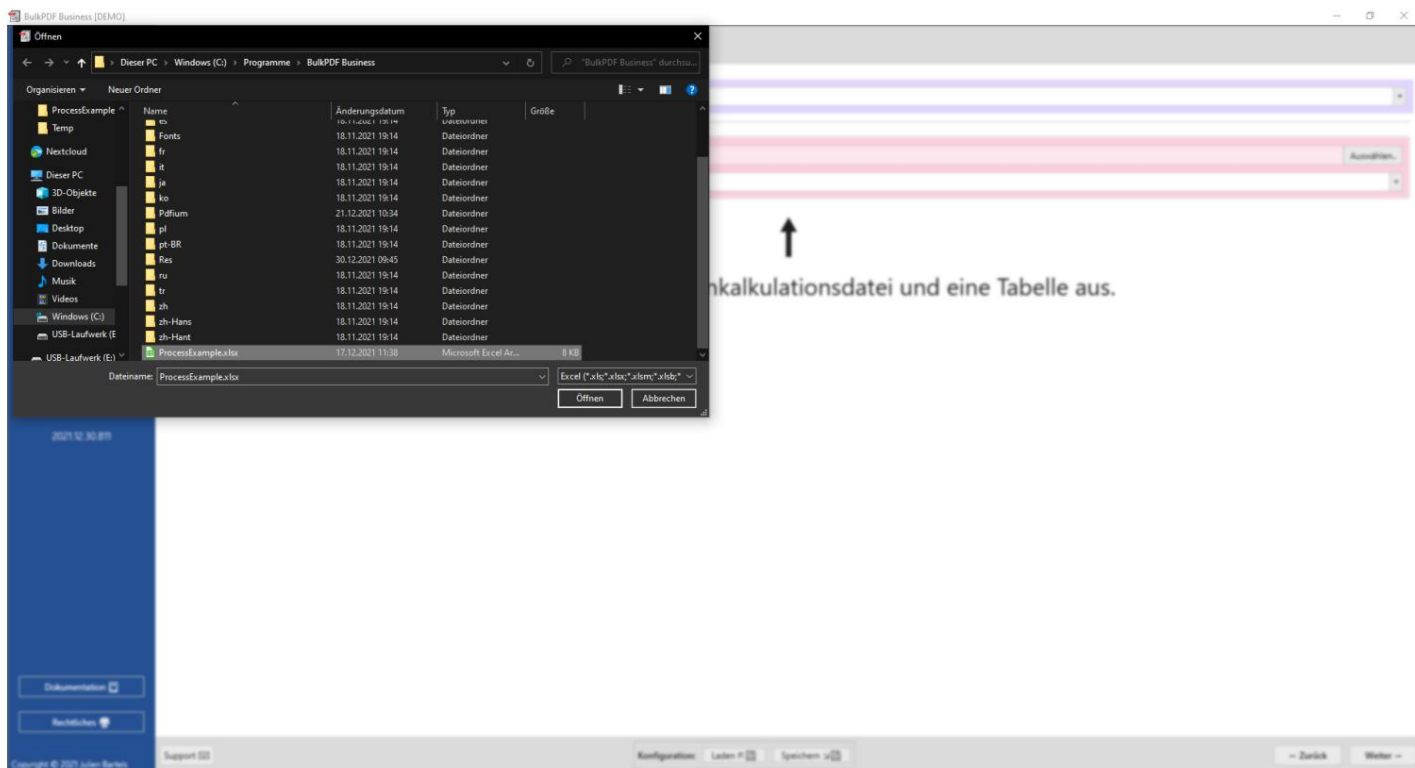
2021.12.30.811

Dokumentation

Rechtliches

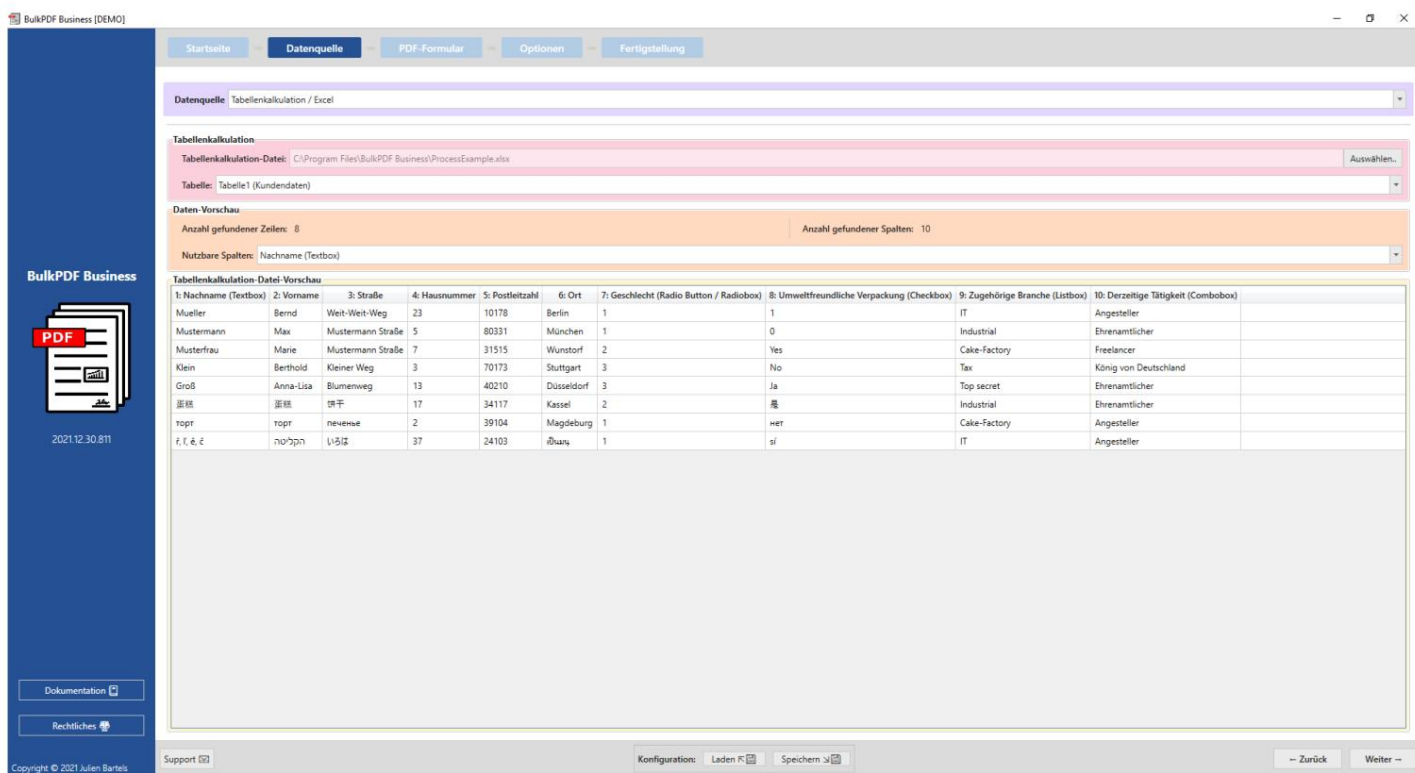
Copyright © 2021 Julien Bartels

Support Konfiguration: Laden Speichern Zurück Weiter



Excel ファイルがロードされたら、そのファイルに含まれるテーブルの 1 つを選択できます。そのテーブル内のデータのプレビューが表示されます。

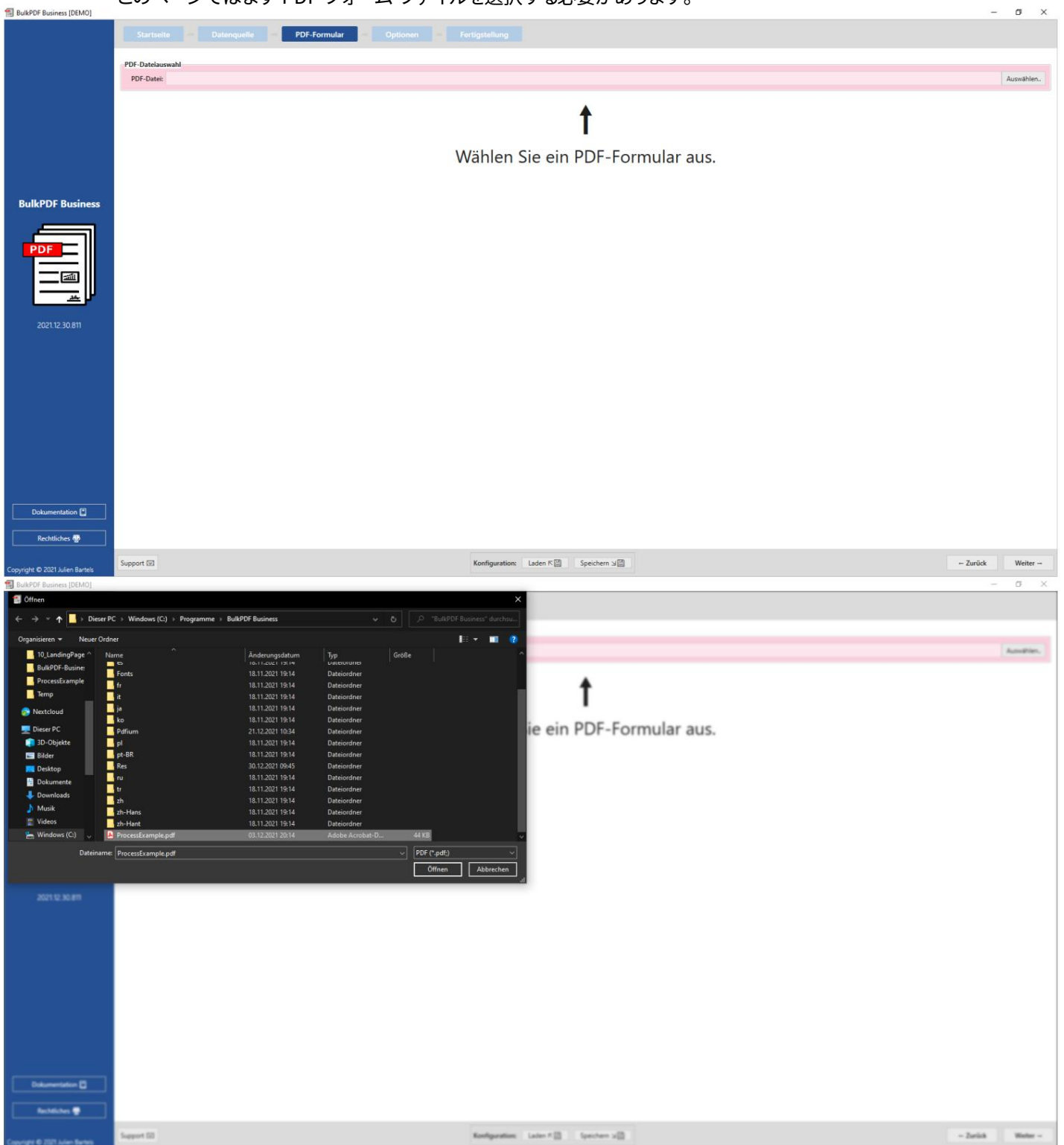
BulkPDF の正しい形式で、見つかったデータのみが表示されます。



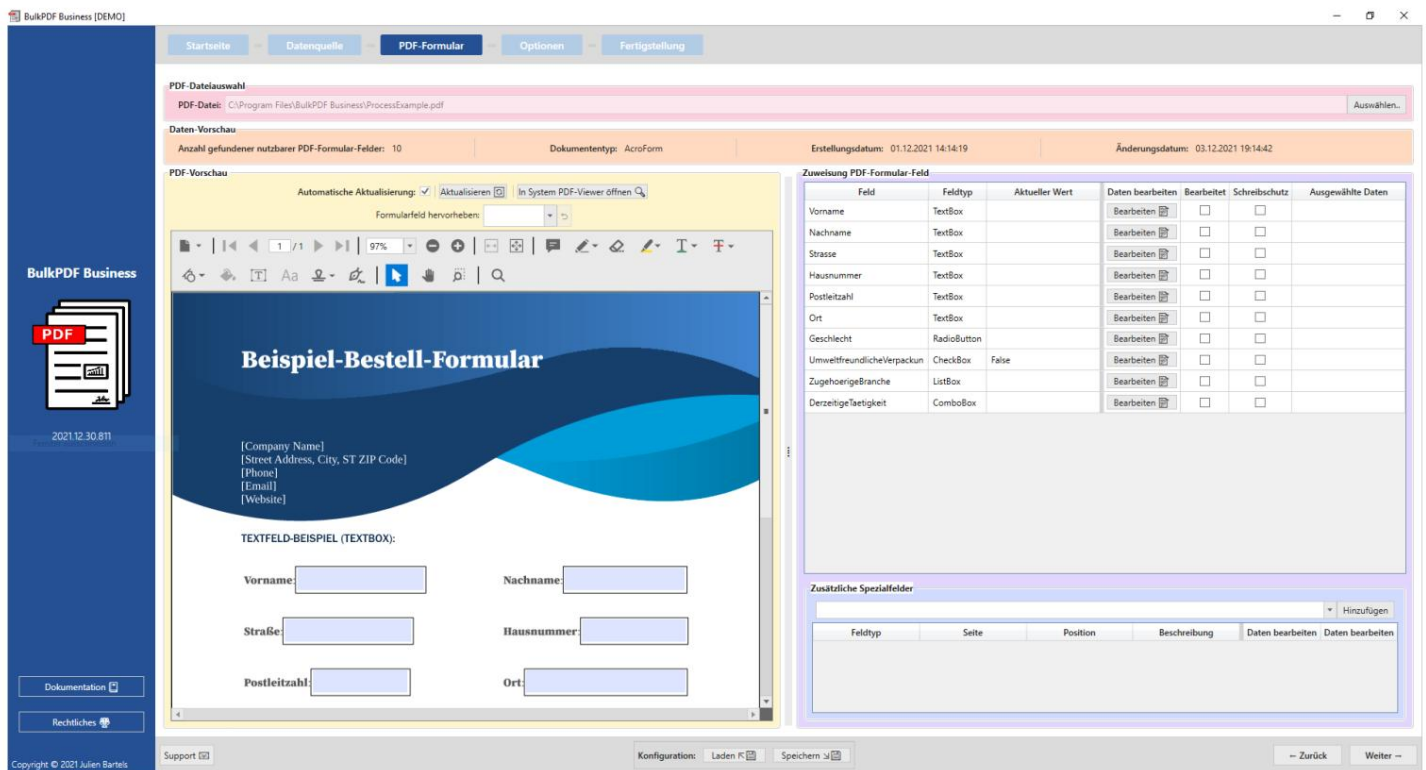
もう一度「次へ」をクリックすると、「PDF」のページに移動します。形状".

PDFフォーム

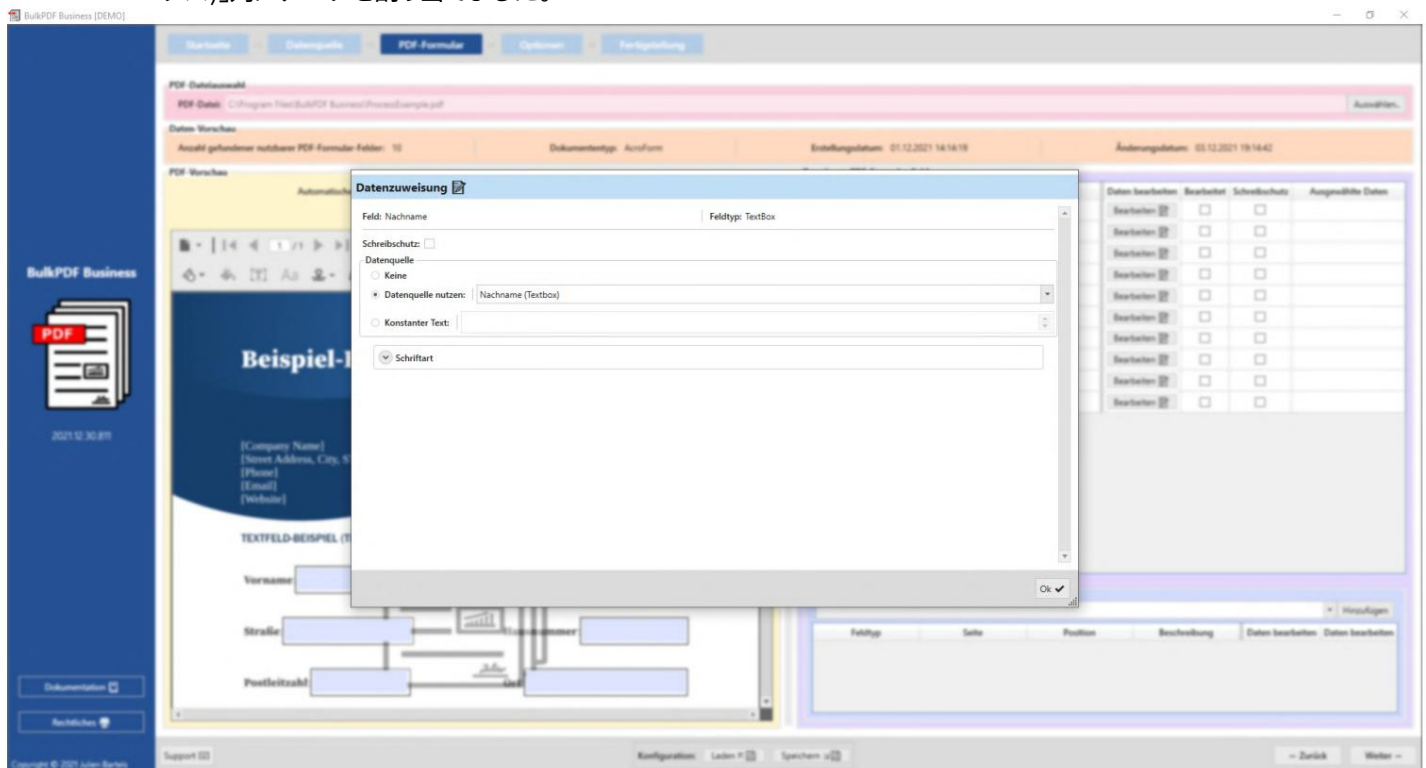
このページではまず PDF フォーム ファイルを選択する必要があります。



PDF ファイルを選択すると、ファイルに関する一般的なデータのコレクション、PDF プレビュー、および「データ ソース」のデータを PDF フォームの個々のフィールドに割り当てるためのテーブルが表示されます。



ここでは、「編集」ボタンを使用して「姓」フィールドを開き、データソースから「姓(テキストボックス)」列にデータを割り当てました。



編集ウィンドウを閉じた後、プレビューには、データソースの最初の行が例としてフォームに入力するデモンストレーションに使用されたことが表示され、「姓」には「姓(テキストボックス)」列をデータソースから利用できます。

BulkPDF Business [DEMO]

Startseite | Datenquelle | PDF-Formular | Optionen | Fertigstellung

PDF-Dateiauswahl
PDF-Datei: C:\Program Files\BulkPDF Business\ProcessExample.pdf Auswählen...

Daten-Vorschau
Anzahl gefundener nutzbarer PDF-Formular-Felder: 10 | Dokumententyp: AcroForm | Erstellungsdatum: 01.12.2021 14:14:19 | Änderungsdatum: 03.12.2021 19:14:42

PDF-Vorschau
Automatische Aktualisierung: Aktualisieren In System PDF-Viewer öffnen
Formularfeld hervorheben:

Zuweisung PDF-Formular-Feld

Feld	Feldtyp	Aktueller Wert	Daten bearbeiten	Bearbeitet	Schreibschutz	Ausgewählte Daten
Vorname	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Nachname	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Nachname (Textbox)
Strasse	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Hausnummer	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Postleitzahl	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Ort	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Geschlecht	RadioButton		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Umweltfreundliche Verpackung	CheckBox	False	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Zugehörige Branche	ListBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Derzeitige Tätigkeit	ComboBox		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

Zusätzliche Spezialfelder

Feldtyp	Seite	Position	Beschreibung	Daten bearbeiten	Daten bearbeiten
<input type="text"/>					

Support | Konfiguration: Laden | Speichern | Zurück | Weiter

以下では、他のすべてのフィールドにもデータソースとして適切な列が割り当てられています。

BulkPDF Business [DEMO]

Startseite | Datenquelle | PDF-Formular | Optionen | Fertigstellung

PDF-Dateiauswahl
PDF-Datei: C:\Program Files\BulkPDF Business\ProcessExample.pdf Auswählen...

Daten-Vorschau
Anzahl gefundener nutzbarer PDF-Formular-Felder: 10 | Dokumententyp: AcroForm | Erstellungsdatum: 01.12.2021 14:14:19 | Änderungsdatum: 03.12.2021 19:14:42

PDF-Vorschau
Automatische Aktualisierung: Aktualisieren In System PDF-Viewer öffnen
Formularfeld hervorheben:

Zuweisung PDF-Formular-Feld

Feld	Feldtyp	Aktueller Wert	Daten bearbeiten	Bearbeitet	Schreibschutz	Ausgewählte Daten
Vorname	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Vorname
Nachname	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Nachname (Textbox)
Strasse	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Strasse
Hausnummer	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Hausnummer
Postleitzahl	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Postleitzahl
Ort	TextBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Ort
Geschlecht	RadioButton		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Geschlecht (Radio Button /
Umweltfreundliche Verpackung	CheckBox	False	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Umweltfreundliche Verpac
Zugehörige Branche	ListBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Zugehörige Branche (Listb
Derzeitige Tätigkeit	ComboBox		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Derzeitige Tätigkeit (Comb

Zusätzliche Spezialfelder

Feldtyp	Seite	Position	Beschreibung	Daten bearbeiten	Daten bearbeiten
<input type="text"/>					

Support | Konfiguration: Laden | Speichern | Zurück | Weiter

データをフィールドに割り当てたら、[次へ] ボタンをクリックして最後の設定ステップに進むことができます。

オプション

このステップでは、データソースの列のデータ、日付/時刻などの書式設定要素を追加することでファイル名を組み立てることができます。

ファイル名ジェネレーターに渡されます。これらの書式設定要素を変更するたびに、最初の3つのファイル名に基づいて、その変更によって何が引き起こされたのかがすぐに下のプレビューに表示されます。

The screenshot displays the 'Optionen' (Options) tab in the BulkPDF Business software. It features a table for mapping data source columns to file name elements, a list of generated file names, and various optional settings.

Dateiname	Formatierungs-Element	Daten	Daten-Vorschau
	Zeilenummer		1
	Konstante	.pdf	.pdf

Generated file names (Dateinamen-Vorschau):

- 1.pdf
- 2.pdf
- 3.pdf

Optional Options (Optionale Optionen):

- Globaler Schreibschutz:
- Datel-Kompression:
- Zellen zu Dokument (Beispiel:1,4-9,34):
- Schriftart:
- Signatur:

見栄えの良いファイル名に加えて、出力ディレクトリ

が選択されており、同じ方法で作成されたすべてのファイルがそこに配置されます。

Startseite | Datenquelle | PDF-Formular | **Optionen** | Fertigstellung

Dateiname	Formatierungs-Element	Daten	Daten-Vorschau
▲ ▼ X	Datenquelle	Nachname (Textbox)	Mueller
▲ ▼ X	Konstante	-	-
▲ ▼ X	Datenquelle	Vorname	Bernd
▲ ▼ X	Konstante	.pdf	.pdf

Dateinamen-Vorschau 1: Mueller_Bernd.pdf
 Dateinamen-Vorschau 2: Mustermann_Max.pdf
 Dateinamen-Vorschau 3: Musterfrau_Marie.pdf

Ausgabe
 Ausgabeortner: C:\Users\tadel\Downloads

Optionale Optionen
 Globaler Schreibschutz: | Datei-Kompression: | Zellen zu Dokument (Beispiel:1,4-9,34):
 Schriftart: | Signatur:

Support | Konfiguration: Laden | Speichern | Zurück | Weiter

最後のステップとして「次へ」をクリックします。

完了このステップ

では設定オプションは提供されなくなり、行われた設定の概要としてのみ機能します。

Startseite | Datenquelle | PDF-Formular | Optionen | **Fertigstellung**

Vorschau
 Ausgabeortner: C:\Users\tadel\Downloads
 Anzahl gefundener Zellen: 8 | Schreibschutz: | Datei-Kompression:
 Anzahl an PDF-Formular-Felder: 10 | Anzahl an Spezial-Feldern: 0

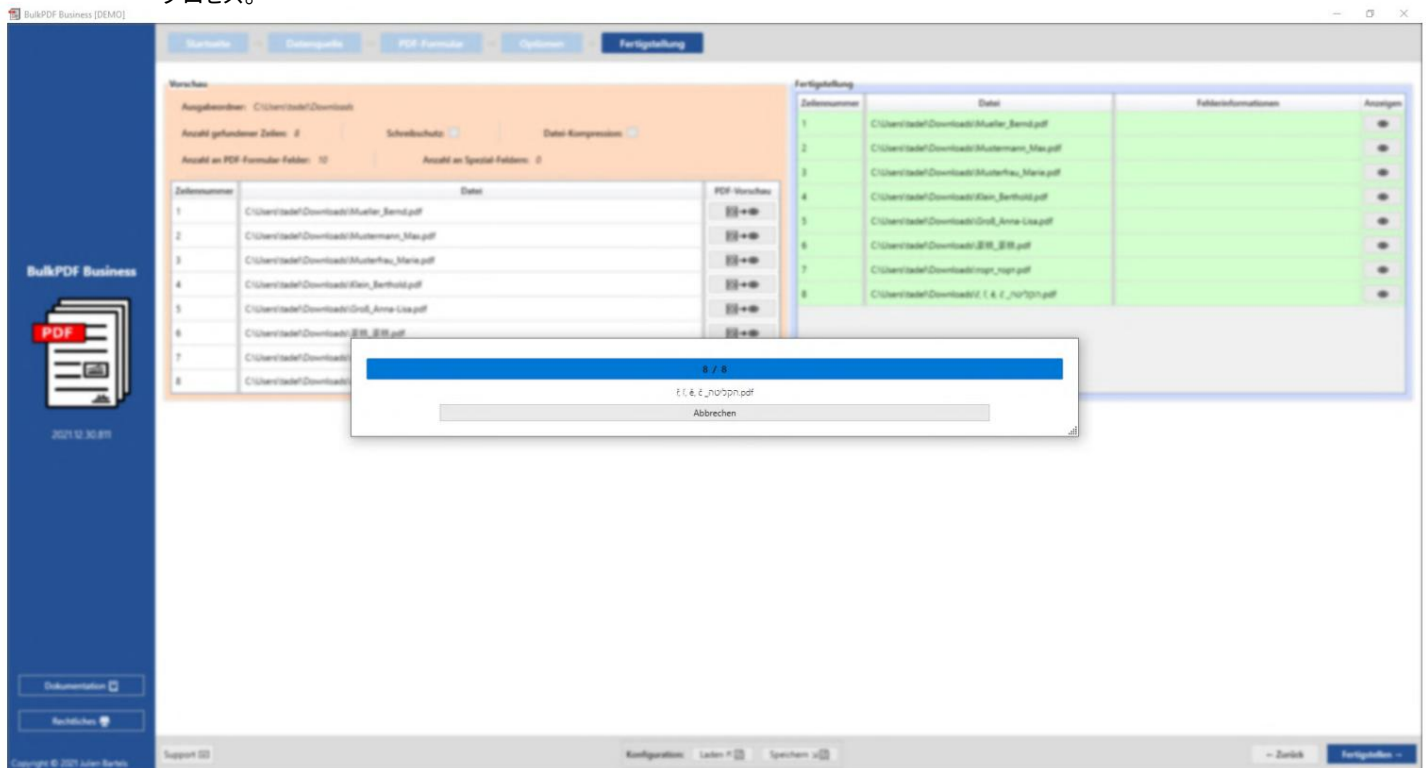
Zeilenummer	Datei	PDF-Vorschau
1	C:\Users\tadel\Downloads\Mueller_Bernd.pdf	
2	C:\Users\tadel\Downloads\Mustermann_Max.pdf	
3	C:\Users\tadel\Downloads\Musterfrau_Marie.pdf	
4	C:\Users\tadel\Downloads\Klein_Berthold.pdf	
5	C:\Users\tadel\Downloads\Groß_Anna-Lisa.pdf	
6	C:\Users\tadel\Downloads\運轉_運轉.pdf	
7	C:\Users\tadel\Downloads\inopt_ropr.pdf	
8	C:\Users\tadel\Downloads\1, f, & _no'p'n.pdf	

Fertigstellung
 Zeilenummer | Datei | Fehlerinformationen | Anzeigen

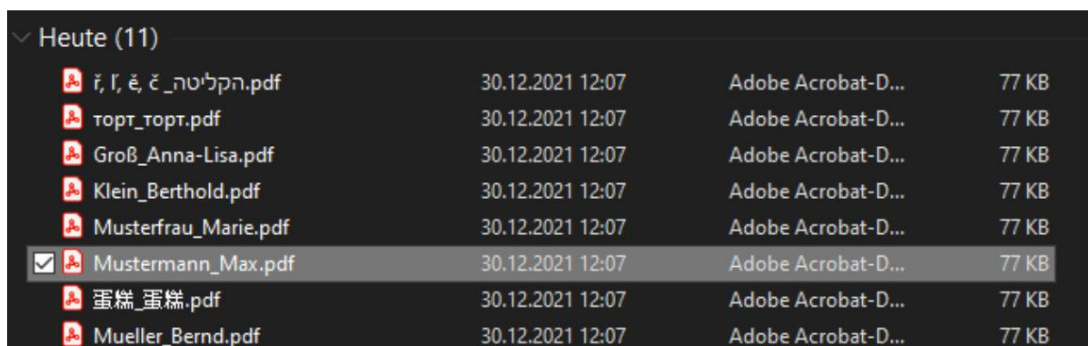
Support | Konfiguration: Laden | Speichern | Zurück | Fertigstellen

右下の「完了」ボタンをクリックしてフォームへの入力を開始します

プロセス。



すべてのファイルが作成されると、作成されたファイルが含まれる出力フォルダーが自動的に開きます。



作成した設定は最後に保存する必要があります。これにより、後で再度設定することなくすぐにアクセスできるようになります。

3

ユーザーインターフェースの 詳細 (GUI)

以下に、アプリケーションの各ウィンドウの各要素の詳細を示します。

この章は、「ステップバイステップ」の使用ガイドを目的としたものではありません。

ただし、内部の未知または不明瞭な機能の参考資料として

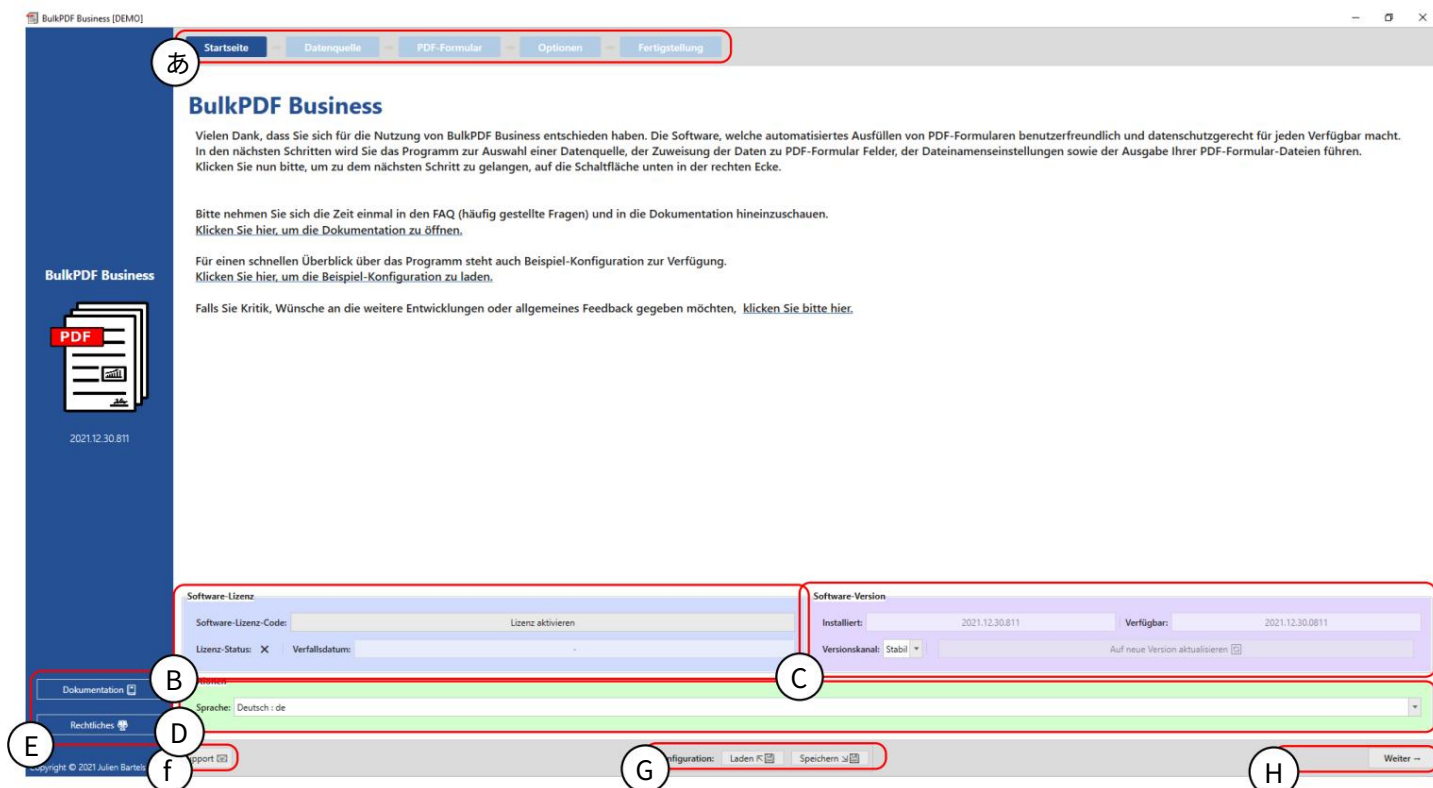
プログラムの。この章では、アプリケーションの機能全般の概要についても説明します。アプリケーション自体の概要については、第2章を参照してください。

3.1 ホーム

スタート ページには、次の基本設定、ソフトウェア ライセンスが表示されます。

関連、アップデート機能およびプログラムに関する情報。

3.1.1 概要



ページ タイトル:アプリケーションのすべてのページがこのバーに表示されます。の
 現在アクティブなページは濃い青色の背景で強調表示されます。
 他のすべてのページは水色の背景で表示されます。(
 バーは、各項目をクリックしてクイック ナビゲーションに使用することもできます。
 ページタイトルをクリックします。)

B ライセンス:この要素グループには、ライセンスの現在のステータス、有効期限、ライセンスをアクティブ化するためのボタンが含まれています(「ライセンスをアクティブ化する」を参照)。

3.1.2章を参照)。ライセンスのアクティベーションと検証が成功すると、ライセンスのステータスがチェックマーク付きで表示されます。代わりにクロスの場合
 チェックマークが表示され、アクティブなライセンスがないか、有効なライセンスが利用できません。
 の。

C ソフトウェア バージョン:現在インストールされているソフトウェア バージョン、最新のものです。

利用可能なバージョンとソフトウェアを更新するボタンが表示されます。

アップデートチャンネルを選択するボタンもあります。で

「安定した」チャンネルにはテストされた最新バージョンが含まれていますが、
 「ベータ」チャンネルではまだ知られていない最新バージョンが見つかります
 バグは含まれていますが、最新の機能を提供します。

D オプション:この要素グループは現在、必要なプログラム言語の選択のみを提供します。

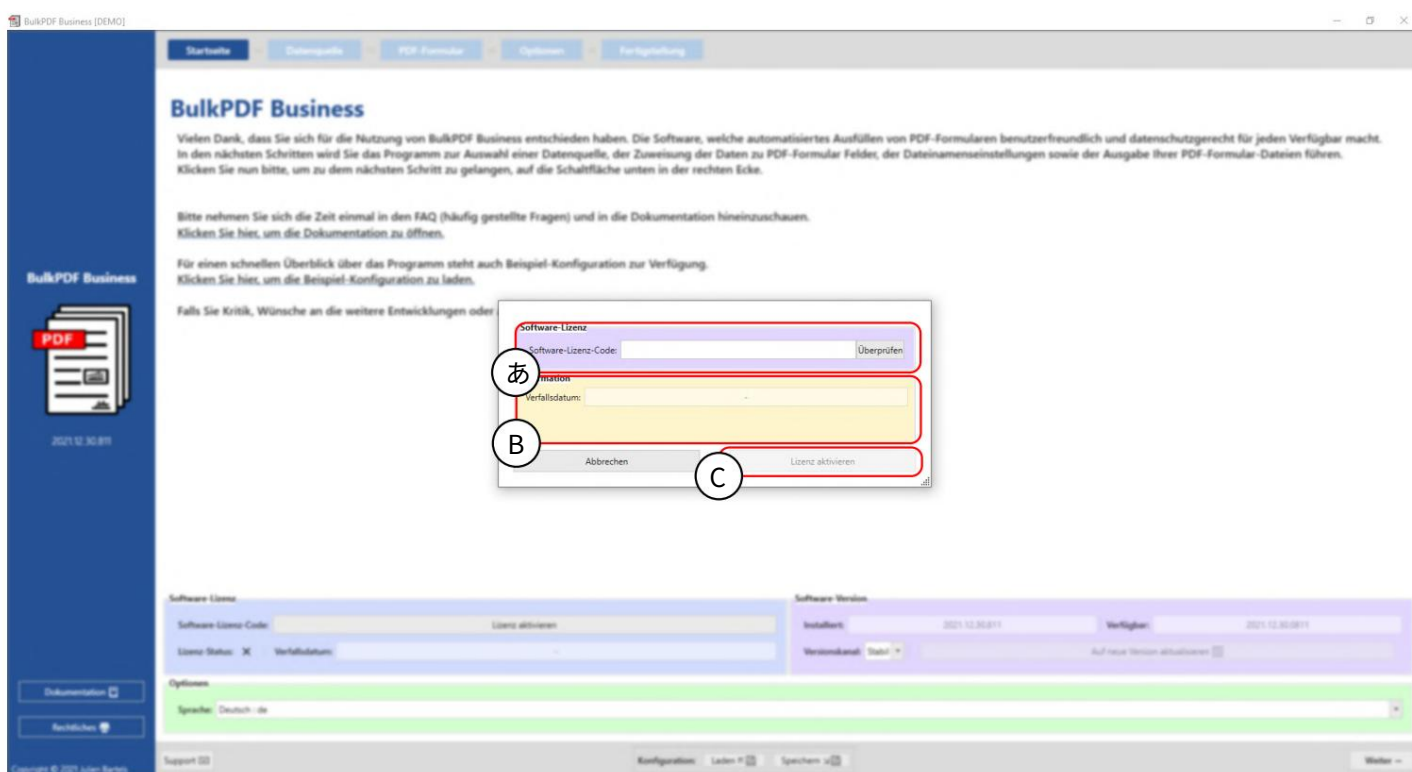
E ページ パネル:ここでは、ドキュメント ウィンドウ (第3.7.2 章を参照)およびソフトウェア ライセンス テキストなどの法的情報にアクセスできます。

F サポート:このボタンからサポート ウィンドウにアクセスできます (第3.7.1 章を参照)。

G 構成:要素グループでは、現在の構成 (プログラム セッションの開始以降にロード、設定、および変更されたすべてのもの) を保存したり、すでに作成された古い構成を再ロードしたりできます。(詳細については 3.1.3 を参照してください)

H ナビゲーション ボタン:この領域には、プログラム内でプログラム ページを 1 つ前に移動したり、プログラム ページを 1 つ戻したりするためのボタンが含まれています。最後のステップでは、[次へ] ボタンが [完了] になり、最終的に PDF ファイルが作成されます (完了ページ3.5 を参照)。

3.1.2 ライセンスのアクティベーション

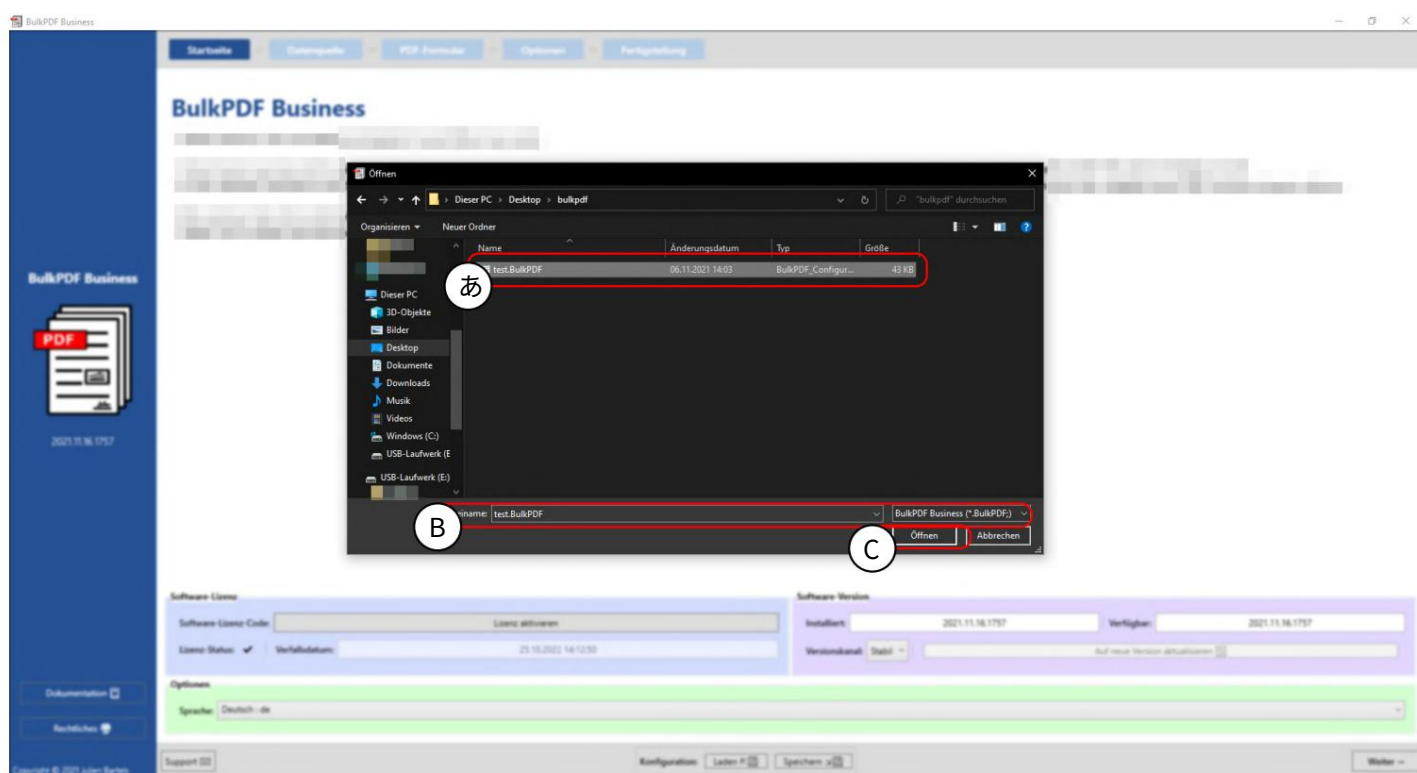


ソフトウェア ライセンス:ソフトウェア ライセンス コードをここに入力します (例: F0-OB-EX-55)。入力後「確認」ボタンを押すと、ライセンスサーバーの有効性の確認とプログラムキーの有効期限が表示されます。

B ライセンス情報:「確認」ボタンを使用してロードされたプログラム キーに関する情報がここで確認できます。

C ライセンスのアクティブ化:ライセンスが存在し、有効で、まだ有効期限が切れていない場合は、このボタンを押してシステム上に暗号化されたライセンス ファイルを作成できます。これ以降、オフラインでも、プログラム内のすべての有料機能が有効であることが確認されます。使用済み。

3.1.3 設定: 保存とロード



A以前に保存された BulkPDF 構成。

B BulkPDF 構成のファイル名とファイル拡張子。

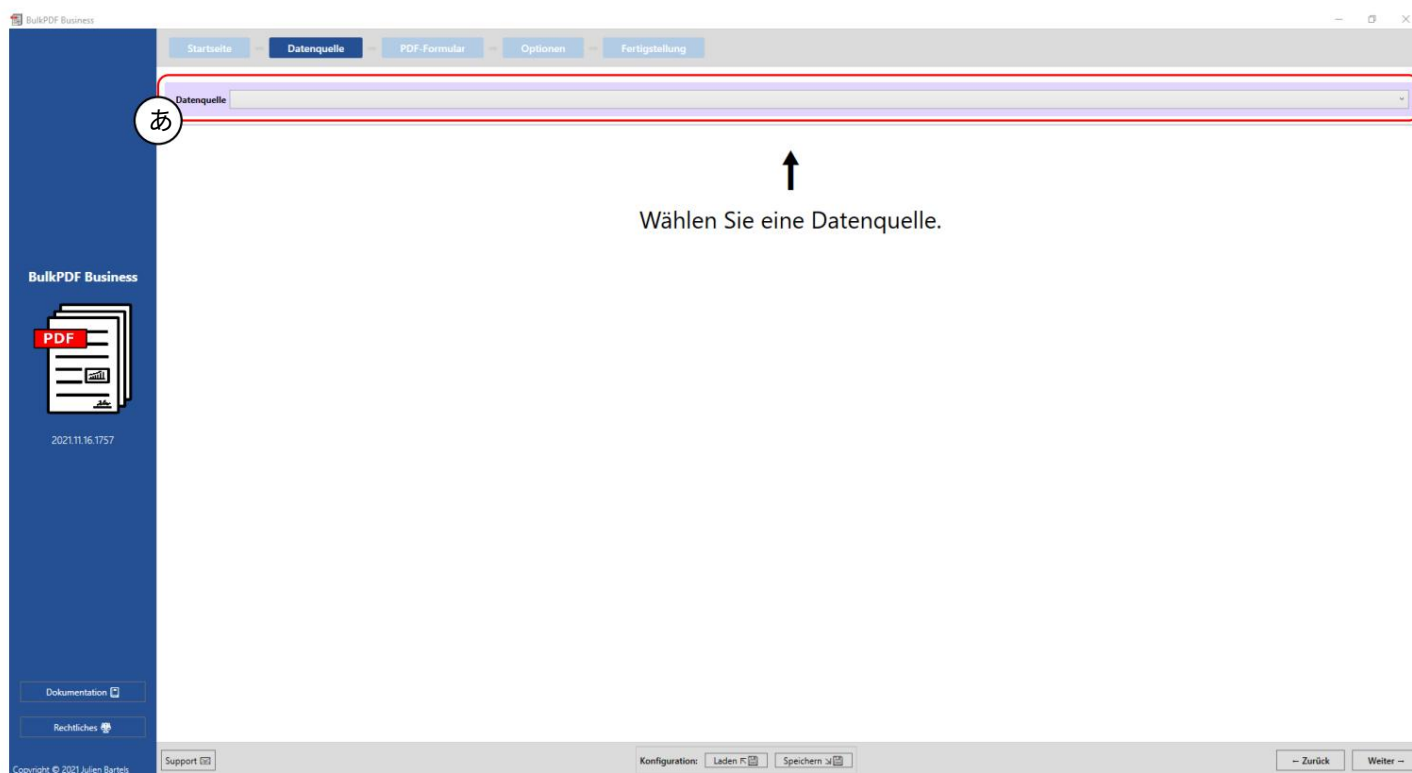
C現在の BulkPDF 構成をここに保存できます。

暗号化署名またはデータ接続のパスワードを構成とともに保存する場合、この構成は暗号化された形式で保存する必要があります。この目的のために、構成を保存するときにファイル拡張子「.BulkPDFEncrypted」を選択できます。これにより、パスワードを入力した後に暗号化されたファイルが作成されます。「.BulkPDFEncrypted」構成をロードすると、ロード用のパスワードが再度尋ねられます。

3.2 データソース

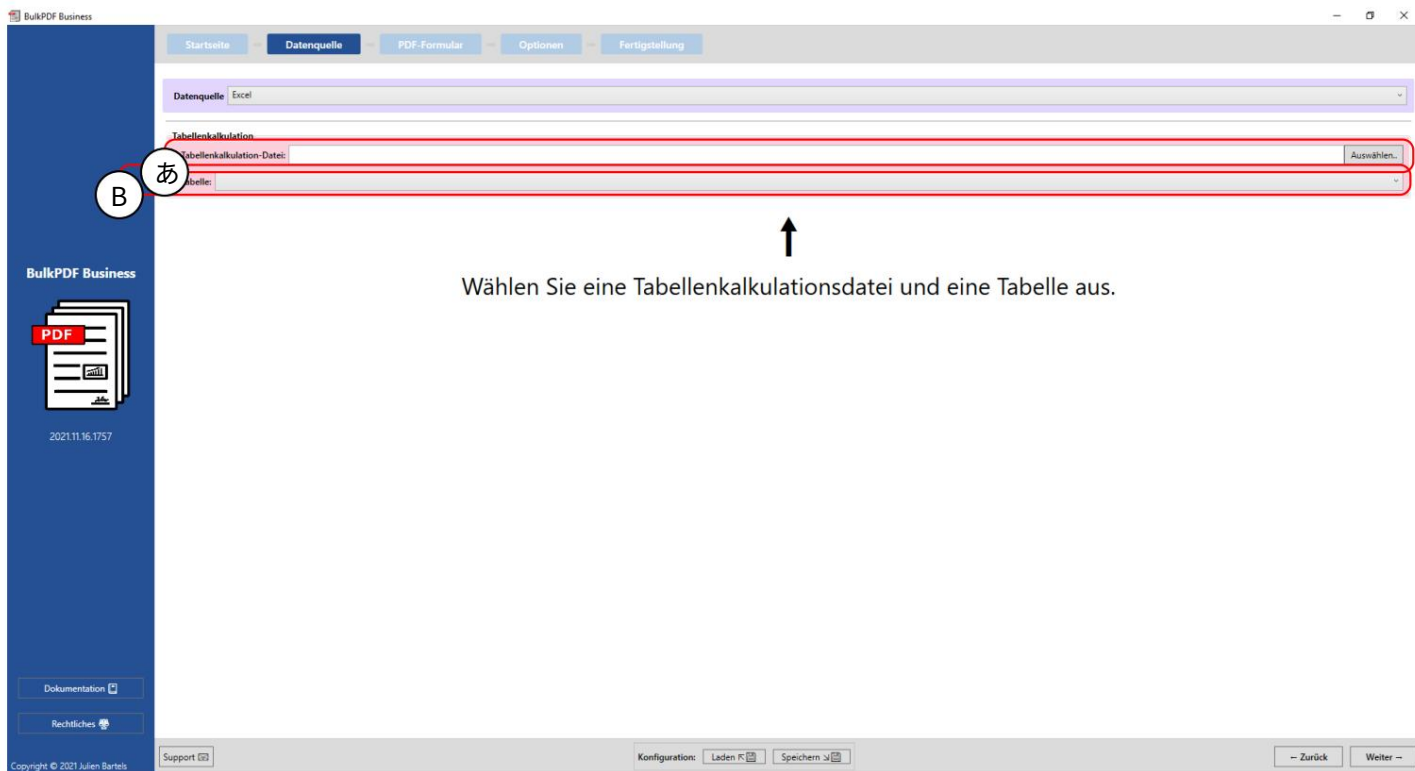
このステップでは、Excel、Microsoft SQL Server などのデータソースを選択するように求められます。各データソースの種類には、独自の設定オプションと考慮すべき点があります。このセクションと個々のデータソースタイプについては、以下で説明します。

3.2.1 概要



Aこのボタンでは、Excel、Microsoft SQL Server など、現在サポートされているデータソースタイプの1つを選択できます。

3.2.2 Excel / スプレッドシートファイル



Aこの時点でスプレッドシート ファイルをロードできます。サポートされているファイル形式の詳細については、第 1.3.2 章を参照してください。

Bここでは、スプレッドシート ファイルに含まれるテーブルの 1 つを選択する必要があります
投票を受けるために。1 つのテーブルには 1 つのテーブルのデータのみを含めることができます
スプレッドシートファイルも同時に使用できます。

Tabellenkalkulation

Tabellenkalkulation-Datei: \ProcessExample.xlsx Auswählen...

Tabellenkalkulation-Datei: Tabellenkalkulation (Kundendaten)

Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau

Anzahl gefundener Zeilen: 8 Anzahl gefundener Spalten: 10

Nutzbare Spalten: Nachname (Textbox)

Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau

1: Nachname (Textbox)	2: Vorname	3: Straße	4: Hausnummer	5: Postleitzahl	6: Ort	7: Geschlecht (Radio Button / Radiobox)	8: Umweltfreundliche Verpackung (Checkbox)	9: Zugehörige Branche (Listbox)	10: Derzeitige Tätigkeit (Combobox)
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	23	10178	Berlin	1	1	IT	Angestellter
Mustermann	Max	Mustermann Straße	5	80331	München	1	0	Industrial	Ehrenamtlicher
Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	7	31515	Wunstorf	2	Yes	Cake-Factory	Freelancer
Klein	Berthold	Kleiner Weg	3	70173	Stuttgart	3	No	Tax	König von Deutschland
Groß	Anna-Lisa	Blumenweg	13	40210	Düsseldorf	3	Ja	Top secret	Ehrenamtlicher
張鶴	張千		17	34117	Kassel	2	無	Industrial	Ehrenamtlicher
topr	revenue		2	39104	Magdeburg	1	het	Cake-Factory	Angestellter
Γ, Γ, Δ, Δ	Γορδης	Ιδρυση	37	24103	Αθηναις	1	si	IT	Angestellter

Copyright © 2021 Julien Barteis

Support

Konfiguration: Laden Speichern

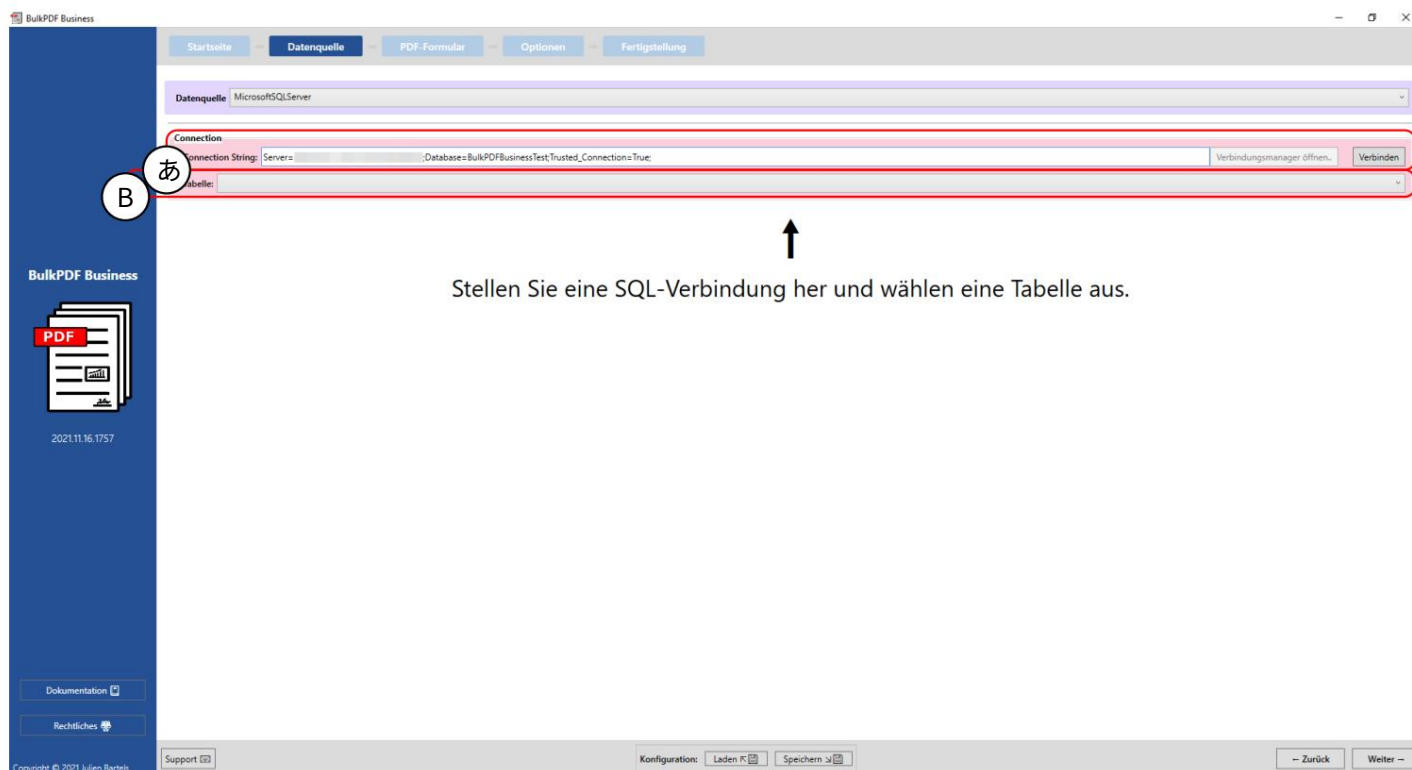
← Zurück Weiter →

スプレッドシート: 選択した xlsx ファイルと選択したテーブル「Table1」が表示されます。

B データ プレビュー: 見つかった行と列の数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データ選択の次のステップで使用でき、概要を示し、ファイルが正しくロードされたことを確認するために使用できます。

C スプレッドシート データ プレビュー: この時点では、最初の 1000 個が
スプレッドシート ファイルの認識された行を調べて、ファイルが意図したとおりにロードされ、データが認識されたことを確認します。

3.2.3 Microsoft SQLサーバー



接続文字列:ここでは、

「Server=SERVERADRESSE;Database=BulkPDFBusinessTest;Trusted_Connection=True;」の例の「接続文字列」です。表示されます。このデータソースの場合、選択したデータベースのテーブルのみがリストされるため、「接続文字列」の「データベース」セクションが重要です。の。

B 「接続文字列」で選択したデータベースからテーブルを選択します。このデータソースを使用するプログラムでは、1つのテーブルのデータのみを同時に使用できます。

The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. The main window is titled 'Datenquelle' and shows a connection to a Microsoft SQL Server. The connection string is 'Server=; Database=BulkPDFBusinessTest Trusted_Connection=True;'. The table name is 'Example'. The interface displays a preview of the data, showing 8 rows and 6 columns. The table is titled 'Belegkalkulation-Datei-Vorschau'. The columns are: 1: Lastname, 2: Firstname, 3: Adress, 4: CheckboxValue, 5: Radiobutton_value, 6: ComboboxValue. The data rows are:

1: Lastname	2: Firstname	3: Adress	4: CheckboxValue	5: Radiobutton_value	6: ComboboxValue
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	1	Kuchen
Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	2	Test
Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕	蛋糕	neue	No	4	
topf	topf	饼干	Yes	3	Keks
1, 1, 1, 1	1, 1, 1, 1	1, 1, 1, 1			

The interface also shows a sidebar with 'BulkPDF Business' and 'PDF' icons, and a footer with 'Copyright © 2021 Julien Bartsis'.

A 「接続文字列」と選択したテーブル「例」が表示されます。

B見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

C SQL テーブルの認識された最初の 1000 行がここに表示され、これが希望どおりにロードされ、データが認識されたかどうかを確認できるようになります。

3.2.4 Microsoft SQL Server カスタム クエリ

A

B

Geben sie eine Connection-String sowie eine SQL-Query und drücken folgend auf "Ausführen".

Hinweise zum Datenquellen-Typ

Für den die Nutzung von Daten von einem Microsoft SQL Server stehen mehrere Varianten zur Datenbeschaffung zur Verfügung.

Zum einen kann die Option gewählt werden, bei der man schlicht einen „Connection-String“ eingibt und dann für die jeweilige Datenbank automatisch alle verfügbaren Tabellen angezeigt werden. Von diesen Tabellen kann dann eine ausgewählt werden, die als Datenquelle fungiert. Für für gültige „Connection-String“-Beispiele schauen Sie sich bitte die Dokumentation an.

Die zweite Option ist die Möglichkeit, neben dem „Connection-String“, schlicht eine SQL-Abfrage einzugeben, die einem die gewünschten Daten ausgibt. Diese Option erlaubt damit die volle Funktionalität von T-SQL auf dem Microsoft SQL Server für die Datenquelle innerhalb von BulkPDF zu nutzen.

Aここでは「接続文字列」を指定します。

Bここに SQL クエリが記述されます。

A

B

C

D

1: Fullname	2: Lastname	3: Firstname	4: Adress	5: CheckboxValue	6: Radiobutton_value	7: ComboboxValue
Bernd Mueller	Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	1	Kuchen
Max Mustermann	Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	2	Test
Marie Musterfrau	Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Berthold Klein	Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Anna-Lisa Groß	Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕 蛋糕	蛋糕	蛋糕	neuese	No	4	
topr topr	topr	topr	饼干	Yes	3	Keks
f, f, e, e, f, f, e, e	f, f, e, e	f, f, e, e	f, f, e, e			

接続文字列:ここでは、

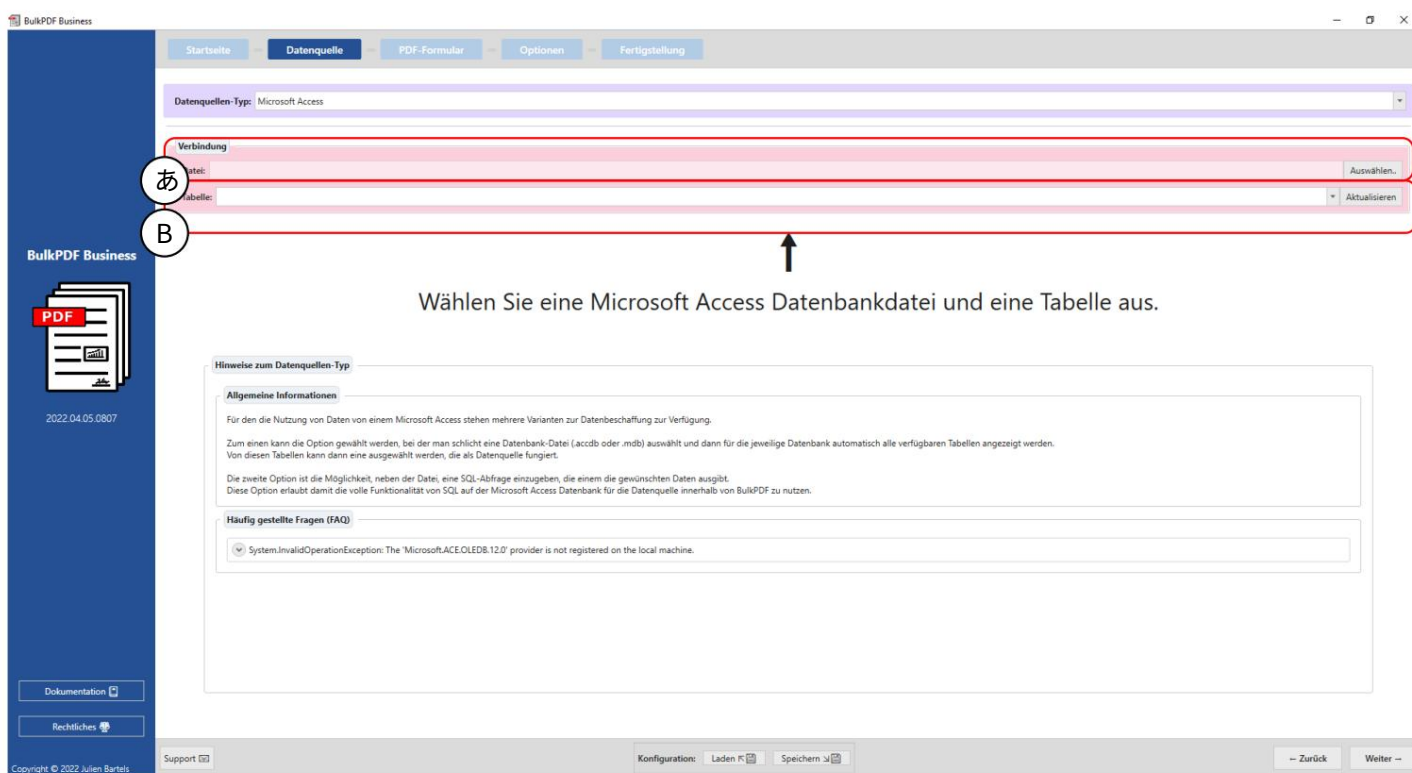
「Server=SERVERADRESSE;Database=BulkPDFBusinessTest;Trusted_Connection=True;」の例の「接続文字列」です。表示されます。このデータソースの場合、選択したデータベースのテーブルのみがリストされるため、「接続文字列」の「データベース」セクションが重要です。

Bここに SQL クエリが表示されます。

C見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データ選択の次のステップで使用でき、概要を提供し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

Dファイルが希望どおりにロードされ、データが認識されたかどうかを確認できるように、SQL クエリの認識された最初の 1000 行がここに表示されます。

3.2.5 Microsoft Access



Aこの時点で Microsoft Access データベース ファイルをロードできます。

B 選択した Microsoft Access データベース ファイルからのテーブルの選択。

このデータ ソースを使用するプログラムでは、1 つのテーブルのデータのみを同時に使用できます。

The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. The 'Datenquellen-Typ' is set to 'Microsoft Access'. The 'Verbindung' section shows the file path '.MSAccess\Database1.accdb' and the selected table 'Tabelle1 (Kundendaten)'. The 'Daten-Vorschau' section shows 8 rows and 11 columns. The 'Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau' section shows a table with 8 rows and 11 columns, including columns for ID, Nachname, Vorname, Straße, Hausnummer, Postleitzahl, Ort, Geschlecht, and others.

1: ID	2: Nachname (Textbox)	3: Vorname	4: Straße	5: Hausnummer	6: Postleitzahl	7: Ort	8: Geschlecht (Radio Button / Radiobox)	9: Umweltfreundliche Verpackung (Checkbox)	10: Zugehörige Branche (Listbox)	11: Derzeitige Tätigkeit (Combobox)
1	Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	23	10178	Berlin	1	1	IT	Angestellter
2	Mustermann	Max	Mustermann Straße	5	80331	München	1	0	Industrial	Ehrenamtlicher
3	Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	7	31515	Wunstorf	2	Yes	Cake-Factory	Freelancer
4	Klein	Berthold	Kleiner Weg	3	70173	Stuttgart	3	No	Tax	König von Deutschland
5	Groß	Anna-Lisa	Blumenweg	13	40210	Düsseldorf	3	Ja	Top secret	Ehrenamtlicher
6	蛋糕	蛋糕	饼干	17	34117	Kassel	2	是	Industrial	Ehrenamtlicher
7	топт	печенье	печенье	2	39104	Magdeburg	1	нет	Cake-Factory	Angestellter
8	י, ל, & c	הוקי'ה	יורם	37	24103	בואני	1	si	IT	Angestellter

A 選択した Microsoft Access データベースファイルと選択したテーブル「テーブル1 (顧客データ)」が表示されます。

B 見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

C この時点で、テーブルの最初の 1000 行が表示され、これが希望どおりにロードされ、データが認識されたかどうかを確認できます。

3.2.6 Microsoft Access カスタム クエリ

Datenquellen-Typ: Microsoft Access Benutzerdefinierte Abfrage

Verbindung

Datei: Auswählen...

SQL Query:

Ausführen

↑

Wählen Sie eine Microsoft Access Datenbankdatei und führen eine SQL-Query aus.

Hinweise zum Datenquellen-Typ

Allgemeine Informationen

Für den die Nutzung von Daten von einem Microsoft Access stehen mehrere Varianten zur Datenbeschaffung zur Verfügung.

Zum einen kann die Option gewählt werden, bei der man schlicht eine Datenbank-Datei (.accdb oder .mdb) auswählt und dann für die jeweilige Datenbank automatisch alle verfügbaren Tabellen angezeigt werden. Von diesen Tabellen kann dann eine ausgewählt werden, die als Datenquelle fungiert.

Die zweite Option ist die Möglichkeit, neben der Datei, eine SQL-Abfrage einzugeben, die einem die gewünschten Daten ausgibt. Diese Option erlaubt damit die volle Funktionalität von SQL auf der Microsoft Access Datenbank für die Datenquelle innerhalb von BulkPDF zu nutzen.

Häufig gestellte Fragen (FAQ)

System.InvalidOperationException: The 'Microsoft.ACE.OLEDB.12.0' provider is not registered on the local machine.

Aこの時点で Microsoft Access データベース ファイルをロードできます。

Bここに SQL クエリが記述されます。

Datenquellen-Typ: Microsoft Access Benutzerdefinierte Abfrage

Verbindung

Datei: MSAccess:Database1.accdb Auswählen...

SQL Query: SELECT * FROM [Tabelle1] (Kundendaten);

Ausführen

Item-Vorschau

Anzahl gefundener Zeilen: 8

Anzahl gefundener Spalten: 11

Nutzbare Spalten: ID

Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau

1: ID	2: Nachname (Textbox)	3: Vorname	4: Straße	5: Hausnummer	6: Postleitzahl	7: Ort	8: Geschlecht (Radio Button / Radiobox)	9: Umweltfreundliche Verpackung (Checkbox)	10: Zugehörige Branche (Listbox)	11: Derzeitige Tätigkeit (Combobox)
1	Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	23	10178	Berlin	1	1	IT	Angestellter
2	Mustermann	Max	Mustermann Straße	5	80331	München	1	0	Industrial	Ehrenamtlicher
3	Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	7	31515	Wunstorf	2	Yes	Cake-Factory	Freelancer
4	Klein	Berthold	Kleiner Weg	3	70173	Stuttgart	3	No	Tax	König von Deutschland
5	Groß	Anna-Lisa	Blumenweg	13	40210	Düsseldorf	3	Ja	Top secret	Ehrenamtlicher
6	蛋糕	蛋糕	饼干	17	34117	Kassel	2	是	Industrial	Ehrenamtlicher
7	topr	topr	nevenae	2	39104	Magdeburg	1	ner	Cake-Factory	Angestellter
8	f, l, é, é	הקיסר	ירושלם	37	24103	ירושלם	1	si	IT	Angestellter

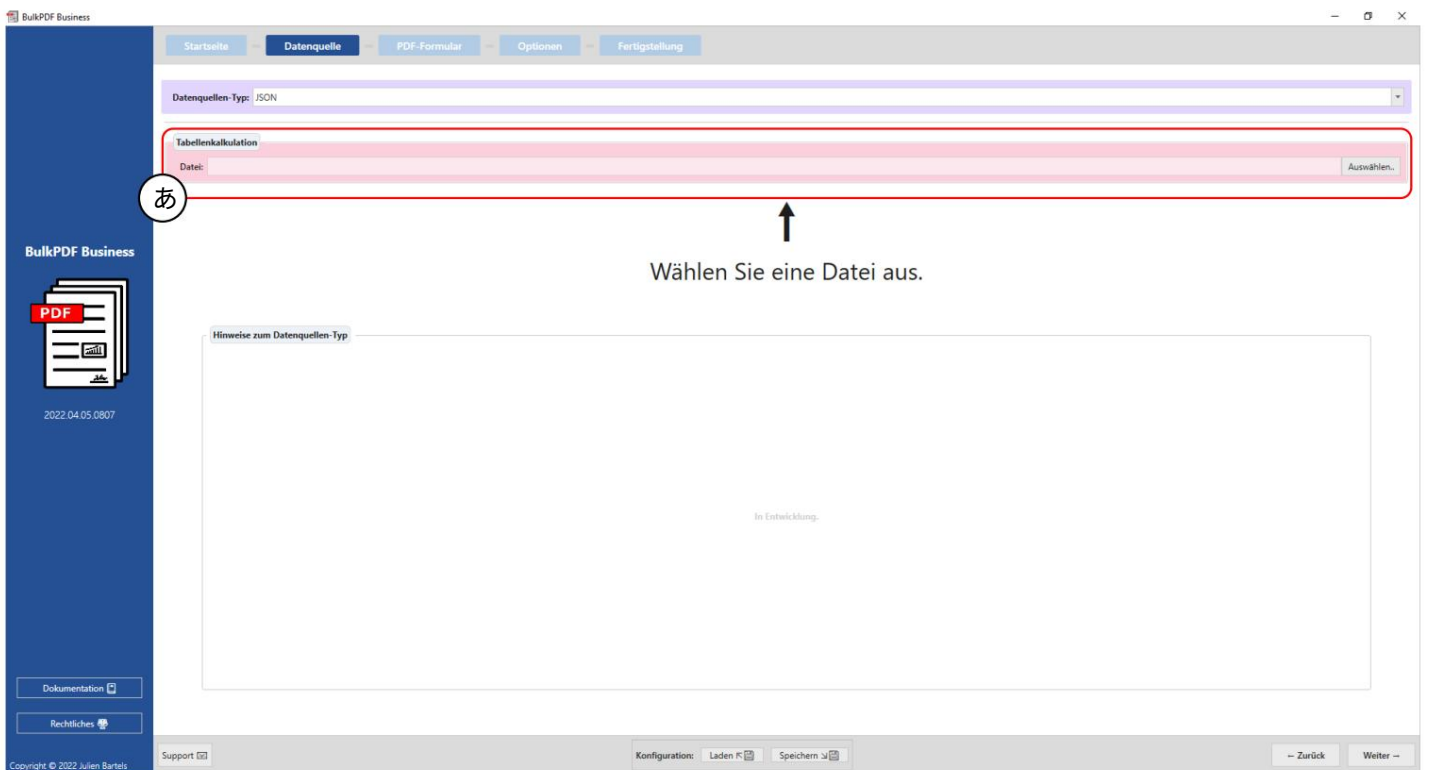
A 選択した Microsoft Access データベース ファイルが表示されます。

Bここに SQL クエリが表示されます。

C見つかった行数と列数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データ選択の次のステップで使用でき、概要を提供し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できます。

Dファイルが希望どおりにロードされたかどうかを確認できるように、SQL クエリの認識された最初の 1000 行がここに表示されます。
認識されました。

3.2.7 JSON



Aこの時点で JSON ファイルをロードできます。

Startseite Datenquelle PDF-Formular Optionen Fertigstellung

Datenquellen-Typ: JSON

Tabellenkalkulation

Datei: Auswählen...

Anzahl gefundener Zeilen: 8 Anzahl gefundener Spalten: 6 Änderungsdatum: 05.04.2022 13:06:43

Nutzbare Spalten: Last_name

Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau

1: Lastname	2: Firstname	3: Address	4: CheckboxValue	5: Radiobutton_value	6: ComboboxValue
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	2	Kuchen
Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	1	Test
Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕	蛋糕	neverse	No	4	
topr	topr	饼干	Yes	3	Keks
£, £, £	£, £, £	£, £, £			

Copyright © 2022 Julien Bartels

Konfiguration: Laden Speichern

← Zurück Weiter →

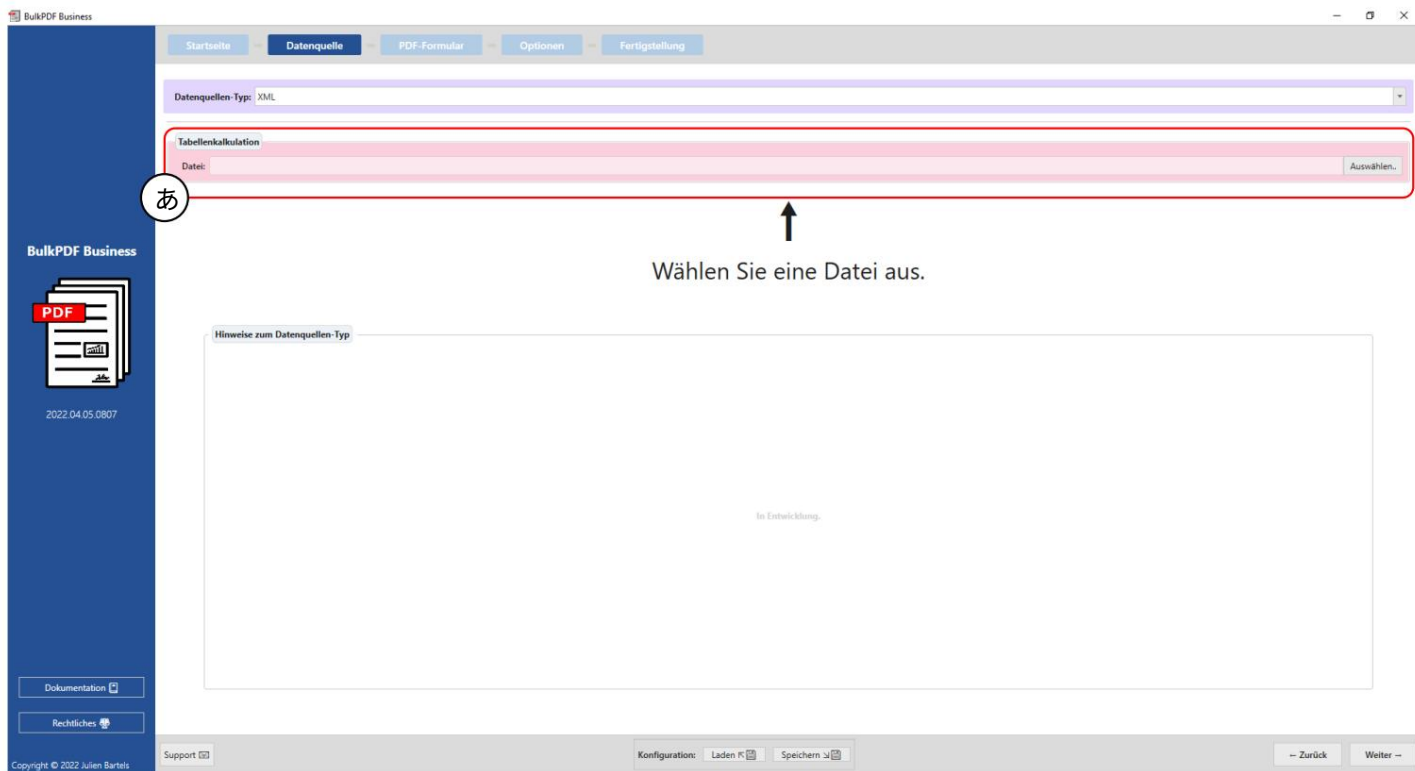
ファイル: 選択した JSON ファイルが表示されます。

B データ プレビュー: 見つかった行と列の数が要素グループに表示されます。見つかった列のリストも表示されます。これは、データ選択の次のステップで使用でき、概要を示し、ファイルが正しくロードされたことを確認するために使用できます。

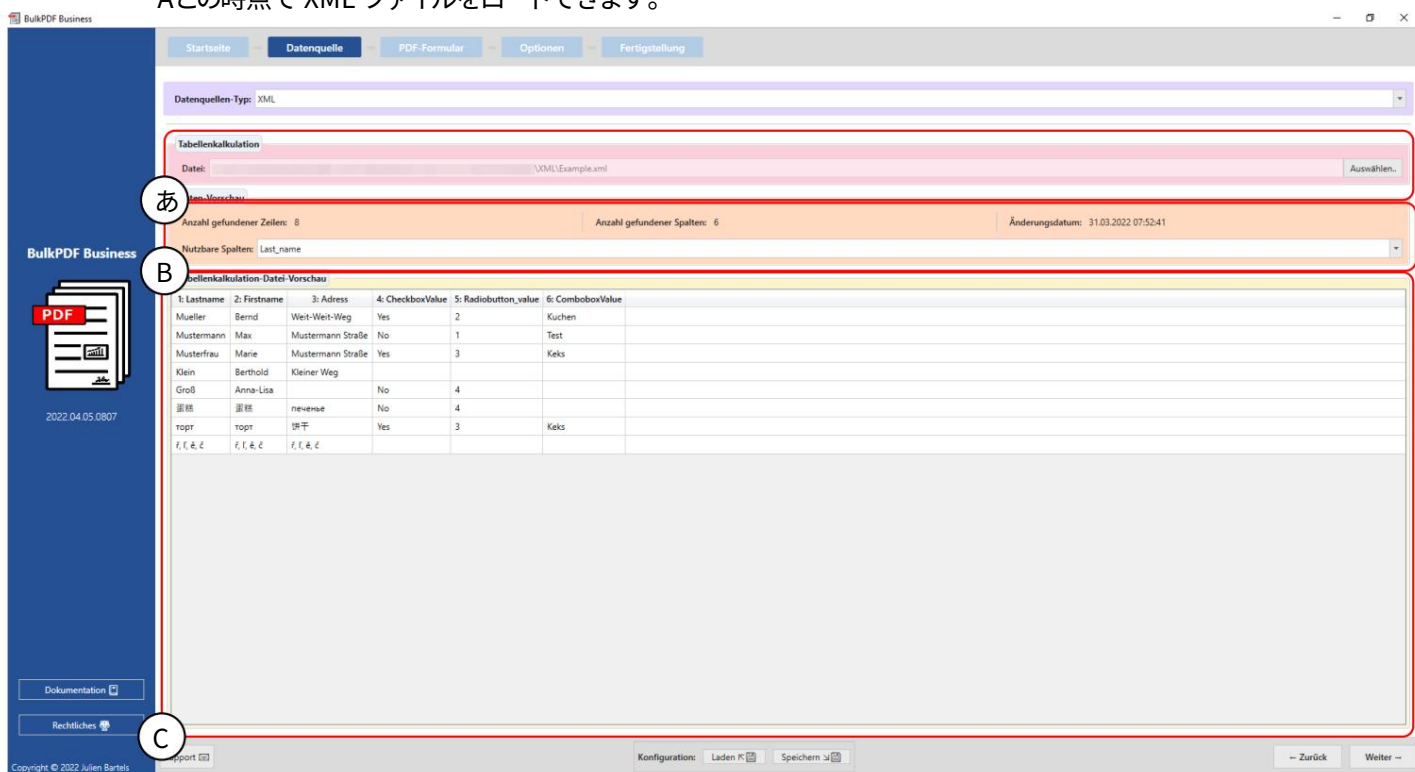
C データ プレビュー: この時点で、認識されたデータの最初の 1000 行が表示されます。

ファイルが希望通りにロードされ、データが認識されたかを確認するためにファイルが表示されます。

3.2.8 XML



Aこの時点で XML ファイルをロードできます。



ファイル: 選択した XML ファイルが表示されます。

B データプレビュー:要素グループ内で、見つかった要素の数

見つかった行と列が表示されます。同様に、見つかったもののリスト

データを選択するときの次のステップで概要を示し、ファイルが正しくロードされていることを確認するために使用できる列が表示されます。

C データ プレビュー:この時点で、認識されたデータの最初の 1000 行が表示されます。

ファイルが表示され、ファイルが希望どおりにロードされたかどうかを確認します
そしてデータは認識されました。

3.2.9 スプレッドシート / Excel (列と行を入れ替え)

このデータ ソース タイプは、通常の「スプレッドシート」と同様に動作します。

/ Excel」データ ソース タイプ (セクション3.2.2 を参照)との違いはありますが、

交換する列と行をロードします。この動作では、たとえば、

スプレッドシート ファイルは次の構造でロードできます。

名前ベルント	マックス	マリー	...
姓 :ミューラー	ムスターマン	モデルの女性	...
住所	はるか遠くのマスターマン通り マスターマン通り
...

3.2.10 MySQL/MariaDB サーバー

Verbindung

Connection String: Server=localhost;Database=BulkPDFBusiness;User=root;Password=

Verbinden

↑

Stellen Sie eine SQL-Verbindung her und wählen eine Tabelle aus.

Hinweise zum Datenquellen-Typ

Für die Verwendung von Daten aus einem MySQL- oder MariaDB-Server stehen mehrere Varianten zum Datenabruf zur Verfügung.

Zum einen kann die Option gewählt werden, bei der man einfach einen "Connection String" eingibt und dann automatisch alle verfügbaren Tabellen der jeweiligen Datenbank angezeigt werden. Aus diesen Tabellen kann dann eine ausgewählt werden, die als Datenquelle fungieren soll. Beispiele für gültige Verbindungsstrings finden Sie in der Dokumentation.

Die zweite Option ist die Möglichkeit, neben dem Verbindungsstring einfach eine SQL-Abfrage einzugeben, die die gewünschten Daten zurückgibt. Mit dieser Option können Sie die volle Funktionalität von SQL auf dem Server für die Datenquelle in BulkPDF nutzen.

接続文字列: 「接続文字列」の例を次に示します。

,サーバー=サーバーアドレス;データベース=BulkPDFBusinessTest;ユーザーID=myユーザー名;パスワード=myPass
閲覧可能。「接続文字列」の「データベース」セクションは、指定されたデータベースのテーブルのみがリストされるため、特に重要です。

B 「接続文字列」で指定したテーブルからテーブルを選択できます。

代わりにデータベースを使用します。このデータ ソース内では一度に 1 つのテーブルのデータのみを使用できるように注意してください。

Verbindung

Connection String: Server=localhost;Database=BulkPDFBusinessTest;User ID=root;Password=

Verbinden

Daten-Vorschau

Anzahl gefundener Zeilen: 8

Anzahl gefundener Spalten: 6

fundene nutzbare Spalten: Last_name

1: Lastname	2: Firstname	3: Address	4: CheckboxValue	5: Radiobutton_value	6: ComboboxValue
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	1	Kuchen
Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	2	Test
Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕	蛋糕	ne-ense	No	4	
topr	topr	饼干	Yes	3	Keks
え、え、え	え、え、え	え、え、え			

A入力した「接続文字列」と選択したテーブル「例」が表示されます。

Bこの領域には、識別された行と列の数が表示されます。認識された列のリストも提供され、次のデータ選択ステップで使用できます。

Cこのセクションには、SQL テーブルの最初の 1000 行が表示されます。これにより、テーブルが正しくロードされたかどうかを確認でき、データは適切に特定されました。

3.2.11 MySQL/MariaDB サーバーのカスタムクエリ

Verbindung

Connection String: Server=localhost;Database=BulkPDFBusinessTest;User ID=root;Password=

SQL Query: SELECT * FROM example|

Ausführen

Geben sie eine Connection-String sowie eine SQL-Query und drücken folgend auf "Ausführen".

Hinweise zum Datenquellen-Typ

Für die Verwendung von Daten aus einem MySQL- oder MariaDB-Server stehen mehrere Varianten zum Datenabruf zur Verfügung.

Zum einen kann die Option gewählt werden, bei der man einfach einen "Connection String" eingibt und dann automatisch alle verfügbaren Tabellen der jeweiligen Datenbank angezeigt werden. Aus diesen Tabellen kann dann eine ausgewählt werden, die als Datenquelle fungieren soll. Beispiele für gültige Verbindungsstrings finden Sie in der Dokumentation.

Die zweite Option ist die Möglichkeit, neben dem Verbindungsstring einfach eine SQL-Abfrage einzugeben, die die gewünschten Daten zurückgibt. Mit dieser Option können Sie die volle Funktionalität von SQL auf dem Server für die Datenquelle in BulkPDF nutzen.

Aここに接続文字列を入力します。

Bこの時点で、SQL クエリが作成されます。

Verbindung

Connection String: Server=localhost;Database=BulkPDFBusinessTest;User ID=root;Password=

SQL Query: SELECT * FROM example|

Ausführen

Item-Vorschau

Anzahl gefundener Zeilen: 8

Anzahl gefundener Spalten: 6

Gefundene nutzbare Spalten: Last_name

Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau

1: Lastname	2: Firstname	3: Address	4: CheckboxValue	5: Radiobutton_value	6: ComboboxValue
Mueller	Bernd	Weit-Weit-Weg	Yes	1	Kuchen
Mustermann	Max	Mustermann Straße	No	2	Test
Musterfrau	Marie	Mustermann Straße	Yes	3	Keks
Klein	Berthold	Kleiner Weg			
Groß	Anna-Lisa		No	4	
蛋糕	蛋糕	ne-verse	No	4	
topr	饼干		Yes	3	Keks
f, f, é, é	f, f, é, é	f, f, é, é			

接続文字列:この時点で、「接続文字列」は、Server=SERVERADRESSE;Database=BulkPDFBusinessTest;User
Id=myUsername;Password=myPass の例で表示できます。このデータ ソースの場合、選択したデータベースのテーブルのみがリストさ
れるため、「接続文字列」の「データベース」セクションが重要です。

B 定式化された SQL クエリはここで確認できます。

C このセクションでは、見つかった行と列の数が表示されます。認識された列のリストも表示され、後続のステップで
データを選択するときに使用できます。

D SQL クエリの最初の 1000 行がこの領域に表示されます。

これは、クエリが意図したとおりに読み込まれたことを確認するためです。
データは正しく識別されました。

3.3 PDF フォーム

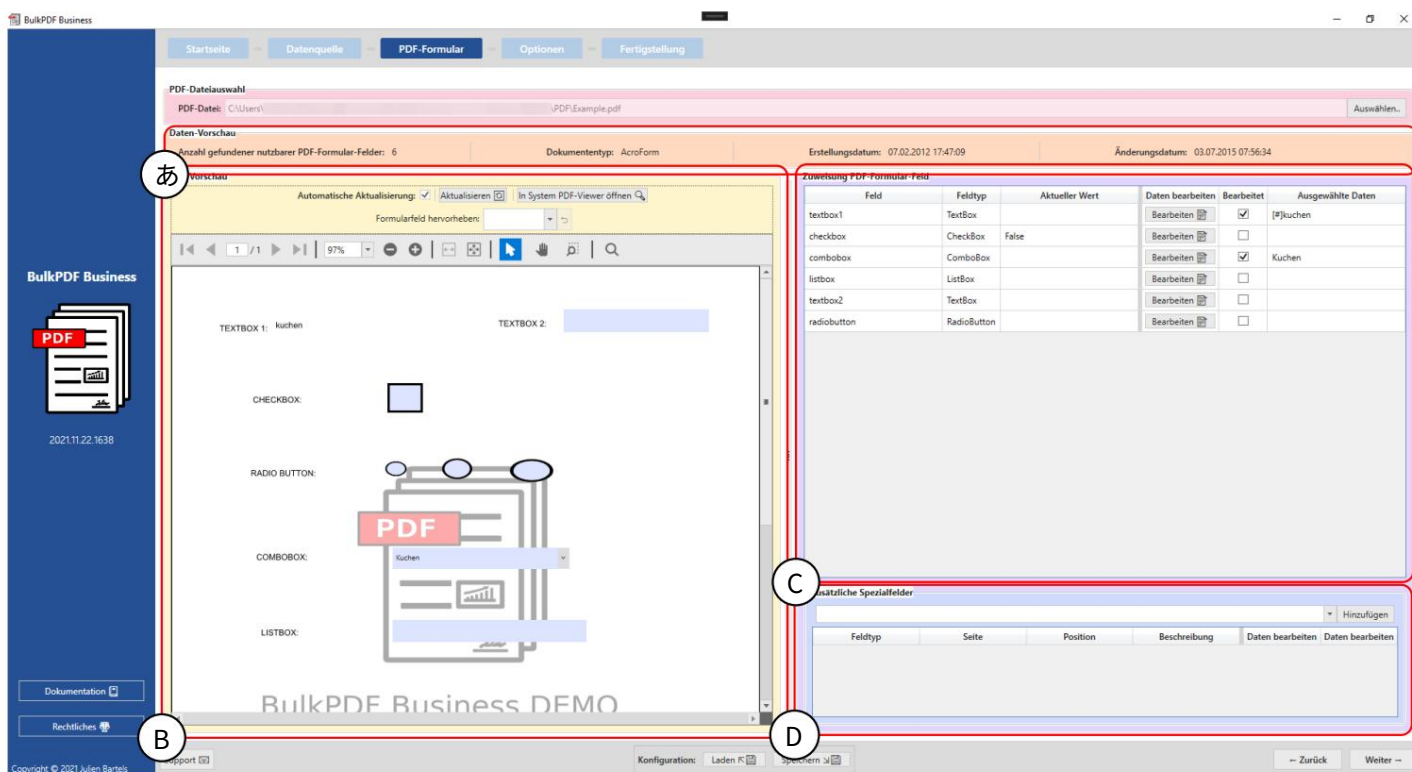
このステップでは、データ ソースのデータが PDF フォームのフィールドに割り当てられます。これは、データ ソース
の最初の行のデータを含む PDF のライブ プレビューによってサポートされます。さらに、QR コード、バーコード、ハ
イパーリンク、画像などの特別なフィールドを PDF ドキュメントに追加できます。

の。

3.3.1 概要



PDF ファイルの選択:この要素グループでは、記入する PDF フォームを選択できます。



Aこの要素グループには、「見つかった使用可能な PDF フォーム フィールドの数」、文書タイプまたは文書形式 (AcroForm または XFA)、作成日、および変更日が表示されます。作成日と変更日は、特定できる場合にのみ表示されます。

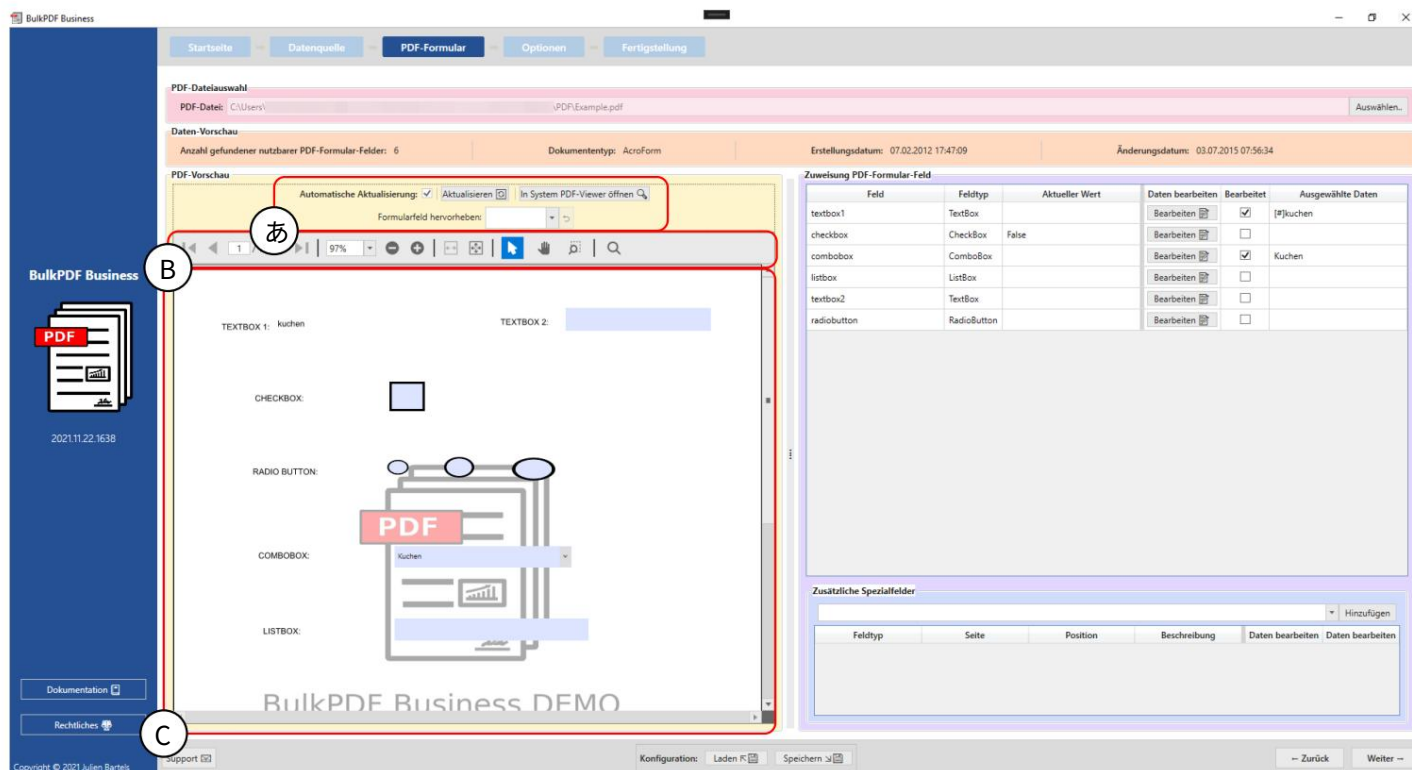
B PDF プレビュー:要素のグループには PDF フォームのプレビューが含まれています。PDF へのデータの割り当てに対する変更は、最初の変更とともにここに反映されます。レンダリングされる内容をよりよく理解するために表示されるデータ ソースの行変更を取得します。PDF フォームの作成者によって間違っただ名前が付けられた可能性があるフォーム フィールドを強調表示するために、同じことが機能グループにも当てはまります。不可解な名前の背後にどのフィールドが隠されているかがわかります。(PDF プレビューの詳細については、[セクション 3.3.2](#) を参照してください。)

C PDF フォーム フィールドの割り当て: PDF フォームにあるすべてのフォーム フィールドがこの表にリストされています。順序は、作成者がフォームフィールドを最後に編集した順序によって異なります。

ほとんどの場合、PDF 自体のフィールドの垂直順序と同じになります。に相当しますが、常にそうである必要はありません。個々の行については、フィールドのデータ割り当ては変更できます。(詳細については、[を参照してください](#)) この要素グループの[セクション3.3.3](#)を参照してください。)

D 追加の特殊フィールド:この要素グループには、次のような特殊フィールドがあります。バーコード、ハイパーリンク、画像などがドキュメントに追加されます。どうやってドキュメントにすでに含まれているフォームフィールドでも、データ ソースから追加された特殊フィールドにデータを動的に割り当てます。(詳細については、[セクション 3.3.14](#) を参照してください。)

3.3.2 PDF プレビュー



Aこの時点でPDFプレビューの自動更新を利用することができます。

データ割り当ての変更は、次の理由により必要に応じて無効になります。

コンピューターの電源が必要なようです。さらに、アップデートは手動で行うこともできます

プレビューまたはプレビュー PDF は、Windows に保存されている標準 PDF ビューアで開くことができます (標準 PDF ビューアの変更については、セクション7.11 を参照)。要素グループは、フォーム フィールドの名前を選択した後、次の機能も提供します。

強調表示されるフィールド。この機能は、作成者が次の場合に特に便利です。

PDF フォームの場合、フォーム フィールドに明確な名前が付けられておらず、たとえば「顧客住所」の代わりに「テキスト フィールド 1」などの名前のみが割り当てられていました。

Bここには、PDF プレビューの機能があります。B. ズーム、検索

等

Cこれはプレビュー PDF 自体です。このプレビューに加えられた変更は次のとおりです。

これらは一時的なもので、次回プレビューが更新されるときに破棄されます。どうしてもプレビューを保存したい場合は、次を使用できます

「システム PDF ビューアで開く」ボタンに移動します。オペレーティング システムに保存されている標準の PDF ビューアによっては、PDF プレビューをシステム上に永続的に保存できます。

3.3.3 PDF フォームフィールドへのデータのマッピング

The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. The main window displays a PDF form with various fields like text boxes, checkboxes, radio buttons, and a combobox. On the right, there is a table titled 'Zuordnung PDF-Formular-Feld' (Mapping PDF Form Fields) with the following columns: 'Feld' (Field), 'Feldtyp' (Field Type), 'Aktueller Wert' (Current Value), 'Daten bearbeiten' (Edit Data), 'Bearbeitet' (Edited), and 'Ausgewählte Daten' (Selected Data). The table lists fields such as 'textbox1', 'checkbox', 'combobox', 'listbox', 'textbox2', and 'radiobutton'. Below the table, there are buttons for 'Bearbeiten' (Edit) and 'Auswählen' (Select). The interface also includes a sidebar with 'BulkPDF Business' branding and a bottom status bar with 'Support', 'Konfiguration', 'Laden', and 'Speichern' options.

フィールド名: フォームフィールドの名前がこの列に表示されます。

B フィールドタイプ: この列には、各フォームフィールドのフィールドタイプが表示されます。

例: テキストフィールド、チェックボックス、ラジオボタン、コンボボックス、リストボックスなど。

C 現在の値: フォームフィールドの現在の内容が表示されない場合は表示されます。

BulkPDF Business によって処理が行われます。

D データの編集: このボタンをクリックすると、個々の設定が表示されます。

さまざまなフォームフィールドとそのさまざまなフィールドのウィンドウ

種類。

E 編集済み: BulkPDF Business のデータ割り当てがフォームフィールドに対して編集されているかどうかを示します。

F 選択されたデータ: この列は、割り当てられたデータを表します。

データ。

書き込み保護: この列は、フィールドに書き込み保護が適用されているかどうかを示します。

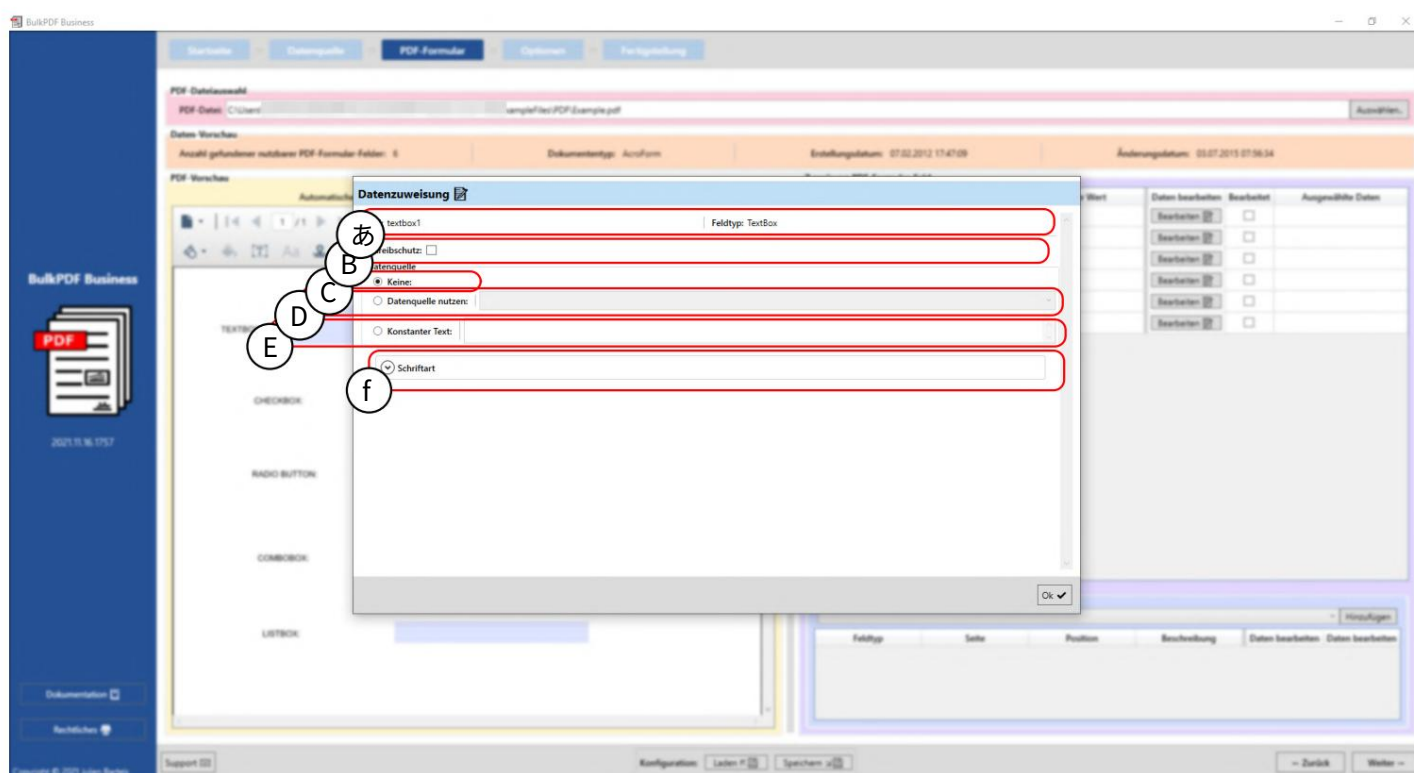
フィールドデータの自動割り当て通常割り当てテーブルの下に、[フィールドデータの自動割り当て] ボタンがあります。このボタンは、データソースの適切な列をフィールドに自動的に割り当てます。フォームフィールドの名前とデータソースの個々の列名の間で何文字異なっているかが比較されます。次に、差が最も小さい列名が採用されます。許可される最大差異は、ボタンの横にある「割り当ての最大名前差異」テキストフィールドで指定できます。そこにはデフォルト値として「2」が設定されています。これは、たとえば、「Customer」を「Custom」にするために必要な変更は2つだけであるため、「Customer」フィールドには「Custom」列が割り当てられることを意味します。これらの変更では、文末の「r」が削除され、「e」が「a」に置き換えられます。(該当する場合は、<https://de.wikipedia.org/wiki/Levenshtein-Distanz>を参照してください)

ユーザーからの実用的なヒント:

デフォルト値2は機能します。1と0も試してください。スクロールして、自動認識されなかったフィールドを確認してください。

フィールドリストの最後まで入力してください。

3.3.4 テキストボックスと一般フィールドのデータ選択



A フォームのフィールド名とフィールドの種類（テキストフィールド、チェックボックス、ラジオボタン、コンボボックス、リストボックスなど）が表示されます。

B 書き込み保護:このボックスを使用すると、数式の書き込み保護が行われます。

活性化される。その結果、このフィールドは処理後に

BulkPDF Business では処理できなくなりました。データ BulkPDF

したがって、フィールドに書き込まれたものは常に固定されます。(例として

詳細については[セクション3.3.7](#)を参照してください)。

C データ割り当てなし:このオプションを使用すると、フォーム フィールドは既存のコンテンツを保持します。

D データ ソースを使用:このオプションを使用すると、データ ソースの列が使用されます。

選ばれること。その後、フィールドにその列の値が続きます。

満たされました。(詳細については、[セクション 3.3.5](#)を参照してください)。

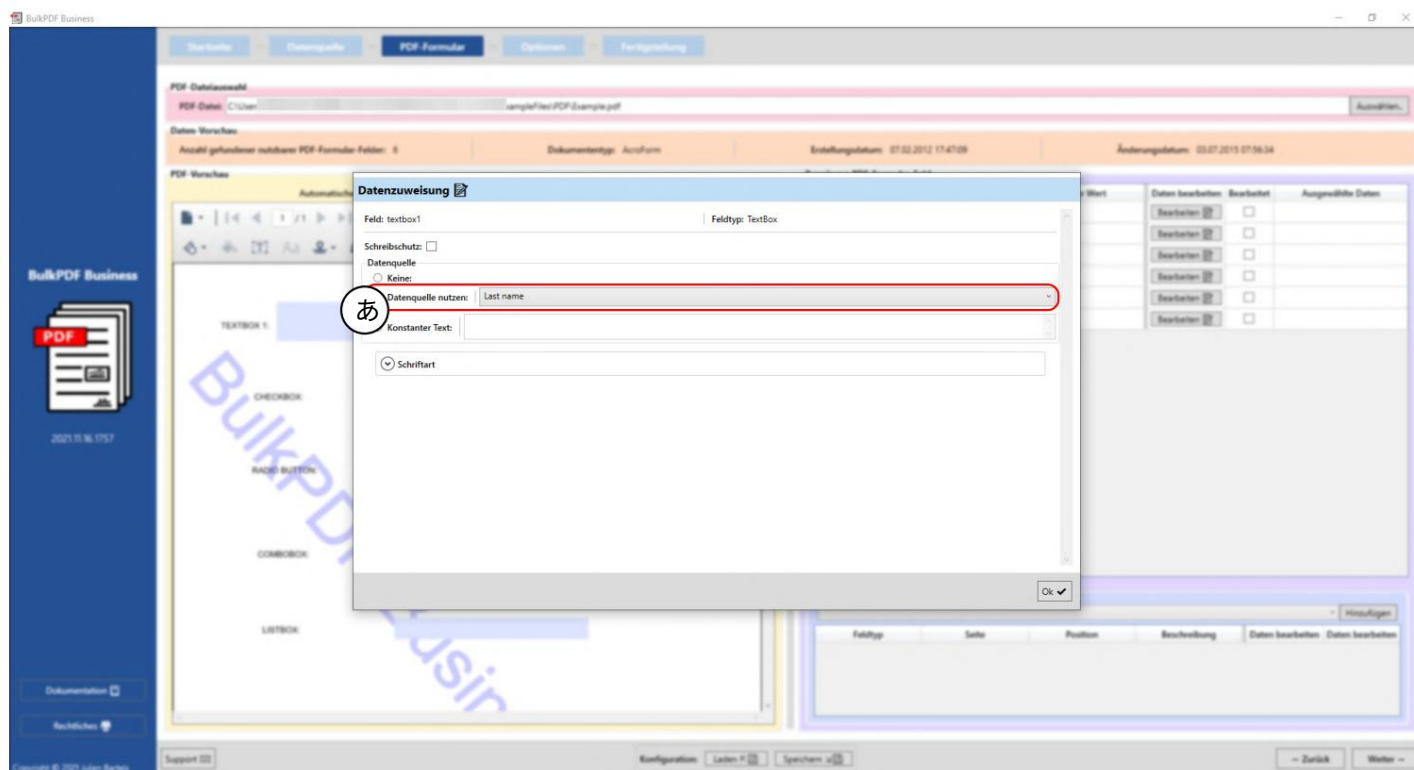
E 定数テキスト:このオプションを使用すると、完成したすべての PDF ドキュメントの最後に同じ定数テキストを
フォーム フィールドに入力できます。

(詳細については、[セクション 3.3.6](#)を参照してください)。

F フォント:フォームフィールドのフォントをここに入力できます (「

[セクション3.7.4](#)を参照)。

3.3.5 フォームフィールドにデータソースを使用する



ここでは、ユーザーが現在フィールド「textbox1」の編集ウィンドウにいて、このためにデータソースが使用されていることがわかります (A を参照)。

データソース列「姓」がデータソースとして選択されています。これは、フィールドにこの列のデータが入力されていることを意味します。

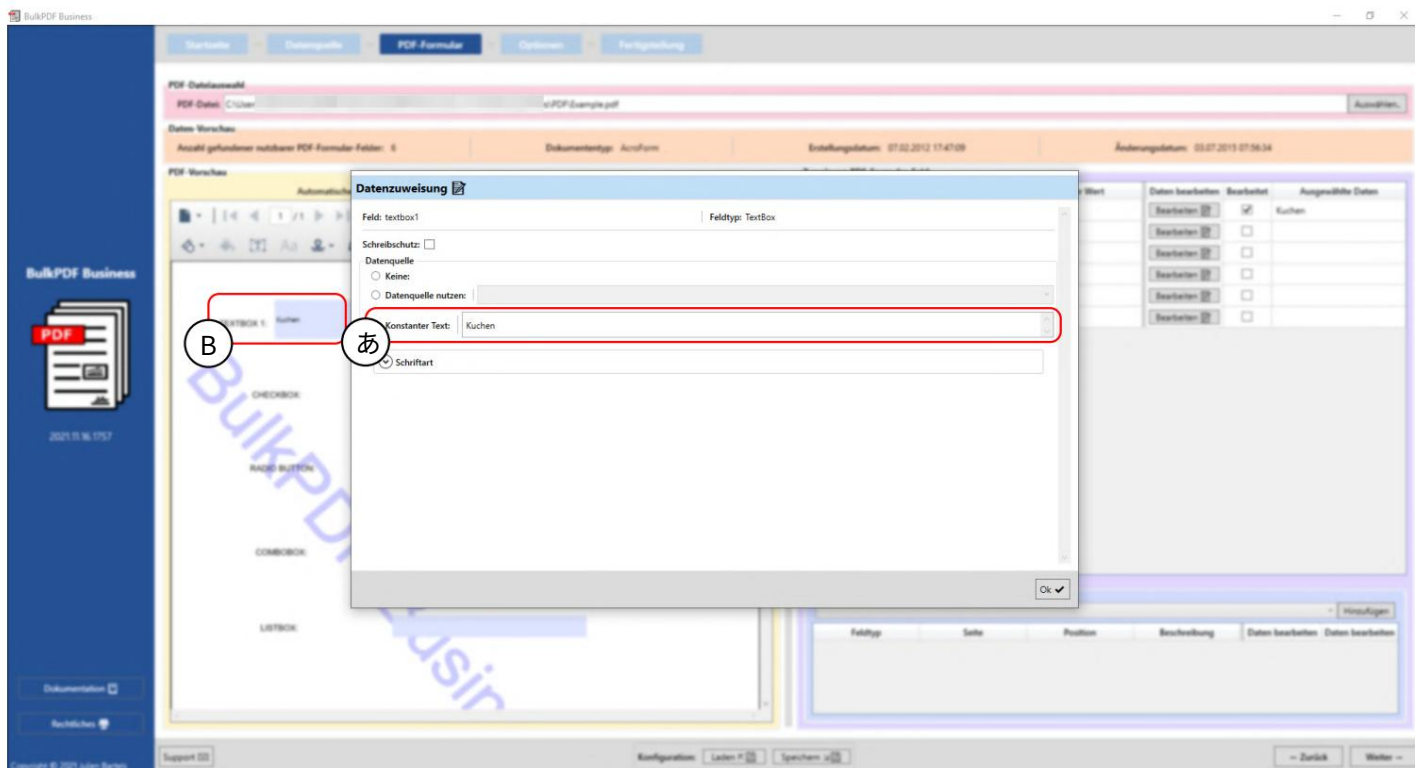
The screenshot displays the BulkPDF Business software interface. The top navigation bar includes tabs for 'Startseite', 'Datenquelle', 'PDF-Formular', 'Optionen', and 'Fertigstellung'. The main area is divided into a preview window on the left and a configuration table on the right. The preview window shows a PDF form with fields for 'TEXTBOX 1: Mueller', 'CHECKBOX', 'RADIO BUTTON', 'COMBOBOX', and 'LISTBOX'. The configuration table on the right lists fields with their types and current values. A red circle 'A' highlights the 'TEXTBOX 1' field in the preview, and a red circle 'B' highlights the 'textbox1' row in the configuration table.

Feld	Feldtyp	Aktueller Wert	Daten bearbeiten	Bearbeitet	Ausgewählte Daten
ok1	TextBox		Bearbeiten	<input checked="" type="checkbox"/>	Last name
box	CheckBox	False	Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
combobox	ComboBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
listbox	ListBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
textbox2	TextBox		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	
radiobutton	RadioButton		Bearbeiten	<input type="checkbox"/>	

編集ウィンドウを閉じると、PDF プレビューが自動的に更新され、変更された構成のデータ ソースの最初の行のデータを含む完成した PDF フォームが表示されます。これは、ここでAにマークされているのがわかります。「姓」列の最初の行の値または内容がフォーム フィールド「textbox1」に入力されました。この場合は「Mueller」です。

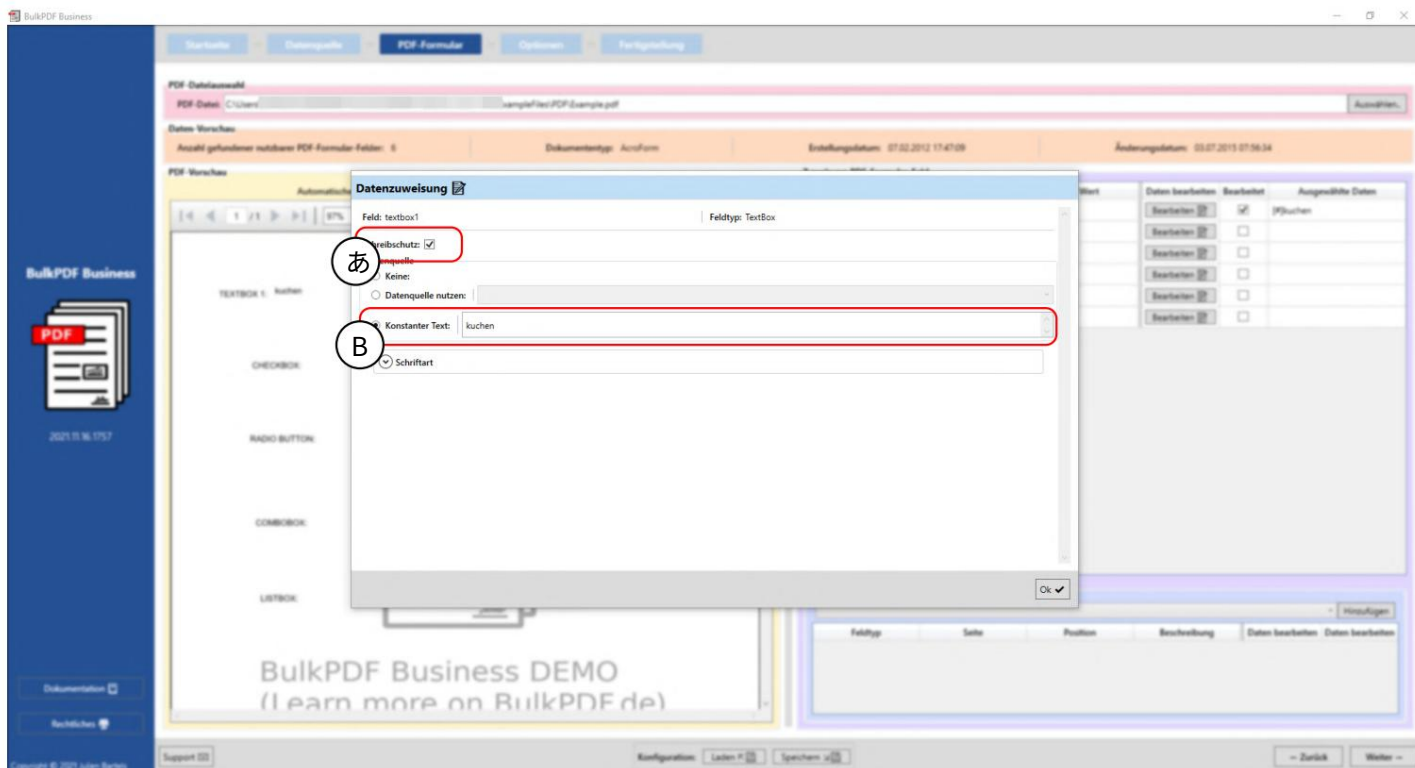
BulkPDF Business でフォーム フィールドが手動で編集されたという事実もBで確認できます。ここでは、「編集済み」列が強調表示され、選択されたデータの表現が表示されます。

3.3.6 フォームフィールドの定数テキストを設定する



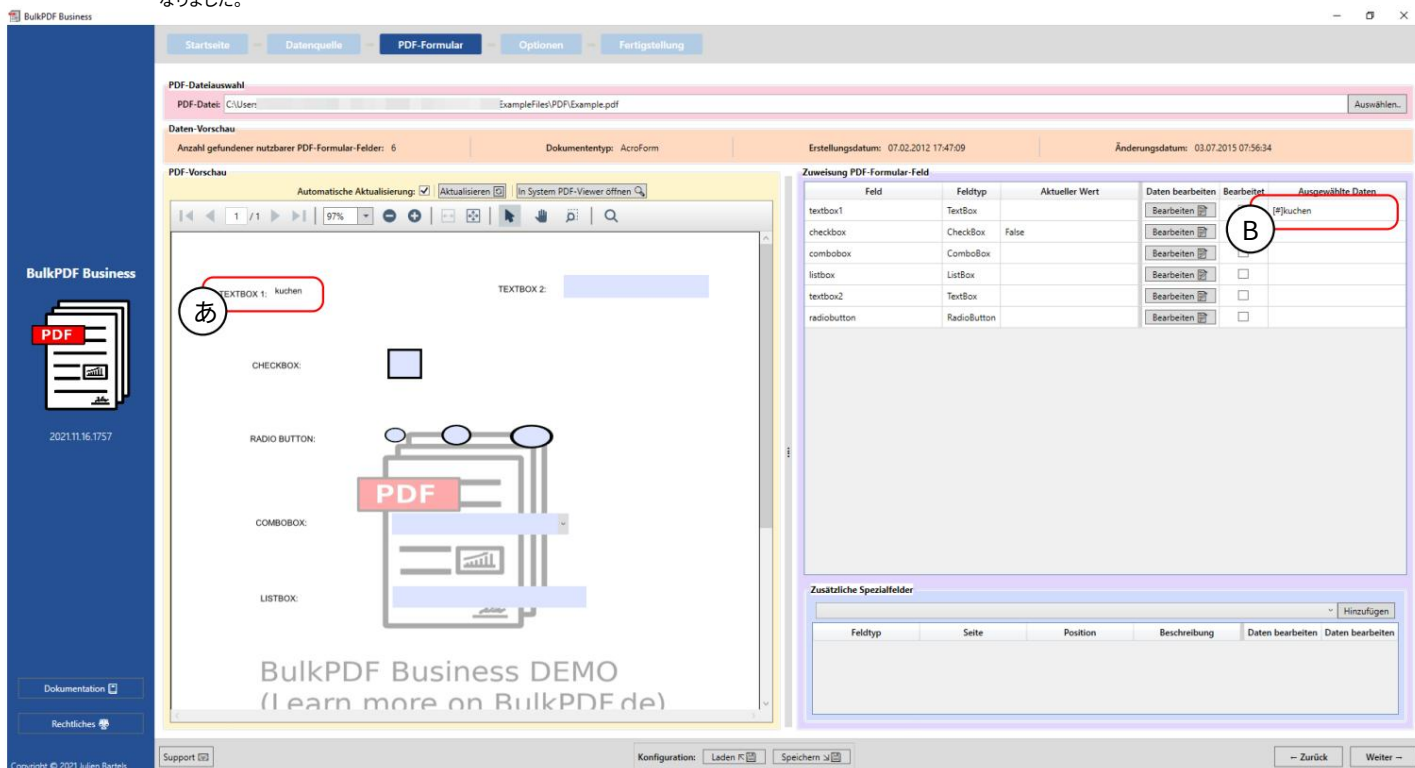
この定数は「データソースの使用」(セクション3.3.5を参照)と同じように動作しますが、データソースに関係なく、フォームフィールドに入力される内容がすべてのドキュメントで同じである点が異なります。これはAで確認できます。フォームフィールド「textbox1」に値「cake」が入力されています。定数値は、フィールドのBの背景にすでに表示されています。

3.3.7 個々のフォームフィールドの書き込み保護



この例では、ステップ保護ボックス(A)がチェックされ、フォーム フィールド「textbox1」の書き込み保護が選択されていることがわかります。 Bでは、定数テキスト「kuchen」がデータに設定されていることがわかります。

なりました。



Aここでは、「textbox1」フォームフィールドが編集できなくなり、定数テキスト「cake」がフィールドのコンテンツになっていることがわかります。

B選択したデータの表現に定数テキスト「cake」が表示されます。

3.3.8 フォームフィールドの日付フォーマット

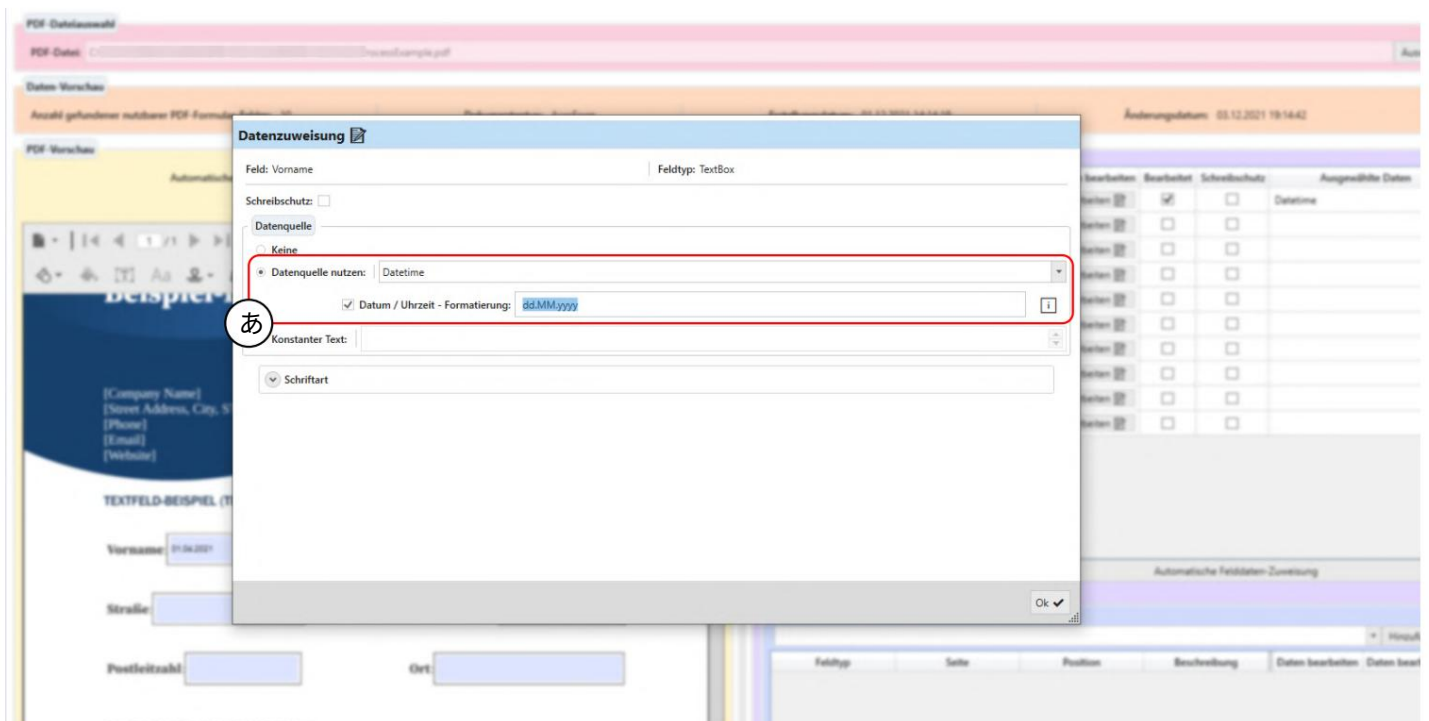
フォームフィールドの日付フォーマットを説明するために、短い例を以下に示します。

The screenshot shows a configuration interface for a data source. It includes sections for 'Datenquellen-Typ', 'Tabellenkalkulation', 'Daten-Vorschau', and 'Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau'. The 'Tabellenkalkulation-Datei-Vorschau' section contains a table with the following data:

1: Datetime
01.04.2021 00:00:00
15.01.2022 15:04:07
15.06.2009 13:45:30
2009-06-15T13:45:30

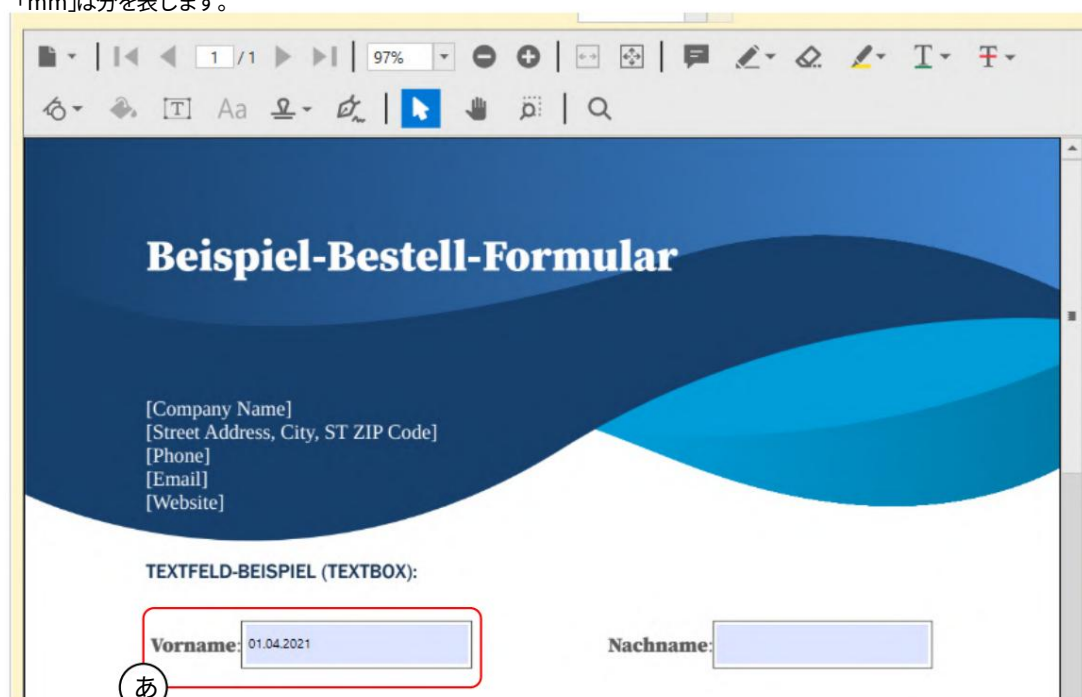
A red box highlights the table content, and a circled 'あ' (A) is placed next to it.

A日付として認識されるさまざまなデータ形式などを示します。
それを見るために。



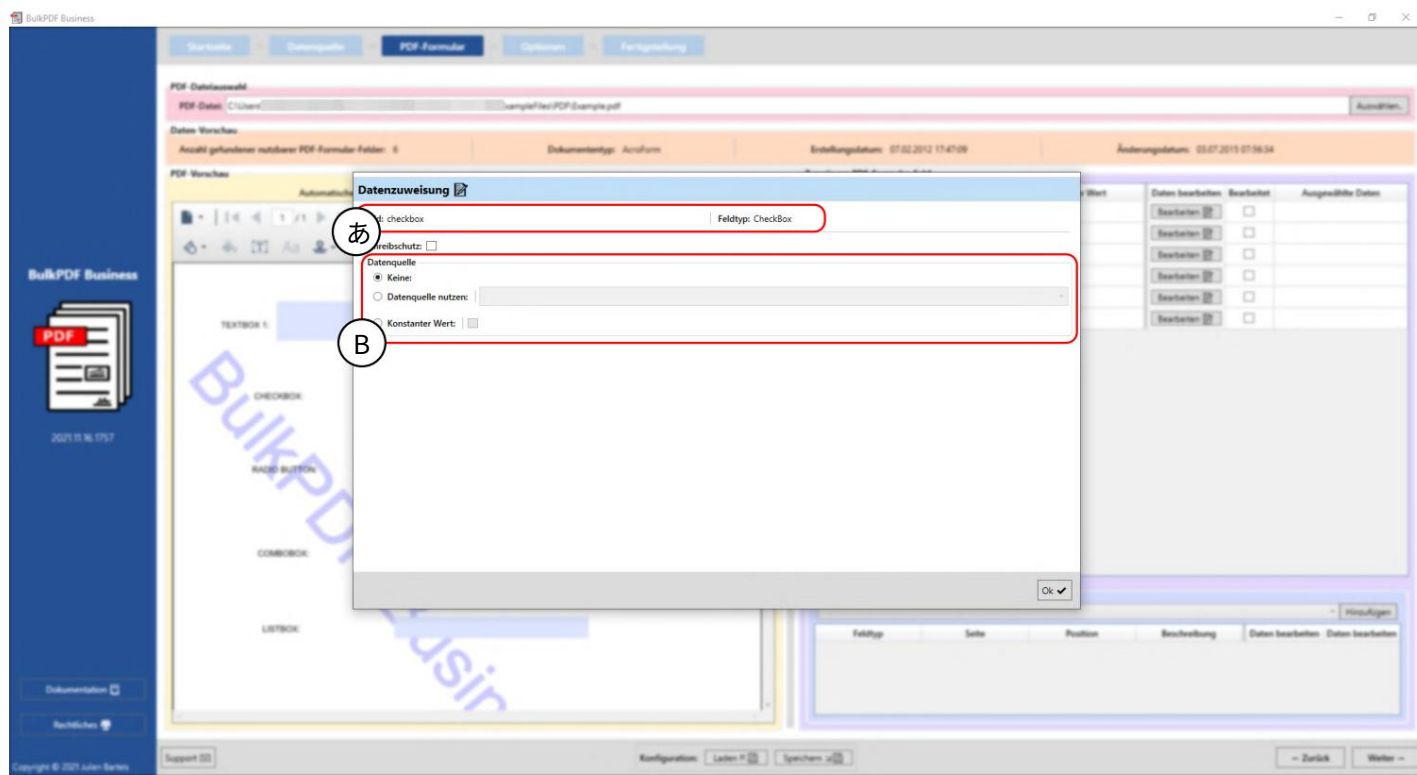
Aここでは、テーブル列「日付時刻」と日付書式設定フィールドを含むデータソースの使用が指定されています。この入力フィールドを使用すると、日付や時刻をデータの希望の形式として指定できます。

正確な可能な値については、セクション 6.4 に表があります。お願いします
大文字と小文字が区別されることに注意してください。たとえば、「MM」は月を意味し、「mm」は分を表します。



A 「dd.MM.YYYY」の書式に従って、PDF テキスト フィールドにはドイツ語形式で時刻のない日付が含まれます。

3.3.9 チェックボックス

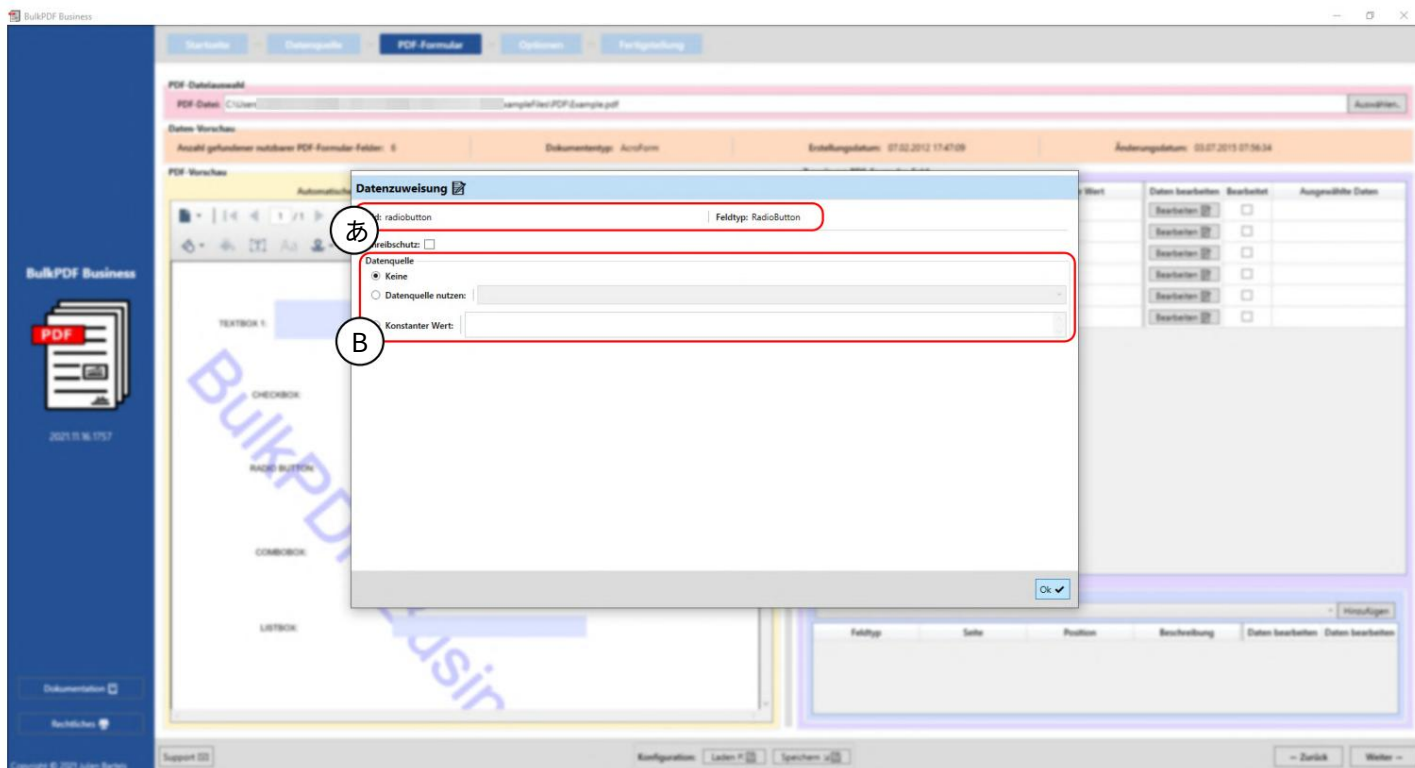


A ここにはフォームフィールド名「チェックボックス」、フォームフィールド種類「チェックボックス」が表示されます。

B データ ソース:たとえば、テキスト フィールド (セクション3.3.4 を参照) と比較して、ここではテキストとして定数値は使用できませんが、同じように機能するチェック ボックスが使用できます。データ ソースでは、BulkPDF Business の結果が「はい/いいえ」または「いいえ」となる列に値が使用されていることを確認することが重要です。

「True/Flash」の値を変換できます。(受け入れられる値についてはセクション 1.4.2 を参照してください)

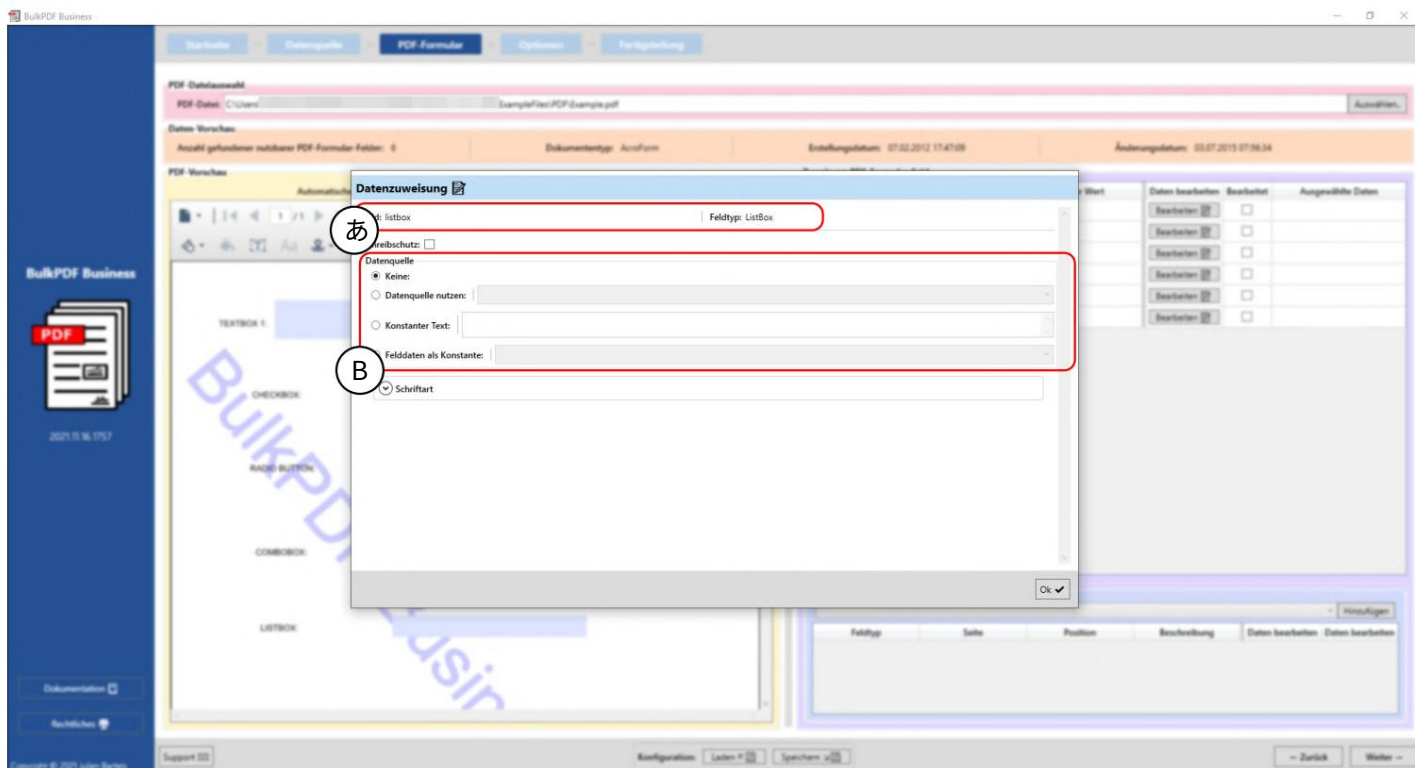
3.3.10 ラジオボタン



A ここにはフォームフィールド名「ラジオボタン」、フォームフィールドタイプ「ラジオボタン」が表示されます。

B データ ソース:テキスト フィールド (セクション3.3.4を参照)と同様に、データ ソース、定数値、または値なしを選択できます。「RadioButton」グループ内のどのラジオ ボタンを選択するかを選択するには、番号を指定する必要があります。最初のボックスの値は「1」、2 番目のボックスの値は「2」というようになります。

3.3.11 リストボックス

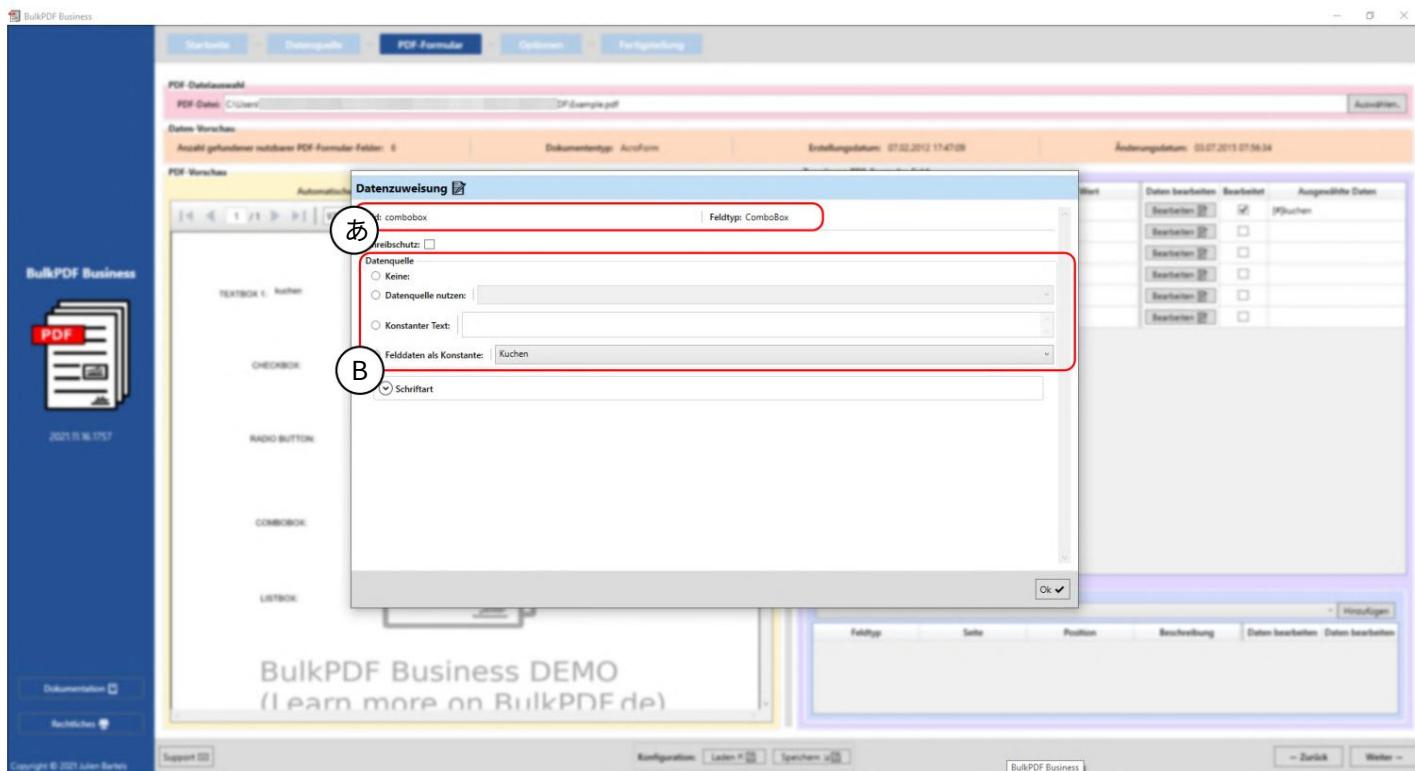


A ここにはフォームフィールド名「listbox」、フォームフィールド種類「ListBox」が表示されます。

B データ ソース:テキスト フィールド (セクション3.3.4を参照) と同様に、データ ソース、定数値、または値なしを選択できます。さらに、「フィールドデータを定数として設定する」オプションが利用可能で、この選択では、この「ListBox」の PDF フォームの作成者が意図した値を選択でき、この値の選択として PDF に含まれています。

選択した値は、「定数テキスト」項目の自分で作成したテキストと同じように動作します。したがって、値は作成されたすべての PDF フォームで同じになります。

3.3.12 コンボボックス



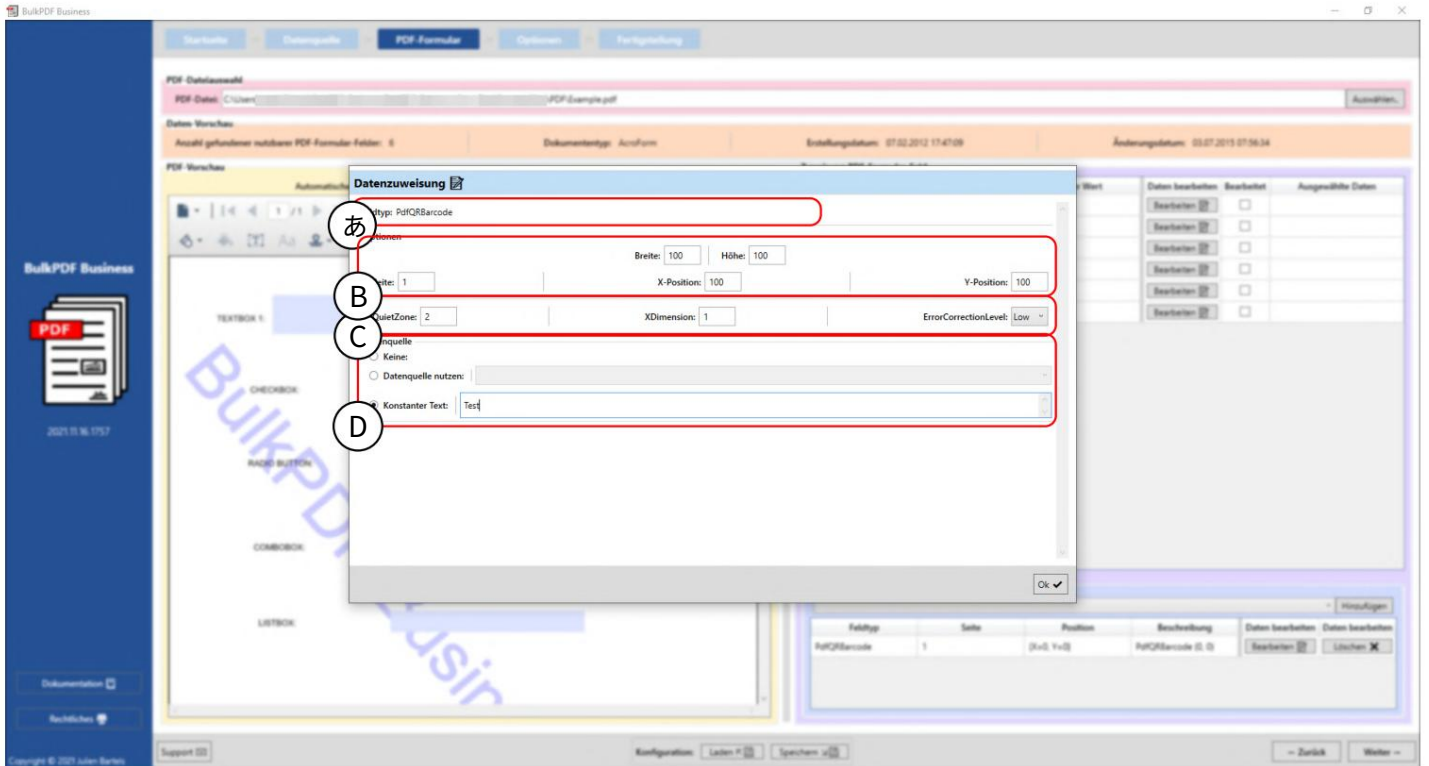
A ここにはフォームフィールド名「combobox」、フォームフィールド種類「ComboBox」が表示されます。

B データ ソース: 「ComboBox」でのデータ ソースの選択は、「ListBox」の場合と同じように動作します。セクション3.3.11 を参照してください。

3.3.13 バーコード一般

PDF フォームで使用できる多数のバーコードは、メニュー項目「追加の特殊フィールド」で利用できます。これらには、たとえば、QR、DataMatrix、PDF417、EAN8、EAN13、Codabar、Code11、Code39、Code93、Code128[A,B,C]、GS1-128、UPC が含まれます。これらの各バーコードには、独自の設定オプションを備えたバーコードに固有の独自のインターフェイスがありますが、第3.3.14章で説明した QR コード インターフェイスに似ています。

3.3.14 QRコード



Aここではフィールドタイプ「PdfQRBarcode」が表示されます。

B オプション (幅、高さ、位置): QR コードの幅と高さ、バーコードを表示する側とその位置をここで設定できます。0点 (PDFページの左上隅)までの距離を指定して位置を決定します。0点までの距離は、QRコードの左上隅にあるQRコードでも測定されます。最適な位置を見つけるには、値をいじって、たとえば値100がPDFのX位置のどこにあるかを把握するだけです。

C オプション (特別な設定オプション):この時点で、「クワイエットゾーン」、「XDimension」、「ErrorCorrectionLevel」など、バーコードタイプに固有のオプションが表示されます。

D データソース:データソースの選択は、「テキストフィールド」の場合と同じように動作します。セクション3.3.4を参照してください。違いはデータの使用法のみです。これにより、フィールドに渡されたデータがバーコードに変換されます。

PDF-Dateiauswahl
PDF-Datei: C:\Users\...exampleFiles\PDF\Example.pdf

Daten-Vorschau
Anzahl gefundener nutzbarer PDF-Formular-Felder: 6 | Dokumententyp: AcroForm | Erstellungsdatum: 07.02.2012 17:47:09 | Änderungsdatum: 03.07.2015 07:56:34

PDF-Vorschau
Automatische Aktualisierung: Aktualisieren In System PDF-Viewer öffnen

Zuweisung PDF-Formular-Feld

Feld	Feldtyp	Aktueller Wert	Daten bearbeiten	Bearbeitet	Ausgewählte Daten
textbox1	TextBox		<input type="button" value="Bearbeiten"/>	<input type="checkbox"/>	
checkbox	CheckBox	False	<input type="button" value="Bearbeiten"/>	<input type="checkbox"/>	
combobox	ComboBox		<input type="button" value="Bearbeiten"/>	<input type="checkbox"/>	
listbox	ListBox		<input type="button" value="Bearbeiten"/>	<input type="checkbox"/>	
textbox2	TextBox		<input type="button" value="Bearbeiten"/>	<input type="checkbox"/>	
radiobutton	RadioButton		<input type="button" value="Bearbeiten"/>	<input type="checkbox"/>	

Zusätzliche Spezialfelder

Feldtyp	Seite	Position	Beschreibung	Daten bearbeiten	Daten bearbeiten
PdfQRBarcode	1	(X=100, Y=100)	PdfQRBarcode (100, 100)	<input type="button" value="Bearbeiten"/>	<input type="button" value="Löschen X"/>

A PDFフォーム上のQRコードの幅「100」、高さ「100」、ページ「1」、X位置「100」、Y位置「100」。

B フィールドタイプ:この場合は「PdfQRBarcode」です。

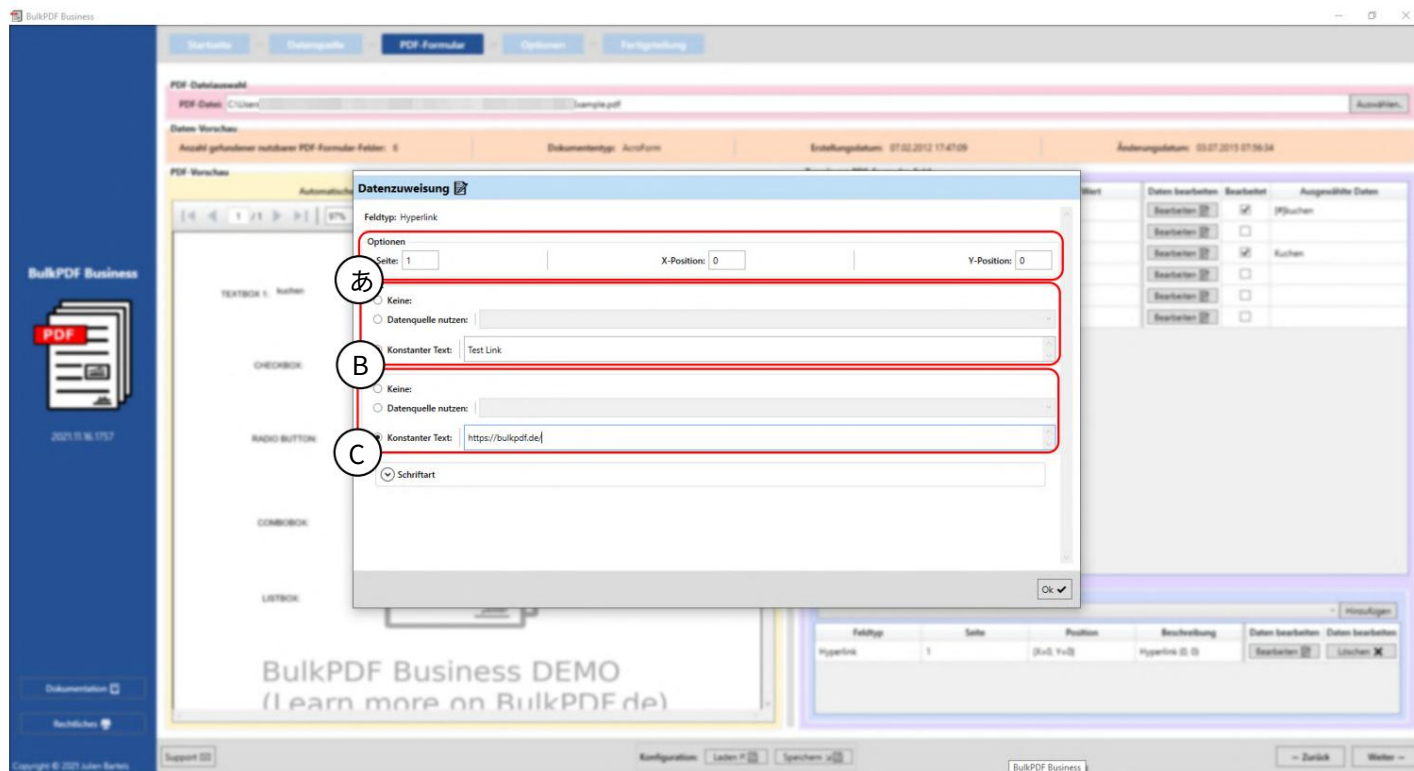
C ページ:バーコードが表示される PDF フォームのページ番号
すべき。

D ポジション:ここでは短い形式でポジションを確認できます。

E 説明:ここでは、フィールドの簡単な説明が表示されます。

Fこの時点で、特殊フィールドは再度編集または削除できます。
の。

3.3.15 ハイパーリンク



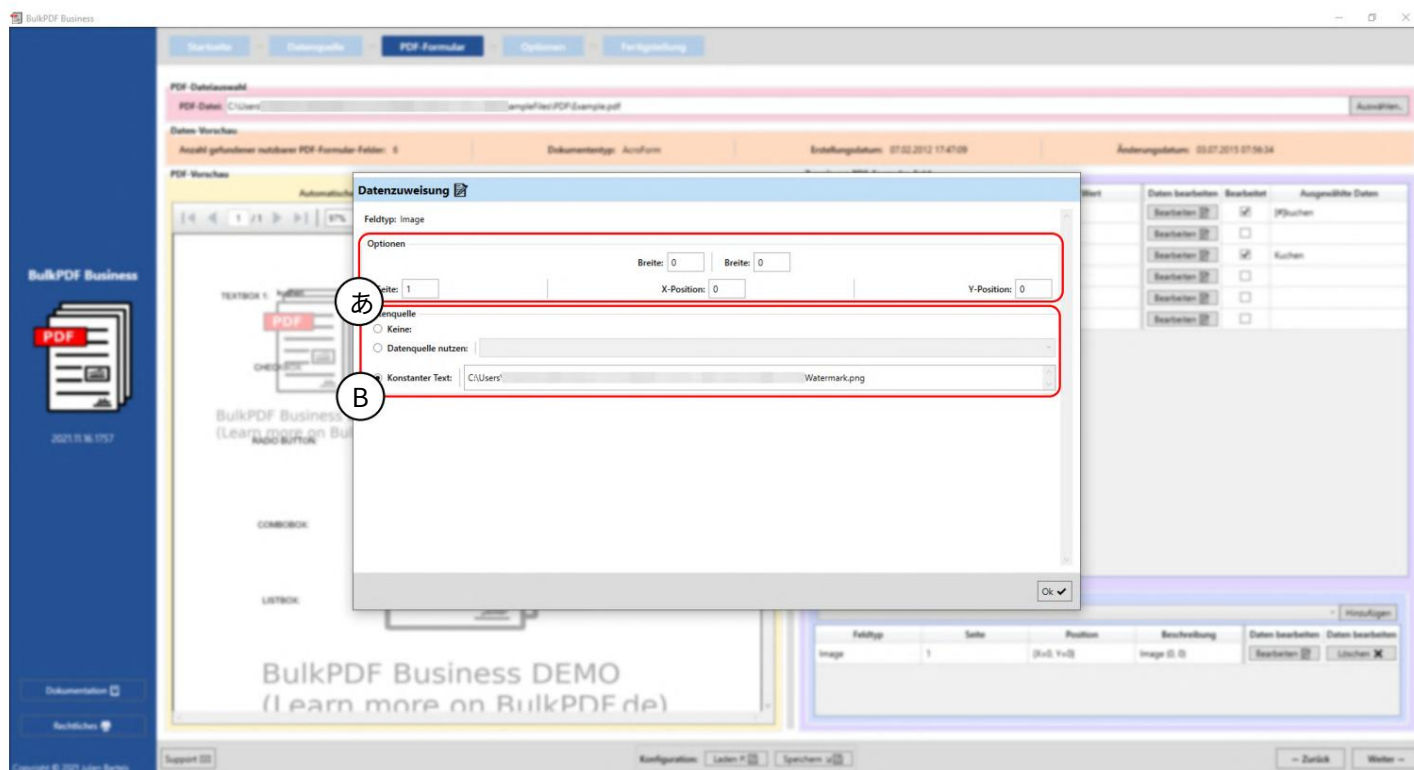
A オプション:ここでは、ハイパーリンクを表示するページと位置を設定できます。

B テキスト:ハイパーリンクのテキストをここで設定できます。それ以外の場合、データソースの選択は「テキストフィールド」の場合と同様に動作します。セクションを参照してください。

3.3.4.

C URL:ハイパーリンクが参照する URL または Web アドレスをここで設定できます。

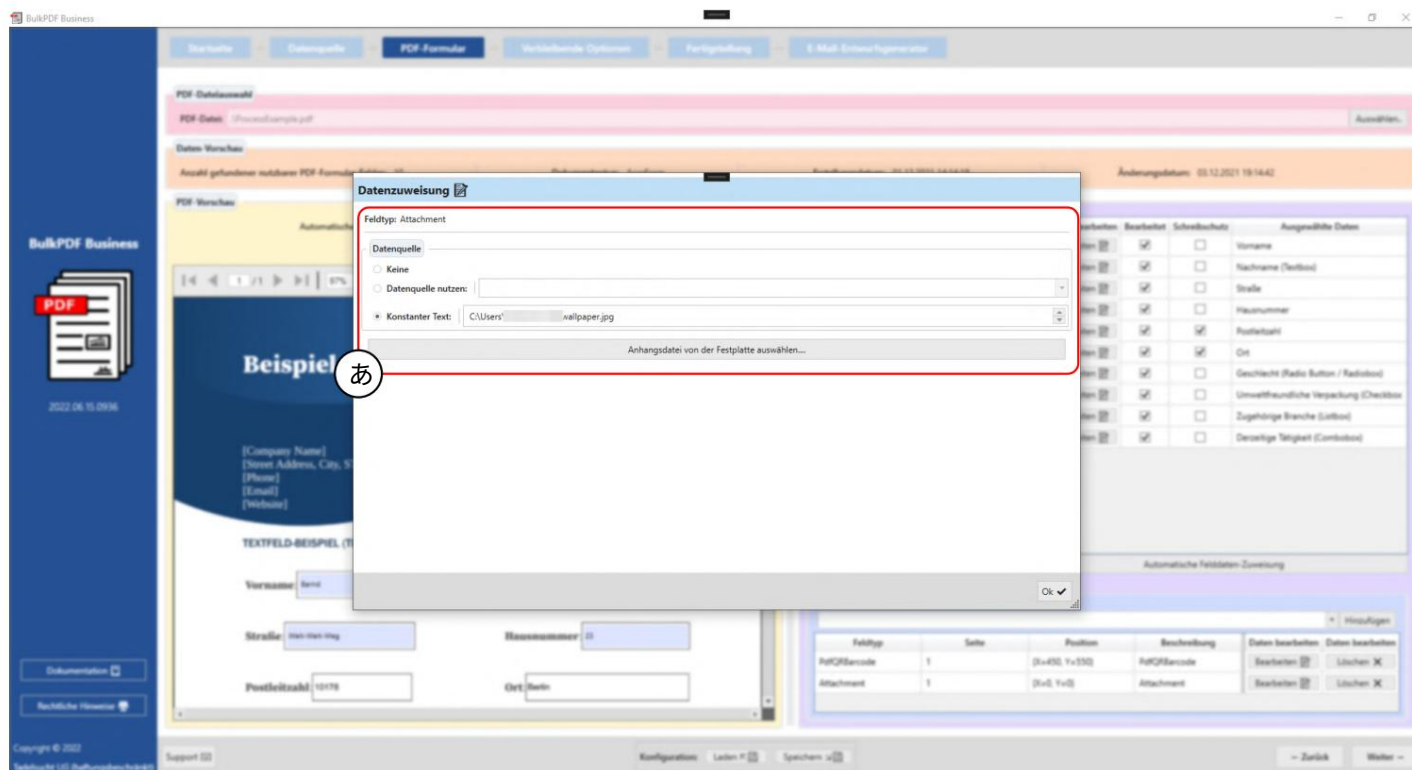
3.3.16 画像



A オプション:ここでは、幅と高さ、画像を表示する側とページ上の位置を設定できます。位置を決定するには、0点(PDF ページの左上隅)までの距離を指定します。0点までの距離も画像の左上隅で測定されます。最適な位置を見つけるには、値をいじって、たとえば値 100 が PDF の X 位置のどこにあるかを把握するだけです。

B データ ソース:画像フィールドは、画像へのファイルパスをデータとして受け入れます。PNG などのさまざまな画像ファイル形式がサポートされています。それ以外の場合、データソースの選択は「テキストフィールド」と同様に動作します。セクション3.3.4を参照してください。さらに、固定ファイルパスの画像を選択するためのクイック選択ボタンもあります。

3.3.17 ファイル添付



添付ファイル フィールドはファイル パスをデータとして受け入れます。データソースの選択
それ以外の場合は、「テキスト フィールド」と同様に動作します。セクション3.3.4 を参照してください。
さらに、1 つのファイルを選択するためのクイック選択ボタンがあります。
一定のファイルパス。

3.4 オプション

このステップでは、ファイル名フォーマット要素を並べるファイル名生成を定義し、完成した PDF ファイル
の出力ディレクトリを定義します。グローバル書き込み保護、ファイル圧縮、データ ソース行の選
択、フォントと PDF 署名の設定などのオプション オプションも利用できます。

The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. The top navigation bar includes 'Startseite', 'Datenquelle', 'PDF-Formular', 'Optionen', and 'Fertigstellung'. The main content area is divided into several sections:

- Dateiname (Filename):** A table with columns 'Dateiname', 'Formatierungs-Element', 'Daten', and 'Daten-Vorschau'. It contains two rows: 'Datenquelle' with 'Last name' and 'Mueller', and 'Konstante' with 'pdf' and 'pdf'.
- Dateinamen-Formatierungs-Elemente (Filename formatting elements):** A section with input fields for 'Konstante', 'Datenquelle', 'Zeilennummer', and 'Datum / Uhrzeit: dd.MM.yyyy'. Each field has a 'Hinzufügen' (Add) button.
- Optionale Optionen (Optional options):** A section with checkboxes for 'Digitaler Schreibschutz' and 'Datei-Kompression'. There is also a text input field for 'Datei-Kompression' with a hint '(Beispiel:1,4-9,34)'.
- Signatur (Signature):** A section with input fields for 'Signatur-Datei' and 'Signatur-Passwort', each with an 'Auswählen...' (Select...) button.

Red boxes and letters (A-H) highlight specific areas of interest:

- A:** Points to the 'Dateiname' table.
- B:** Points to the 'Dateinamen-Formatierungs-Elemente' section.
- C:** Points to the preview area showing generated filenames like 'Dateinamen-Vorschau 1: Mueller.pdf'.
- D:** Points to the 'Auswählen...' button at the bottom right of the preview area.
- E:** Points to the 'Optionale Optionen' section.
- F:** Points to the 'Datei-Kompression' checkbox.
- G:** Points to the 'Datei-Kompression' text input field.
- H:** Points to the 'Auswählen...' button in the 'Eigene Schriftart' section.

ファイル名:この表には、すべてのファイル名の書式設定要素が含まれています
生成されたファイル名が降順でリストされます。

B ファイル名フォーマット要素:この要素グループでは、ファイル名をフォーマットできます。
左側の書式設定要素テーブルに要素を追加します。
遺伝子。

Cこのプレビューには、書式設定要素に基づいて生成されたファイル名が表示されます。

D 出力:ここでは、プロセスの最後に出力される順序が指定されます。
完了したすべてのドキュメントを追加または保存する必要があります。

E グローバル読み取り専用:このオプションを使用すると、ワンクリックですべての PDF フォーム
フィールドを読み取り専用に変更できるため、それ以上の編集は不要になります。
これらに対して実行できます。

F ファイル圧縮:このオプションは、作成された PDF ファイルに対して可能な最大の圧縮を有効にし
ます。ディスク容量を節約するためのこのオプションは、
PDF ファイルを電子メールで送信する場合に特に便利です。

G ドキュメントへの行:このフィールドを使用すると、完成したドキュメントとなるデータ ソースの行を絞り込むことができます。構文は、個々のデータ ソース行をカンマで区切って記述したものです (例:

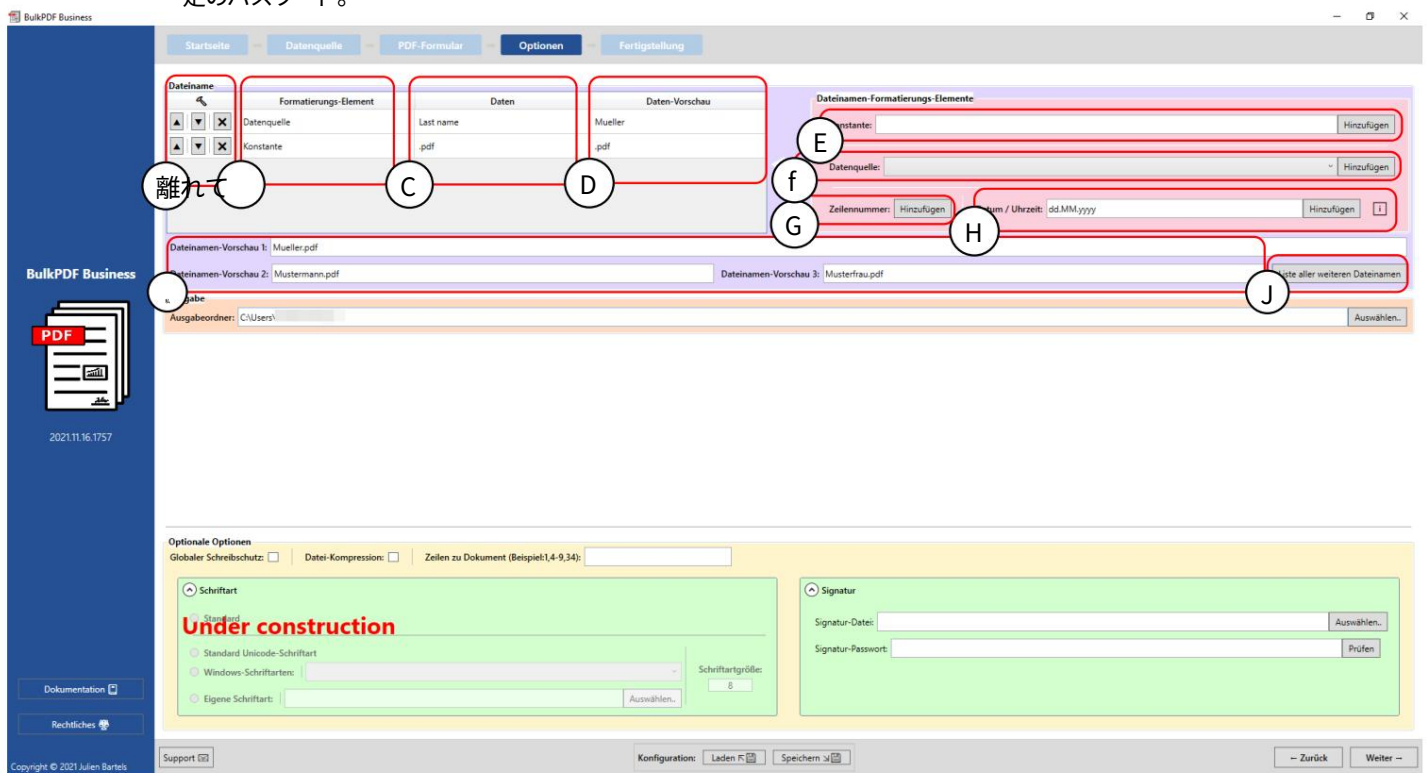
3,5,6,8)またはマイナス記号を使用して範囲を選択します (例 :32-48)。

両方の方法を組み合わせることができます (例 4-9,34,42-45,56)。

H フォント:この折り込み要素グループでは、すべてのフィールドが設定されます。

I 署名:この折り込み要素グループでは、文書に使用できます。デジタル署名を指定できます。

パスワード保護:この折り込み要素グループでは、各 PDF に対してパスワードは、データ ソースまたはすべてのドキュメントに特化して選択できます。一定のパスワード。



A 書式設定要素のオプションを次の順序で示します。位置を上または下にします。決定するボタンもあります要素から遠く離れています。

B 要素の書式設定:この列では、要素タイプに次のような名前が付けられます。例:「データソース」または「定数」。

C データ:ここでは、選択した書式設定要素のデータの表現を確認できます。

D データ プレビュー:この列には、要素タイプに応じた 1 つのデータ プレビューが表示されます。たとえば、データ ソースの場合、このデータ ソース列の 1 行目のデータがそこに表示されます。定数の場合は、単に定数テキスト自体です。

E 定数:定数は、すべての PDF フォームで同じ定数テキストです。

F データ ソース:データ ソースは PDF フォームごとに異なり、データ ソースの各行のデータによって異なります。

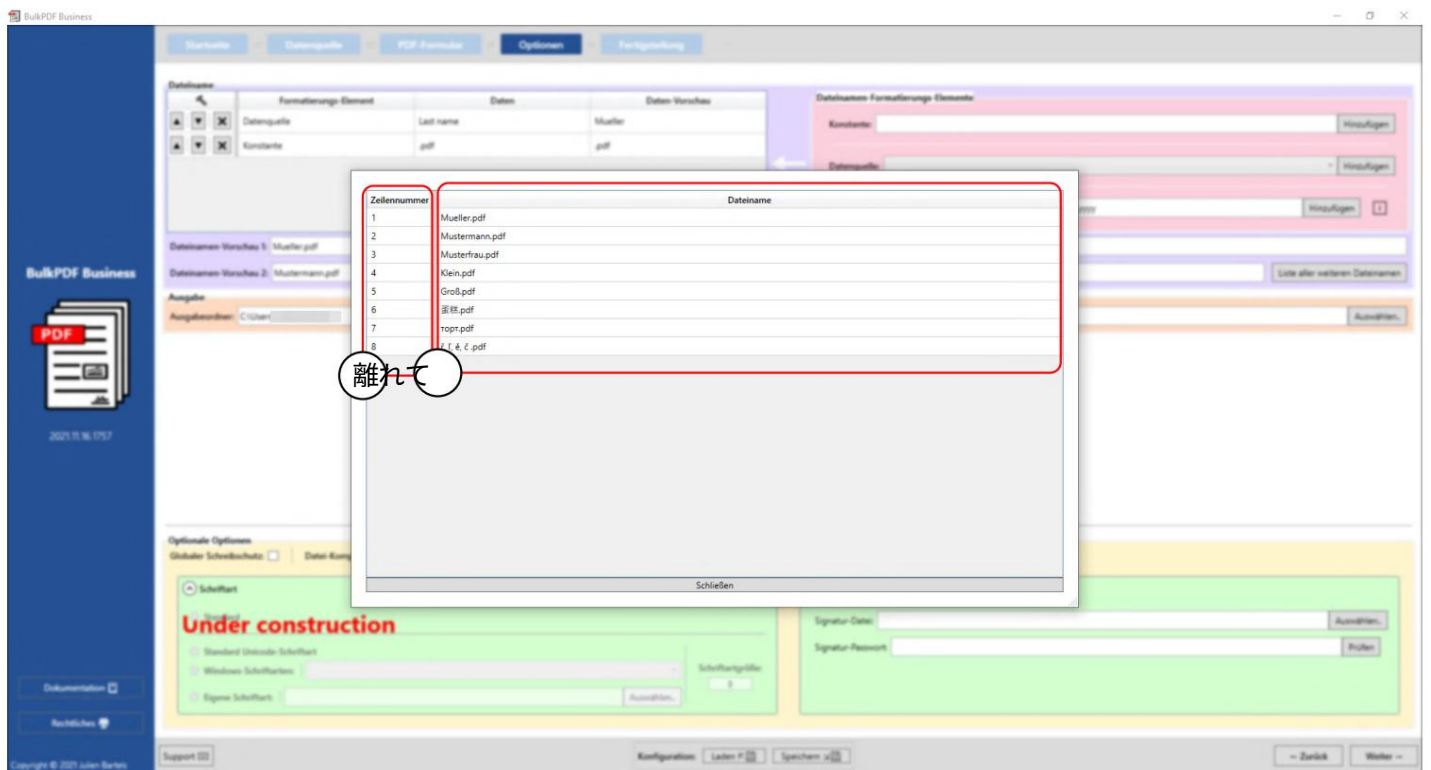
G 行番号:この番号はデータ ソースの行番号です。

H 日付/時刻:この書式設定要素を使用すると、日付および/または時刻を希望の書式でファイル名に追加できます。

正確な可能な値については、セクション 6.4 に表があります。

I ファイル名のプレビュー:このプレビューでは、最初の 3 行が使用されます
データ ソースはファイル名を生成します。

J 他のすべてのファイル名のリスト:このボタンの下ですべてのファイル名を選択できます。
生成される男性はプレビューされます。



このウィンドウには、データソースに基づいて生成されるすべてのファイル名が表示されます。最初の列(A)にはデータソースの行番号が表示され、2番目の列(B)には生成されたファイル名が表示されます。

3.5 完了

アプリケーションのこの最後のページでは、行われた設定と、以下で生成されるすべてのファイルのリストを明確に確認できます。個別のファイルをプレビューとして生成することもできます。

BulkPDF Business

Startseite | Datenquelle | PDF-Formular | Optionen | **Fertigstellung**

Vorschau

Ausgabeordner: C:\Users\... | Anzahl gefundener Zeilen: 8 | Schreibschutz: | Datei-Kompression: | Anzahl an PDF-Formular-Feldern: 6 | Anzahl an Spezial-Feldern: 0

Zeilenummer	Datei	PDF-Vorschau
1	C:\Users\... \Mueller.pdf	
2	C:\Users\... \Mustermann.pdf	
3	C:\Users\... \Musterfrau.pdf	
4	C:\Users\... \Klein.pdf	
5	C:\Users\... \Groß.pdf	
6	C:\Users\... \運轉.pdf	
7	C:\Users\... \topr.pdf	
8	C:\Users\... \f, f, & c.pdf	

Fertigstellung

Zeilenummer	Datei	Fehlerinformationen	Anzeigen
-------------	-------	---------------------	----------

あ

B

C

Support | Konfig | - Zurück | **Fertigstellen** -

2021.11.16.17:57

Dokumentation | Rechtliches

Copyright © 2021 Julien Bartsis

プレビュー:このプレビューには、行われた設定と、これから生成されるすべてのドキュメントのリストが表示されます。

B 完了:作成された PDF ドキュメントは、次の表にリストされます。

C 完了:このボタンは、選択した設定に従って完成した PDF フォーム ファイルを生成します。PDF ファイルの処理が完了すると、出力フォルダーが自動的に開きます。

The screenshot displays the BulkPDF Business software interface. The top navigation bar includes 'Startseite', 'Datenquelle', 'PDF-Formular', 'Optionen', and 'Fertigstellung'. The main area is divided into two sections: 'Vorschau' (Preview) and 'Fertigstellung' (Completion).

The 'Vorschau' section shows a list of 8 files with their paths and names. The 'Fertigstellung' section shows a table with 8 rows, each representing a file. The table has four columns: 'Zeilennummer' (Line number), 'Datei' (File), 'Fehlerinformationen' (Error information), and 'Anzeigen' (Show). The 'Anzeigen' column contains eye icons. A red circle highlights the 'Anzeigen' column header and the first row's eye icon.

Zeilennummer	Datei	Fehlerinformationen	Anzeigen
1	C:\Users\... \Mueller.pdf		👁
2	C:\Users\... \Mustermann.pdf		👁
3	C:\Users\... \Musterfrau.pdf		👁
4	C:\Users\... \Klein.pdf		👁
5	C:\Users\... \Groß.pdf		👁
6	C:\Users\... \漢字.pdf		👁
7	C:\Users\... \topr.pdf		👁
8	C:\Users\... \f, l, é, é.pdf		👁

生成されたファイルは、行番号とファイルパスとともに完了テーブル(A)に表示されます。緑の色とそれが欠けていること

エラー情報は、すべてのドキュメントが正常に作成されたことを示し、目のボタンを使用してドキュメントを表示できます。提供された

エラー情報が表示されます。目のボタンをクリックすると、

事前に入力されたサポート ウィンドウの誤った行を、より正確なサポート ウィンドウで修正します。

エラー メッセージと、サポートに直接連絡する可能性。

Vorschau

Ausgabeordner: C:\Users\...
 Anzahl gefundener Zeilen: 8 Schreibschutz: Datei-Kompression:
 Anzahl an PDF-Formular-Felder: 6 Anzahl an Spezial-Feldern: 0

Zeilenummer	Datei	PDF-Vorschau
1	C:\User\... \Mueller.pdf	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2	C:\User\... \Mustermann.pdf	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	C:\User\... \Musterfrau.pdf	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	C:\User\... \Klein.pdf	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	C:\User\... \Groß.pdf	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6	C:\User\... \運送.pdf	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7	C:\User\... \topr.pdf	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8	C:\User\... \f, f, & c.pdf	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

Fertigstellung

Zeilenummer	Datei	Fehlerinformationen	Anzeigen
1	C:\Users\... \Mueller.pdf		<input type="checkbox"/>
	C:\Users\... \Groß.pdf		<input type="checkbox"/>

Support Konfiguration:

このスクリーンショットは、AとBのボタンを使用して、行番号「1」と「5」がプレビューファイルとしてすでに生成されていることを示しています。これら2つの行は正常に作成され、Cの補完テーブルに入力されました。

The screenshot shows the BulkPDF Business software interface. A progress window is overlaid on the main interface. The window has a green header bar and a white body. In the center, it displays '8 / 8' and 'あ, c .pdf'. A red circle labeled 'A' is around the '8 / 8' and a white circle labeled 'B' is around the file name. Below this, there is a grey bar with the text 'Abbrechen'. The background interface shows a preview table with columns for 'Zellennummer', 'Datei', and 'PDF-Vorschau'. The table has 5 rows with file names like 'Muster.pdf', 'Mustermax', 'Musterhaus', 'Klein.pdf', and 'Groß.pdf'. There are also buttons for 'Startseite', 'Datenquelle', 'PDF-Formular', 'Optionen', and 'Fertigstellung' at the top.

このスクリーンショットでは、[完了] ボタンをクリックした後に表示される進行状況ウィンドウを確認できます。Aには現在作成中のファイルの番号が前後に表示され、その後ろに全ファイルの番号が表示されます。Bは現在書き込み中のファイルのファイル名を示します。

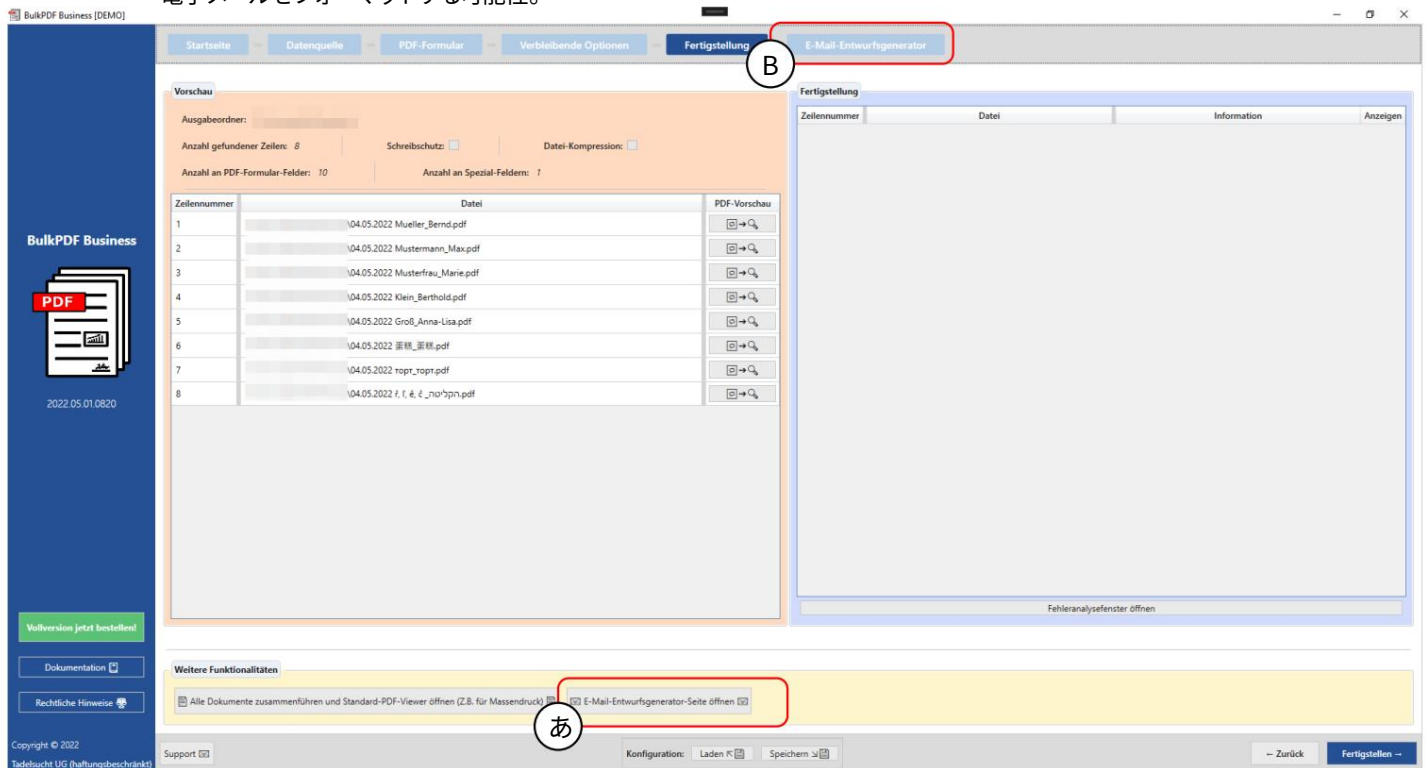
3.6 電子メールの下書きジェネレーター

PDF ファイルが完成した後も、次のステップである電子メール ドラフト ジェネレーターを追加するオプションがあります。これにより、以前に生成した PDF ファイルを使用して電子メールを作成し、すぐに添付することができます。

これらの電子メールはすぐには送信されず、電子メール ファイル形式「.EML」または「.MSG」のファイルとして保存されます。これらのファイルは、Microsoft Outlook や Thunderbird などの電子メール プログラムを介して電子メールの下書きとして開くことができます。

必要に応じて、すぐに送信します。電子メール ドラフト ジェネレーター ユーザー インターフェイス、オプション、および明示的に

電子メールをフォーマットする可能性。



A PDF の完成ステップで、「メールドラフトジェネレーター」ボタン

「開く」には、追加のステップ「電子メール下書きジェネレーター」を追加します。

B作成後、ステップには、[電子メールの下書きジェネレーターを開く] ボタンを使用するか、ステップの概要でステップをクリックすることで、いつでも再度アクセスできます。到達する。

The screenshot shows the 'E-Mail-Entwurfsgenerator' interface. The left sidebar contains 'BulkPDF Business' branding and a 'PDF' icon. The main area is divided into three sections: 'E-Mail Datenzuweisung' (left), 'Vorschau' (top right), and 'Fertigstellung' (bottom right). The 'E-Mail Datenzuweisung' section has fields for 'Anleitung', 'E-Mail-Absender', 'E-Mail-Empfänger', 'E-Mail-Empfänger CC', 'E-Mail-Empfänger BCC', 'Betreff der E-Mail', and 'Wichtigkeit der E-Mail'. The 'Vorschau' section shows a preview of the email with fields for 'E-Mail-Absender', 'E-Mail-Empfänger', 'E-Mail-Empfänger CC', 'E-Mail-Empfänger BCC', 'Betreff der E-Mail', 'Wichtigkeit der E-Mail', 'PDF-Datei', 'E-Mail-Anhänge', 'E-Mail-HTML-Inhalt', and 'E-Mail-Textinhalt'. The 'Fertigstellung' section contains a table with columns 'Zeilennummer', 'Datei', 'Information', and 'Anzeigen'. The table lists 8 rows of email files. The 'E-Mail-Dateitype' is set to 'EML'. There are buttons for 'E-Mails generieren' and 'Zurück'. There are also buttons for 'Dokumentation' and 'Rechtliche Hinweise' on the left sidebar. The interface is in German.

A電子メールの下書きのデータ割り当てはここで行われます。これのどこにグラフィックのみ 送信者、受信者、受信者 CC、受信者 BCC、件名およびダイ 重要性が提示されている。

受信者、受信者 CC、および受信者 BCC には、これらのフィールドを記入するための注記があります。電子メールアドレスのみが認識されます

これが「support@bulkpdf.de<サポートチーム>」のように書かれている場合、初め電子メール アドレスの表記に続いて「<」、次に表示名、最後に「>」が続きます。複数のメールアドレスに書いた場合

アドレスは「|」で終わる必要があります。互いに引き離される。

したがって、たとえば次のようになります。

「support@bulkpdf.de<サポート チーム>|julien.bartels@bulkpdf.de<ジュリアン バートルス>」

この件名には、テキスト内でデータ ソース列名の表記を使用して、データ ソースの同じ行の列を参照できるという特別な機能があります。

参照できます。「{ }」で囲まれた部分はプログラムで置き換えられます。

次に、テキストが含まれる例でわかるように、データ全体の列名を表示します。

「{place} の現在の前向きな発展」から「現在の前向きな発展」
in ベルリン」の試写会。(括弧で囲まれたテキストの日付への解決

「{ }」を「\」でエスケープすることで回避できます (例: \{Test\})。これは特に次の場合に必要です。

各行の列名を使用してデータを挿入します (A と B の電子メール本文の内容の違いを参照してください)。

Bここでは、データのプレビュー、Aに表示される要素が表示されます。

設定されていました。PDF プレビューと同様に、データ ソースの最初の行がデータに使用されます。選択した電子メール テキスト コンテンツで、括弧で囲まれたデータ ソースの列名が、行内のそれぞれのデータに置き換えられました。

The screenshot shows the 'E-Mail-Entwurfsgenerator' interface. The 'Liststellung' section contains the following table:

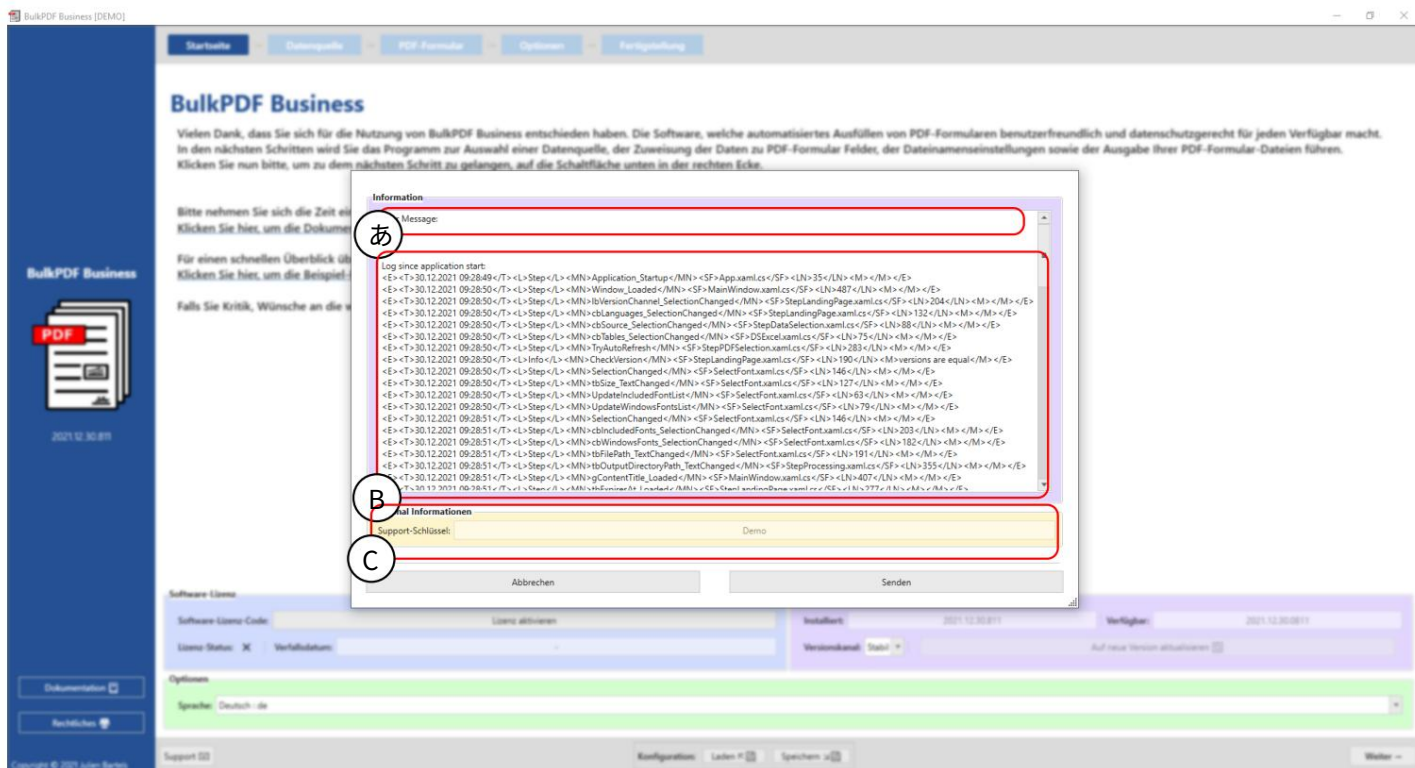
Zeilennummer	Datei	Information	Anzeigen
1	\04.05.2022 Mueller_Bernd.EML		[Anzeigen]
2	\04.05.2022 Mustermann_Max.EML		[Anzeigen]
3	\04.05.2022 Musterfrau_Marie.EML		[Anzeigen]
4	\04.05.2022 Klein_Berthold.EML		[Anzeigen]
5	\04.05.2022 Groß_Anna-Lisa.EML		[Anzeigen]
6	\04.05.2022 栗原_眞世.EML		[Anzeigen]
7	\04.05.2022 ropp_rapp.EML		[Anzeigen]
8	\04.05.2022 f, f, & <_סוּרִיקי.EML		[Anzeigen]

HTML コンテンツ (A を参照) の場合、テキスト コンテンツが指定されていない場合、これは HTML タグなしでテキスト コンテンツ (B を参照) にも自動的に書き込まれます。

3.7 その他

特定のプログラムステップに割り当てることができないアプリケーション内の他のウィンドウが続きます。

3.7.1 サポート窓口

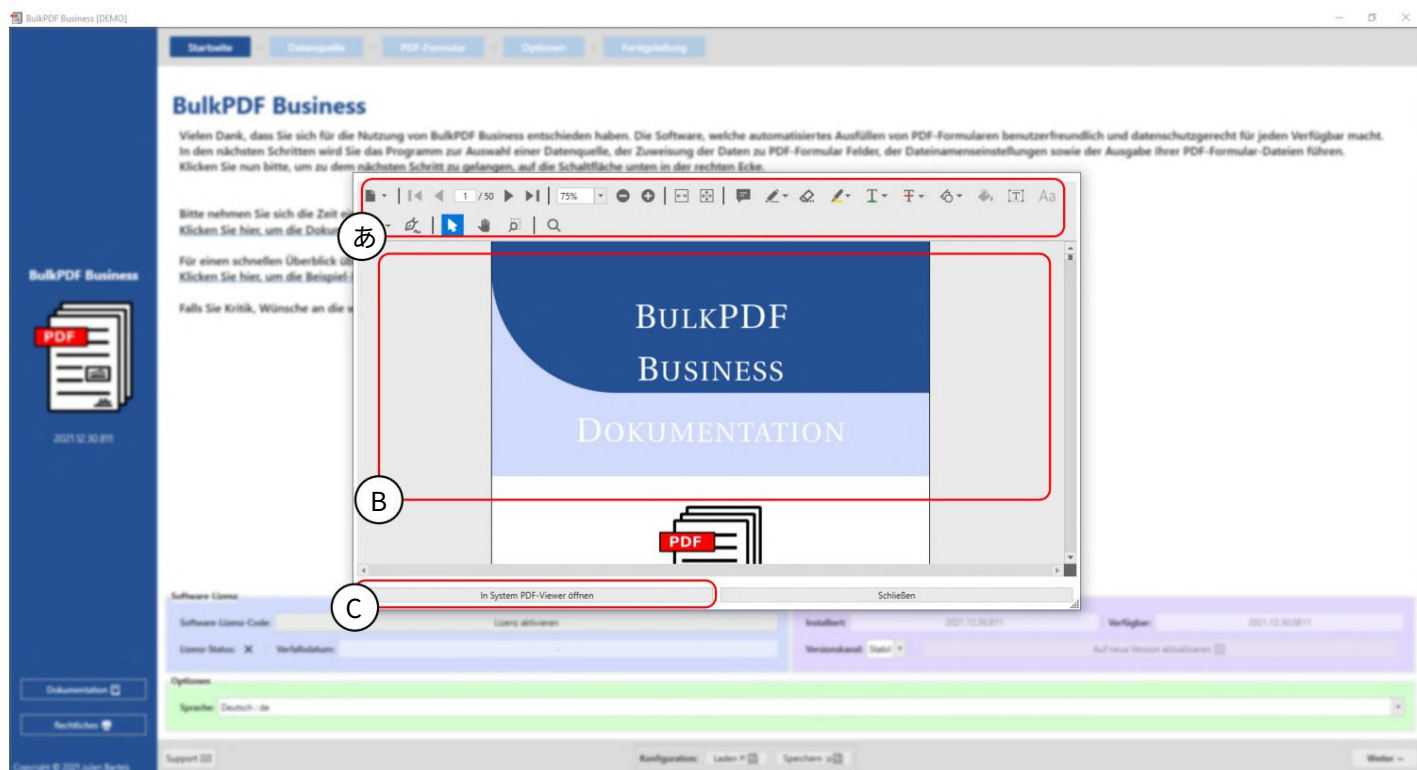


A 応援メッセージを記入できます。

B この領域には技術的なエラーメッセージが含まれます。

C ソフトウェアライセンスに基づいて生成されたサポートコードが表示されます。

3.7.2 ドキュメントウィンドウ



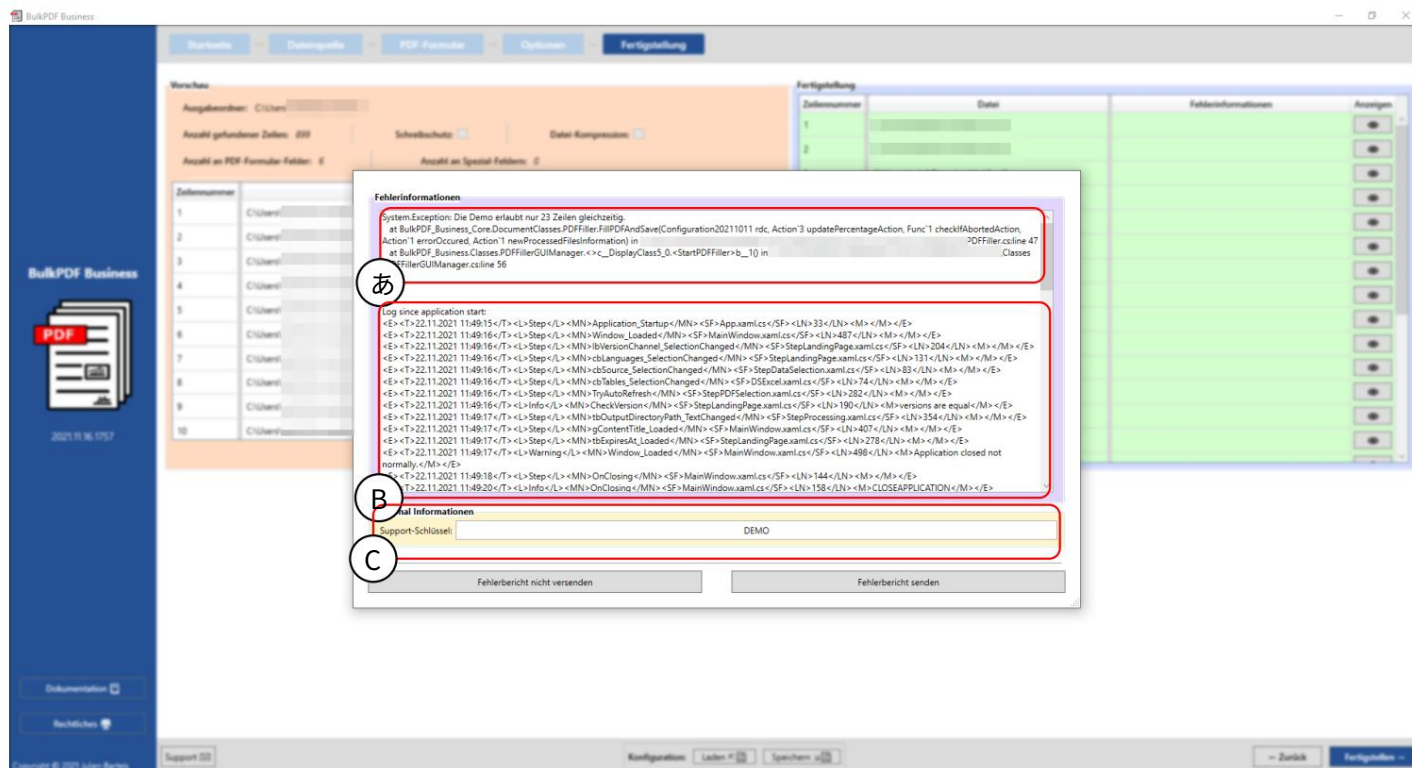
Aこの時点では、ズームやページ変更などの機能が利用可能です。

ション。

Bドキュメント自体がここに表示されます。

Cこのボタンを使用すると、ドキュメントをネイティブ PDF ビューアで開くことができます。

3.7.3 エラー画面 (例外)



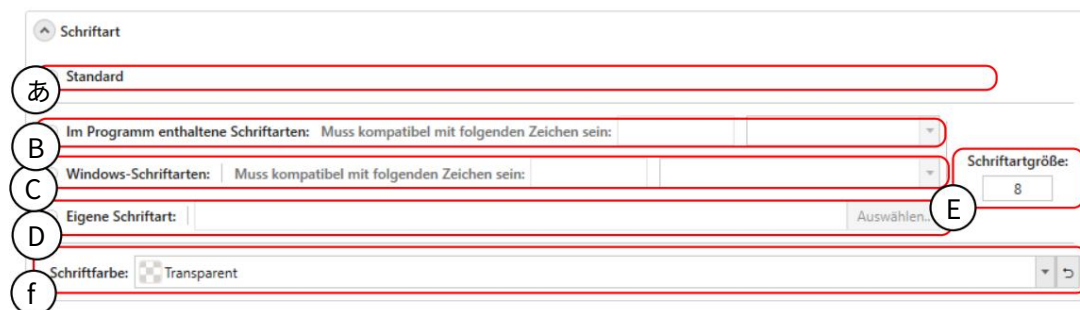
Aここにエラーメッセージが表示されます。

Bプログラム開始以降の完全なログがこの時点で埋め込まれます。

Cこのテキスト ボックスには、ソフトウェア ライセンスを使用して生成されたサポート コードが含まれています。

3.7.4 フォントの選択とフォントの色の選択

フォントを選択するときに、フォントを太字と斜体に設定することもできます。たとえば、Arial の Windows フォントには、通常の「arial.ttf」だけでなく、太字用の「arialb.ttf」や斜体用の「ariali.ttf」もあります。



Aこれはデフォルトのフォントです。

B BulkPDF-Business に含まれるフォント。世界中のほぼすべての文字システムに適したフォントが含まれています。選択は制限される可能性があります

互換性検索を通じて。これは、たとえばフォントがサポートする必要がある漢字を入力することで機能します。

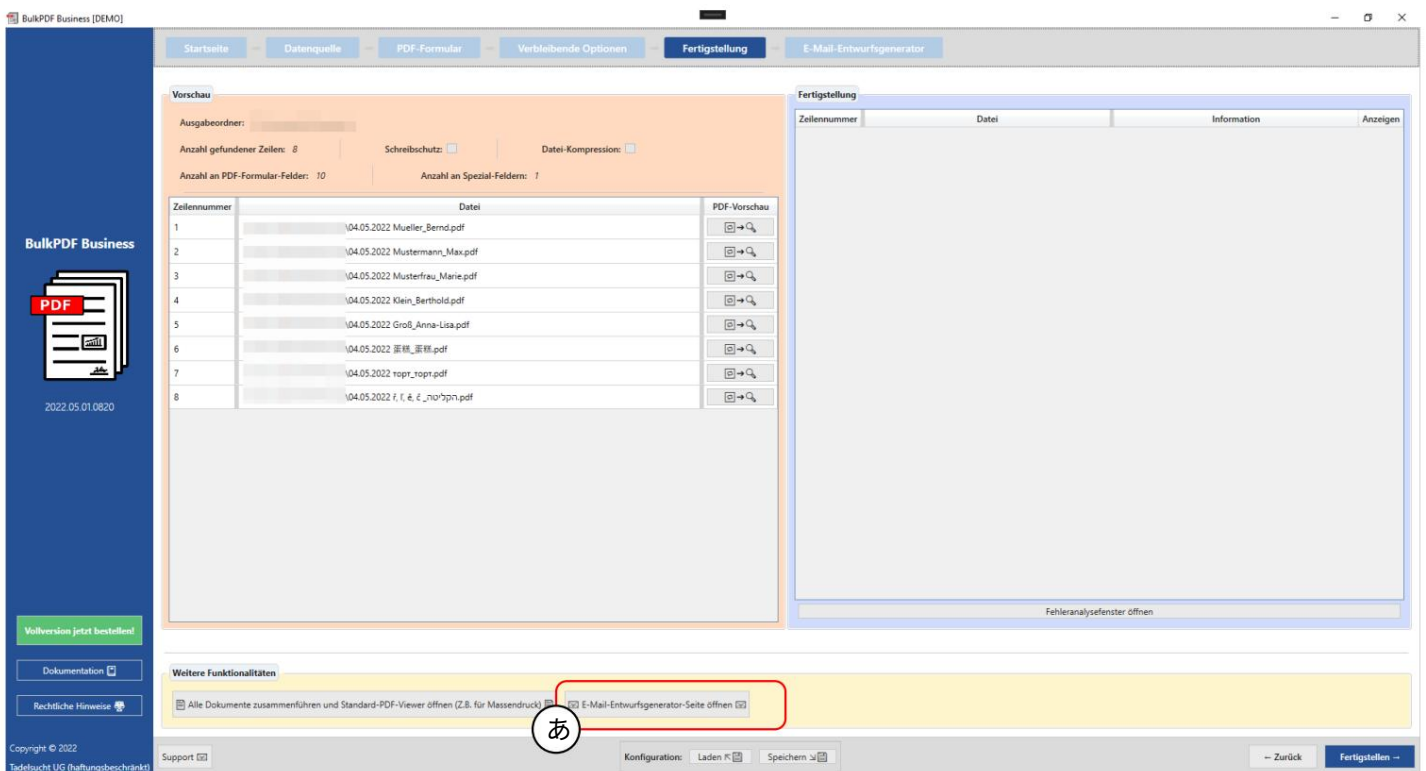
C Windows に含まれているフォント。付属のフォントと同様に、互換性検索も可能です。

Dここで独自のフォント ファイルを選択できます。

Eステップサイズはここで設定できます

Fこの要素では、フォントの色を設定できるほか、必要に応じてデフォルトの黒にリセットします。

3.7.5 追加機能



すべてのドキュメントを結合し、デフォルトの PDF ビューアを開くこの機能

たとえば、大量印刷を目的としています。すべてPDFファイルの場合

すぐに物理的に印刷する必要がある場合は、この機能を使用して 1 つに結合できます。

単一ファイルを使用し、たとえば Adobe Acrobat を使用する

単一の印刷ジョブで印刷されます。

電子メール ドラフト ジェネレーター電子メール ドラフト ジェネレーターの詳細については、第3.6 章を参照してください。

4

コマンドライン (BulkPDF ビジネスコンソール)

グラフィックアプリケーションに加えて、コンソールアプリケーション「BulkPDF」もあります。
Business-Console.exe」をインストールフォルダに保存します。コマンドライン機能の場合

GUI を介して構成を簡単に作成できます。

保存を終了します。BulkPDF ファイルはテキスト ファイルであるため、構成は後で GUI またはテキスト エディタを使用して簡単に変更できます。

4.1 パラメーター一覧

以下は、使用可能なすべてのパラメータのリストです (順不同)。
個別にまたは組み合わせて使用できます。

パラメータ	説明グラフィカル
「C:\PATH\Config.BulkPDF」	アプリケーションの構成ファイルは常に必要です。
待って	出力を表示するためにコンソールを開いたままにします。
エラーを無視する	プログラムがエラーを無視し、条件が許す限りの値を入力します。へのパスを上書きします
スプレッドシートファイルパス「C:\PATH\new.xlsx」を上書きします	スプレッドシート ファイル。
PDFソースファイルパスを上書き「C:\PATH\new.pdf」	PDF ソース ファイルへのパスをオーバーライドします。
上書き出力フォルダーパス「C:\パス」	出力ディレクトリのパスをオーバーライドします。 (注意:末尾に \ があってはなりません。そうでない場合は、「」は認識されず、「ファイル名の構文、ディレクトリ名またはボリューム ラベルが間違っています」) データを
overwriteSelectedTableName 「新しいテーブル名」	取得するテーブル名を上書きします。
useAutoMappingForFieldData 2	これまでのところ何もしていないすべてのフォームフィールドを試しました データ ソースの列を割り当てられたデータに自動的に割り当てます。 許可された番号を取得します レーベンシュタイン間の距離 フォームのフィールド名と列名。
電子メールの生成	PDF作成後、設定ファイルの情報に従って電子メールの生成を実行します。

4.2 コンソールアプリケーションの出力

```

C:\Users\... BulkPDF-Business-Console.exe
-----
BulkPDF Business
-----
2021.11.22.1638
-----
Check command line arguments -----
Usage: BulkPDFBusinessConsole.exe "C:\Users\username\Desktop\Configuration.BulkPDF"
Or waiting: BulkPDFBusinessConsole.exe "C:\Users\username\Desktop\Configuration.BulkPDF" wait
Press Any Key to Continue..

```

このスクリーンショットでは、プログラム引数がない場合の出力を確認できます。

「BulkPDF-Business-Console.exe」を呼び出します。Aで見るプログラムのバージョンが表示されます。その下には、構成を実行するためのプログラムの引数またはパラメーターがどのようなものかを示すヘルプが表示されます。の隣に「wait」は、BulkPDF 設定ファイルへのパスを指定することもできます。出力を確認するためにコンソールを開いたままにします。同じように以前に表にリストされた他のパラメーターもあります。続くコンソール アプリケーションを呼び出す方法の例をいくつか示します。

```

1 BulkPDF-Business-Console.exe "C:\PATH\Config.BulkPDF"
2 ...
3 BulkPDF-Business-Console.exe "C:\A\Config.BulkPDF"待機します
4 ...
5 BulkPDF-Business-Console.exe "C:\B\Config.BulkPDF"無視エラー
6 ...
7 BulkPDF-Business-Console.exe "C:\Config.BulkPDF"待機無視エラー
8 ...

```

```

-----
BulkPDF Business
-----
2021.11.22.1638
-----
Check command line arguments
Load BulkPDF Business license
SupportCode: DEMO
Load configuration file
Start filling process
-----
{"File": "C:\\Users\\...\\1.pdf", "Message": null, "RowID": 1, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\2.pdf", "Message": null, "RowID": 2, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\3.pdf", "Message": null, "RowID": 3, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\4.pdf", "Message": null, "RowID": 4, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\5.pdf", "Message": null, "RowID": 5, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\6.pdf", "Message": null, "RowID": 6, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\7.pdf", "Message": null, "RowID": 7, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\8.pdf", "Message": null, "RowID": 8, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\9.pdf", "Message": null, "RowID": 9, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\10.pdf", "Message": null, "RowID": 10, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\11.pdf", "Message": null, "RowID": 11, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\12.pdf", "Message": null, "RowID": 12, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\13.pdf", "Message": null, "RowID": 13, "Succeed": true}

```

サポート コード:有効なライセンスが読み込まれている場合はその行にサポート コードが表示され、有効なライセンスがない場合は「デモ」というテキストが表示されます。サポートメールの件名にコードを追加してください。

B ファイル:記入済みの新しく作成された PDF フォームへのパス。

C メッセージ:エラーが発生した場合のエラー テキストが含まれます。通常は値「null」です。

D RowID:それぞれの完成した PDF フォームに使用されるデータ ソースの行番号を返します。

E 成功:充填が成功したかどうかを示します。 ("真/偽")

```

C:\Users\... BulkPDF-Business-Console.exe
{"File": "C:\\Users\\...\\873.pdf", "Message": null, "RowID": 873, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\874.pdf", "Message": null, "RowID": 874, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\875.pdf", "Message": null, "RowID": 875, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\876.pdf", "Message": null, "RowID": 876, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\877.pdf", "Message": null, "RowID": 877, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\878.pdf", "Message": null, "RowID": 878, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\879.pdf", "Message": null, "RowID": 879, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\880.pdf", "Message": null, "RowID": 880, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\881.pdf", "Message": null, "RowID": 881, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\882.pdf", "Message": null, "RowID": 882, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\883.pdf", "Message": null, "RowID": 883, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\884.pdf", "Message": null, "RowID": 884, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\885.pdf", "Message": null, "RowID": 885, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\886.pdf", "Message": null, "RowID": 886, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\887.pdf", "Message": null, "RowID": 887, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\888.pdf", "Message": null, "RowID": 888, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\889.pdf", "Message": null, "RowID": 889, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\890.pdf", "Message": null, "RowID": 890, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\891.pdf", "Message": null, "RowID": 891, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\892.pdf", "Message": null, "RowID": 892, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\893.pdf", "Message": null, "RowID": 893, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\894.pdf", "Message": null, "RowID": 894, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\895.pdf", "Message": null, "RowID": 895, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\896.pdf", "Message": null, "RowID": 896, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\897.pdf", "Message": null, "RowID": 897, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\898.pdf", "Message": null, "RowID": 898, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\899.pdf", "Message": null, "RowID": 899, "Succeed": true}
----- Finished -----
Press Any Key to Continue..

```

Aでは、すべての PDF が正常に入力されたときに表示されるメッセージを確認できます。

```

Microsoft Visual Studio...
fileMode mode, FileAccess access, FileShare share, FileOptions options, Int64 preallocationSize)\r\n at System.IO.File.
Create(String path)\r\n at BulkPDF_Business_Core.DocumentClasses.PDFTargetAcroforms.Save() in C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF
\\BulkPDF-Business\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80\r\n at BulkPDF_Bu
siness_Core.DocumentClasses.PDFFiller.FillPDFAndSave(Configuration20211011 rdc, Action`3 updatePercentageAction, Func`1
checkIfAbortedAction, Action`1 errorOccurred, Action`1 newProcessedFilesInformation) in C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF
-Business\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFFiller.cs:line 109, "RowID": 877, "Succeed": false}
{"File": "C:\\Users\\...\\878.pdf", "Message": null, "RowID": 878, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\879.pdf", "Message": null, "RowID": 879, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\880.pdf", "Message": null, "RowID": 880, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\881.pdf", "Message": null, "RowID": 881, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\882.pdf", "Message": null, "RowID": 882, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\883.pdf", "Message": null, "RowID": 883, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\884.pdf", "Message": null, "RowID": 884, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\885.pdf", "Message": null, "RowID": 885, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\886.pdf", "Message": null, "RowID": 886, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\887.pdf", "Message": null, "RowID": 887, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\888.pdf", "Message": null, "RowID": 888, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\889.pdf", "Message": null, "RowID": 889, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\890.pdf", "Message": null, "RowID": 890, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\891.pdf", "Message": null, "RowID": 891, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\892.pdf", "Message": null, "RowID": 892, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\893.pdf", "Message": null, "RowID": 893, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\894.pdf", "Message": null, "RowID": 894, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\895.pdf", "Message": null, "RowID": 895, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\896.pdf", "Message": null, "RowID": 896, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\897.pdf", "Message": null, "RowID": 897, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\898.pdf", "Message": null, "RowID": 898, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\...\\899.pdf", "Message": null, "RowID": 899, "Succeed": true}
----- Finished with Errors -----
Press Any Key to Continue..

```

Aでは、すべての PDF が正常に作成できなかった場合に示されるメッセージ（「エラーが発生して終了しました」）が表示されます。次に、上記の行でエラーを探す必要があります。コンソールアプリケーションの終了コードは、エラーがない場合は0、少なくとも1つのエラーが発生し、少なくとも1つのPDFファイルを作成できなかった場合は1になることにも注意してください。

したがって、たとえば、バッチ ファイルの %errorlevel% をチェックして、エラーがあったかどうかを確認できます。

```

{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\871.pdf", "Message": null, "RowID": 871, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\872.pdf", "Message": null, "RowID": 872, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\873.pdf", "Message": null, "RowID": 873, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\874.pdf", "Message": null, "RowID": 874, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\875.pdf", "Message": null, "RowID": 875, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\876.pdf", "Message": null, "RowID": 876, "Succeed": true}
SupportCode:
Hier in zeile 877. Datei konnte nicht erstellt werden. [The process cannot access the file 'C:\\Users\\tadel\\Documents\\877.pdf' because it is being used by another process.]
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\877.pdf", "Message": "System.IO.IOException: The process cannot access the file 'C:\\Users\\tadel\\Documents\\877.pdf' because it is being used by another process.\\r\\n at Microsoft.Win32.SafeHandles.SafeFileHandle.CreateFile(String fullPath, FileMode mode, FileAccess access, FileShare share, FileOptions options)\\r\\n at Microsoft.Win32.SafeHandles.SafeFileHandle.Open(String fullPath, FileMode mode, FileAccess access, FileShare share, FileOptions options, Int64 preallocationSize)\\r\\n at System.IO.Strategies.OSFileStreamStrategy..ctor(String path, FileMode mode, FileAccess access, FileShare share, FileOptions options, Int64 preallocationSize)\\r\\n at System.IO.File.Create(String path)\\r\\n at BulkPDF_Business_Core.DocumentClasses.PDFTargetAcroforms.Save() in C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFTarget\\PDFTargetAcroforms.cs:line 80\\r\\n at BulkPDF_Business_Core.DocumentClasses.PDFFiller.FillPDFAndSave(Configuration20211011 rdc, Action`3 updatePercentageAction, Func`1 checkIfAbortedAction, Action`1 errorOccured, Action`1 newProcessedFilesInformation) in C:\\Users\\tadel\\Github\\BulkPDF-Business-Core\\DocumentClasses\\PDFFiller.cs:line 109", "RowID": 877, "Succeed": false}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\878.pdf", "Message": null, "RowID": 878, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\879.pdf", "Message": null, "RowID": 879, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\880.pdf", "Message": null, "RowID": 880, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\881.pdf", "Message": null, "RowID": 881, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\882.pdf", "Message": null, "RowID": 882, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\883.pdf", "Message": null, "RowID": 883, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\884.pdf", "Message": null, "RowID": 884, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\885.pdf", "Message": null, "RowID": 885, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\886.pdf", "Message": null, "RowID": 886, "Succeed": true}
{"File": "C:\\Users\\tadel\\Documents\\887.pdf", "Message": null, "RowID": 887, "Succeed": true}

```

サポート コード: サポート メールの件名にコードを追加してください。

Bここでは、「メッセージ」にエラー テキストが表示されます。必要に応じて、コピーとしてサポートに送信できます。

5

設定ファイル

このファイルは JSON 形式 [5] でエンコードされており、人間が十分に判読可能であり、必要に応じてテキスト エディタを使用して手動で編集できます。機能と可能性を分析するには、構成例 (「セクション2.1」)を使用できます。

5.1 相対パス

設定ファイルでは相対パス [6]を使用できます。 %USERPROFILE% などの環境変数は、BulkPDF Business によって解決されます。設定例 (セクション2.1 を参照)に従って、

データ ソース、PDF フォーム、出力ディレクトリが使用されます。

```
1  ...
2  "データソース":{
3    "$id": "40"、
4    "$type": "...、
5    "filePath": ".\\ProcessExample.xlsx"
6  }、
7  ...
```

```
1 ...
2   "PDFソース":{
3     "$id": "48",
4     "$type": ...、
5     "作者": "",
6     "作成日": "2021-12-01T14:14:19",
7     「クリエイター」: ...、
8     "IsXfa": false、
9     「キーワード」: 「」、
10    "更新日": "2021-12-03T19:14:42",
11    「プロデューサー」: ...、
12    "件名": "",
13    "タイトル": "",
14    "ソースファイルパス": ".\\ProcessExample.pdf"
15  },
16  ...
```

```
1 ...
2   "出力パス": "%USERPROFILE%\\Downloads",
3   ...
```

5.2 設定ファイルの抜粋例

以下は、「DataSource」と「PDFSource」を除く、いくつかの例の抜粋です。
これらはすでに対処されているため。

5.2.1 通常フィールド

```
1  ...
2  "ノーマルフィールド": [
3    {
4      "$id": "2",
5      "$type": "...",
6      "フィールドタイプ": "テキストボックス",
7      "現在の値": "",
8      "フィールド設定可能なオプション": {
9        "$id": "3",
10       "$type": "...",
11       "値ソース": {
12         "$id": "4",
13         "$type": "...",
14         "定数": "",
15         "データソース": "名"
16       },
17       「書き込み保護」: false
18     },
19     "HasBeenEdited": true,
20     "名前": "名",
21     「プレビュー」: 「名」
22   },
23  ...
```

5.2.2 特殊フィールド

```
1  ...
2  "特殊フィールド": [
3    {
4      "$id": "32",
5      "$type": "...、
6      「バーコード」 : {
7        "$id": "33",
8        "$type": "...QRバーコード...、
9        「バージョン」 : 1、
10       「エラー修正レベル」 : 7、
11       「入力モード」 : 2、
12       「サイズ」 : 「100,100」、
13     }
14   ]
15 }
```

5.2.3 グローバルオプション

```
1  ...
2  "印刷すべき行インデックス": [],
3  ...
4  「圧縮」 : false、
5  ...
6  「GlobalWriteProtection」 : false、
7  ...
8  "出力パス": "%USERPROFILE%\Downloads",
9  ...
10 "SelectedTableName": "Table1 (顧客データ)"
11 ...
```

5.2.4 ファイル名ジェネレータ

```
1  ...
2  "ファイル名ジェネレーター": {
3    "$id": "41",
4    "$type": "...、
5    "ファイル名パーツ": [
6      {
7        "$id": "42",
8        "$type": "...、
9        "プレビュー": "2021年12月17日",
10       "タイプ": "日付/時刻",
11       "データ": "dd.MM.yyyy",
12       「識別子」: 8
13     },
14  ...
```


5.2.5 電子メール

```

1  ...
2  「文字」:{
3    "$id": "52",
4    "$type": ...,
5    「ファイルタイプ」: 0、
6    「送信者」:{
7      "type": ...,
8      "定数": "julien.bartels@bulkpdf.de<ジュリアン・バーテルス>"
9    }、
10   「件名」:{
11     "type": ...,
12     "Constant": "{location} では現在、前向きな発展が見られます"
13   }、
14   「ドラフト」: true、
15   "受信者":{
16     "type": ...,
17     「定数」: 「support@bulkpdf.de<サポートチーム>」
18   }、
19   "受信者CC":{
20     "$タイプ": ...
21   }、
22   "受信者BCC":{
23     "$タイプ": ...
24   }、
25   「本文」:{
26     "type": ...,
27     "定数": "{姓 (テキスト ボックス)} 様、\r\n\r\n
28     {place} の現在の発展は極端だと思います
29     ポジティブ。関連するドキュメントを添付します。 \r\n\r\n
30     敬具"
31   }、
32   "本文HTML":{
33     "$タイプ": ...
34   }、
35   "LetterImportanceValueSource":{
36     "type": ...,
37     「定数」: 「2」
38   }、
39   "AddAttachmentsGeneratedPDFFilePath": true、
40   "添付ファイル追加ファイルパス":{
41     "type": ...,
42     "定数": ".\\ProcessExample.pdf"
43   }
44 }
45 ...

```

6

ヒントとコツ

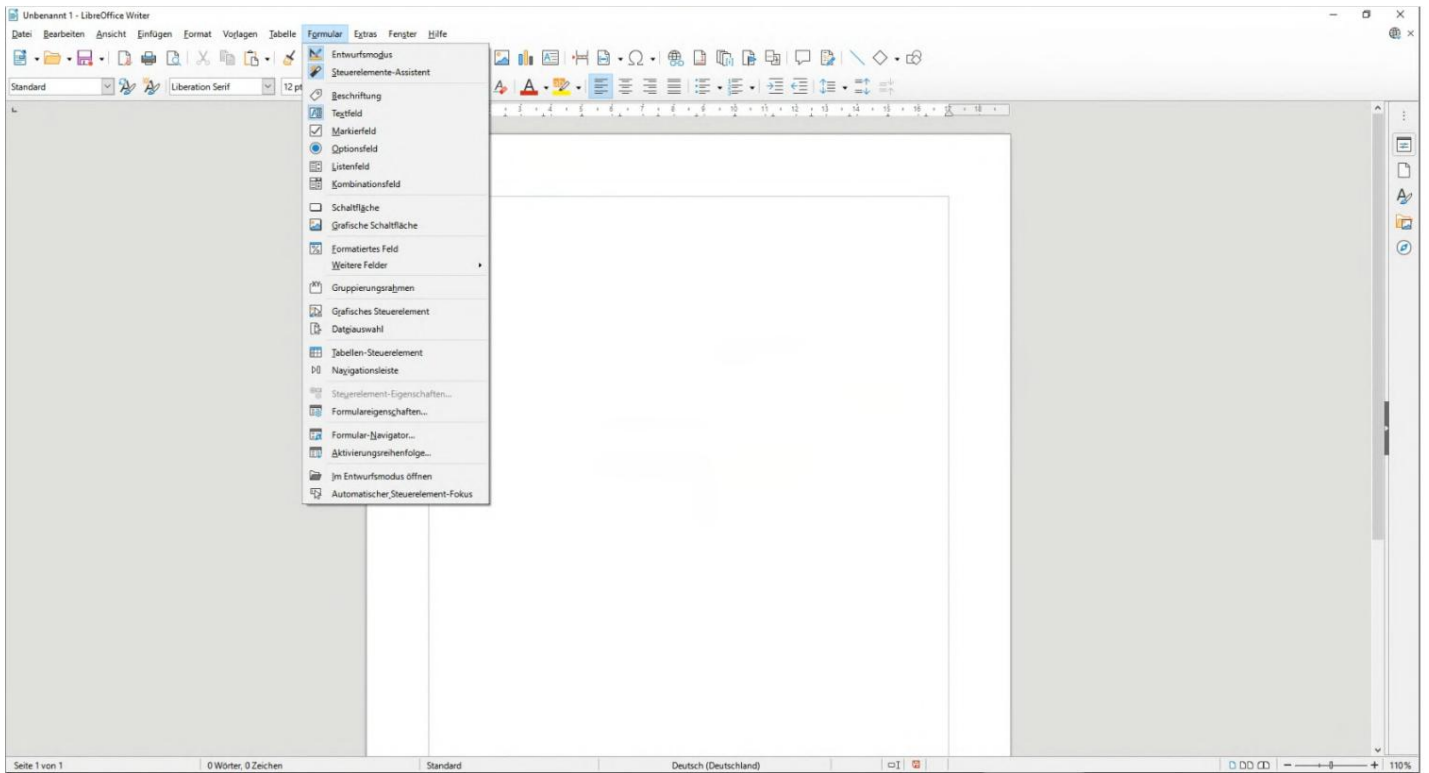
PDF の作成に役立ついくつかのヒントとコツ
書類が役に立ちます。

6.1 PDFescape を使用して PDF フォームを作成または修復する

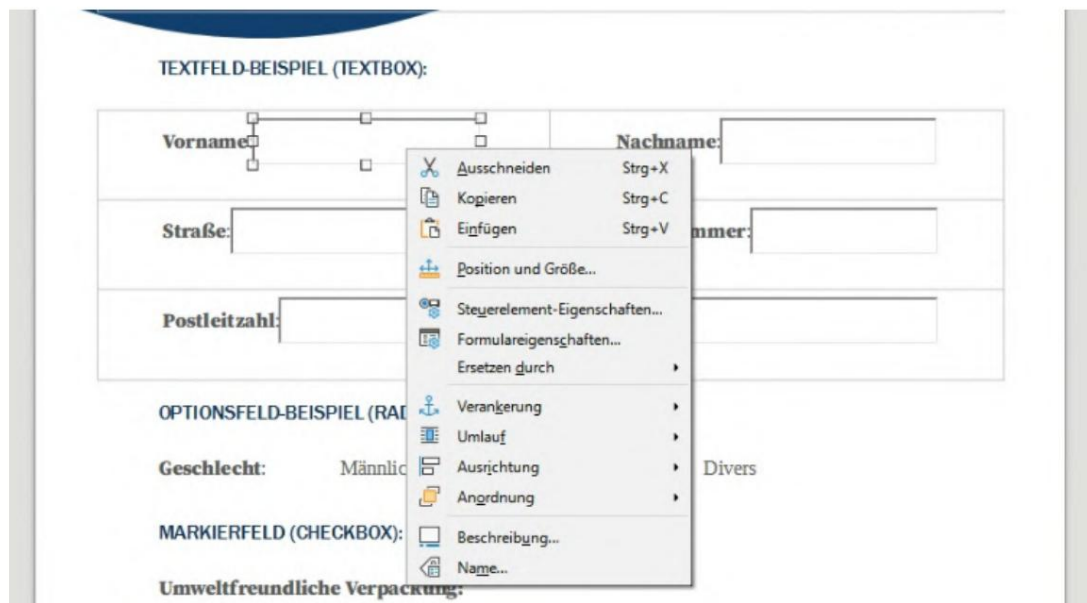
公開 PDF フォームの作成と修復については、<https://www.pdfescape.com/> をお勧めします。一部の PDF フォームでは、PDF を一度アップロードし、すぐに再度ダウンロードすると、PDF が最も一般的な PDF リーダーと再び互換性を持つようになります。[4]

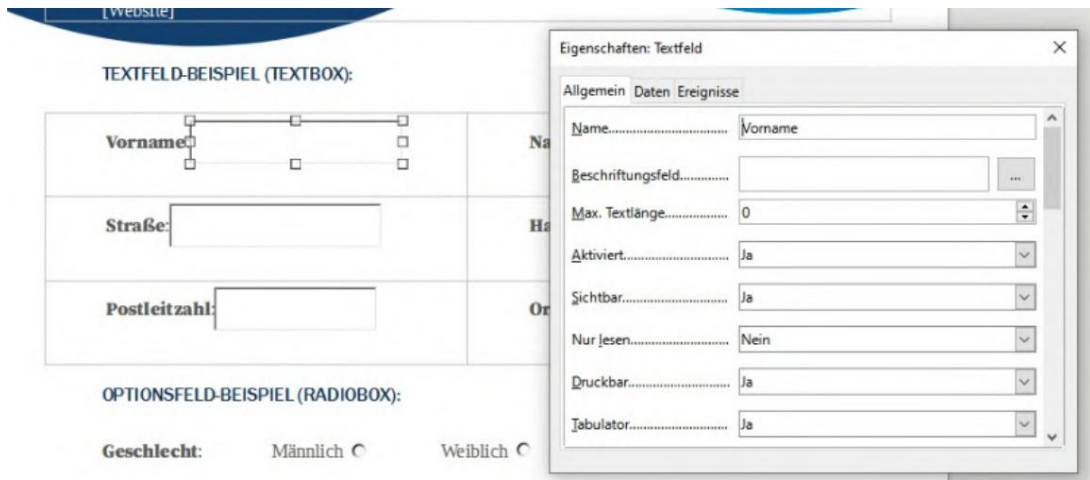
6.2 LibreOffice / OpenOffice Writer を使用して PDF フォームを作成する

LibreOffice はオフィス ソフトウェアのコレクションです。このソフトウェアは完全に無料で、Microsoft Office と互換性があり、<http://www.libreoffice.org/> から入手できます。ダウンロード可能です。このソフトウェアは PDF フォームを作成する機能を提供します。[3]これが実際にどのように機能するかを例として以下に示します。

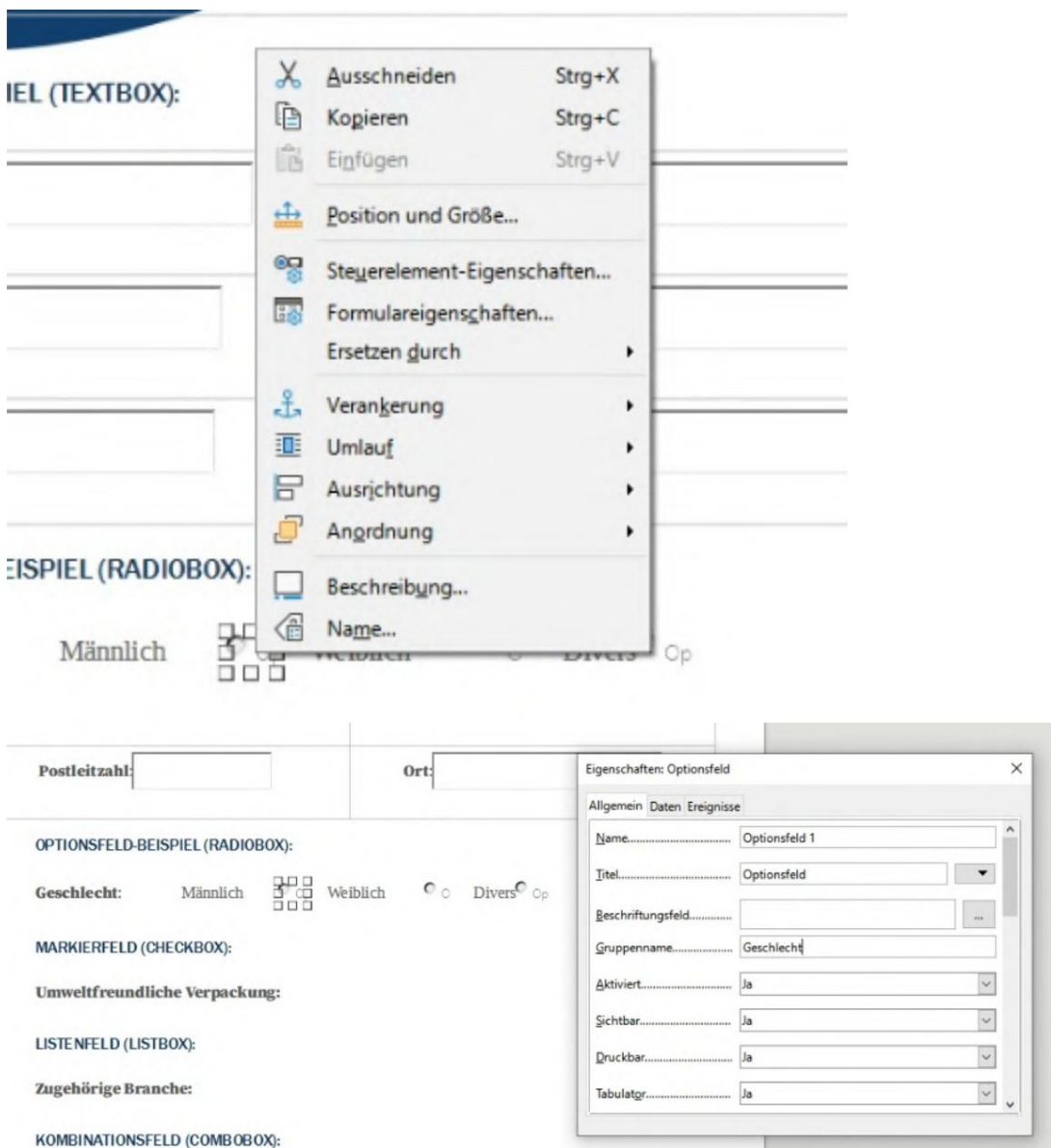


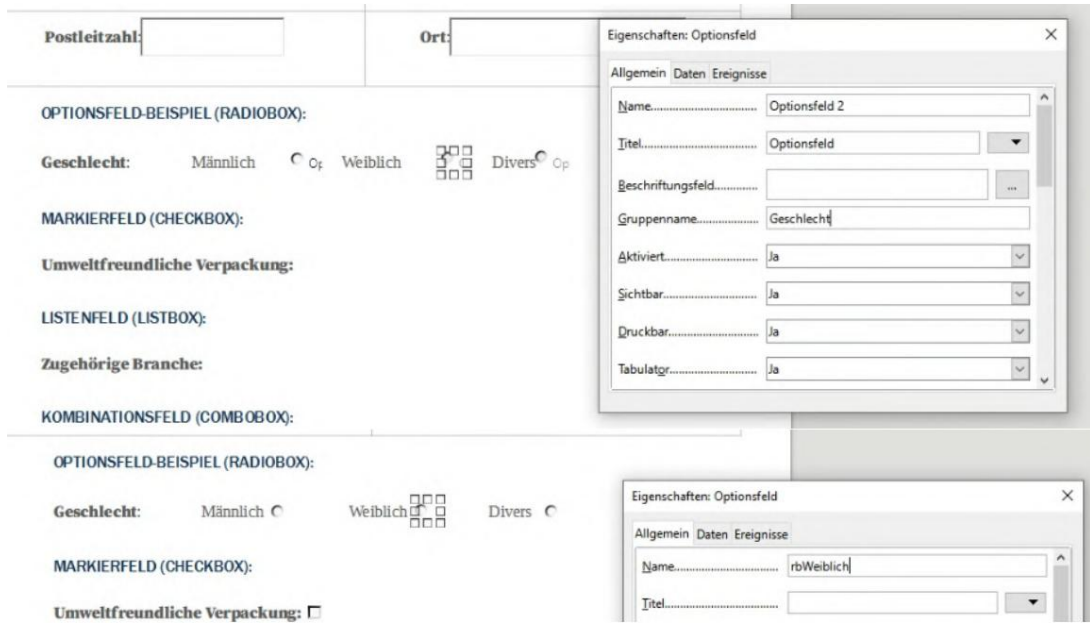
6.2.1 テキストフィールドの例 (テキストボックス)



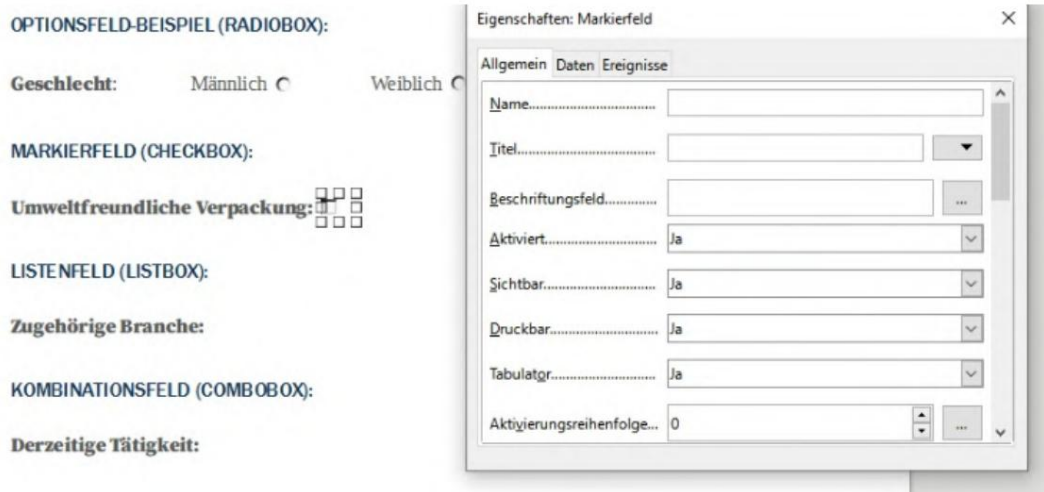


6.2.2 オプションフィールドの例（ラジオボタン）





6.2.3 マーキングフィールド (チェックボックス)



6.2.4 リストボックス

The image displays a form design interface with several input fields and a context menu. The fields include:

- Straße:** Text input field
- Hausnummer:** Text input field
- Postleitzahl:** Text input field
- OPTIONSFELD-BEISPIEL (RADIOBOX):** Radio buttons for **Geschlecht:** Männlich (selected), Weiblich
- MARKIERFELD (CHECKBOX):** **Umweltfreundliche Verpackung:**
- LISTENFELD (LISTBOX):** **Zugehörige Branche:** List box with a dropdown arrow

A context menu is open over the list box, showing options such as:

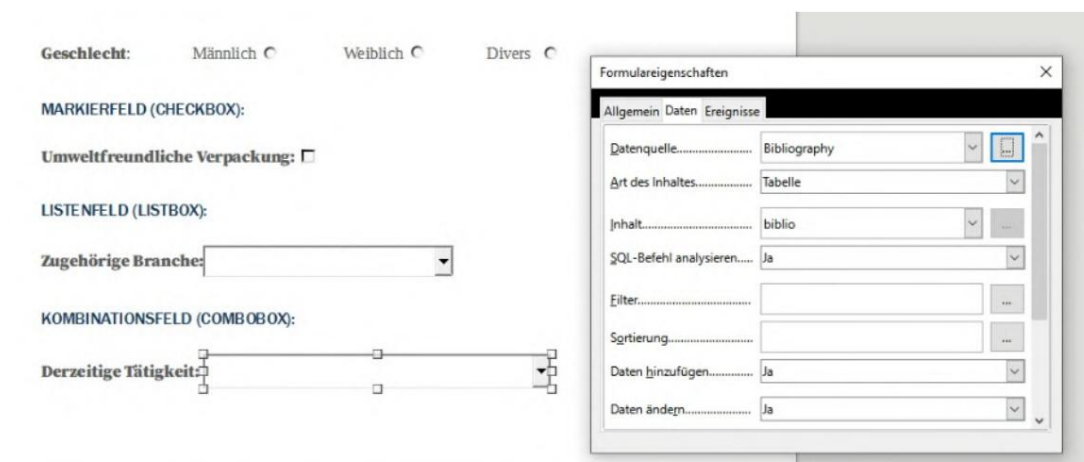
- Ausschneiden (Strg+X)
- Kopieren (Strg+C)
- Einfügen (Strg+V)
- Position und Größe...
- Steuerelement-Eigenschaften...
- Formulareigenschaften...
- Ersetzen durch
- Verankerung
- Umlauf
- Ausrichtung
- Anordnung
- Beschreibung...
- Name...

Below the main form, there is a smaller version of the form and a dialog box titled "Eigenschaften: Listenfeld". The dialog box has tabs for "Allgemein", "Daten", and "Ereignisse". The "Daten" tab is active, showing:

- Datenfeld:** [Empty]
- Eingabe erforderlich:** Nein
- Art des Listeninhalts:** Werteliste
- Listeninhalt:** ITIndustrialCake-Factory
- Gebundenes Feld:** 1

A small preview window shows the list content: IT Industrial Cake-Factory.

6.2.5 コンボボックス



6.3 署名の作成

署名は Acrobat Reader で作成できます。これを行う方法については、<https://helpx.adobe.com/sign/using/create-electronic-signature> を参照してください。html/. Acrobat を使用して署名を作成した後、この署名は .pfx ファイルとしてパス %appdata%\Adobe\Acrobat\DC\ Security にあります。この .pfx ファイルは、BulkPDF で使用できます。(パスワードの入力に注意してください。)

6.4 日付のフォーマット

日付の書式設定には書式設定文字列が使用されます。この文字列は、形式を定義するいくつかの文字で構成されます。形式 dd.mm.yyyy は有効な日付形式であり、たとえば、日、月、年を出力します (例: 11/25/2021)。

Microsoft .NET ドキュメント[2]の次の表を参照してください。

フォーマット指定子	説明 ¹ から 31 まで	例
'd'	での日付。 詳細: 'd'カスタム形式指定子。	2009-06-01T13:45:30 ->1 2009-06-15T13:45:30 ->15
'dd'	01 から 31 までの月の日付。 詳細: 'dd'カスタム形式指定子。	2009-06-01T13:45:30 ->01 2009-06-15T13:45:30 ->15
'ddd'	曜日の短縮名。 詳細: 'ddd'カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->月 (en-US) 2009-06-15T13:45:30 ->(る-る)
'dddd'	曜日の完全な名前。 詳細: 'dddd'カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->月曜日 (米国) 2009-06-15T13:45:30 ->(る-る)
'ss'	日付と時刻の値の 10 分の 1 秒。 詳細については、「f」カスタム形式指定子を参照してください。	2009-06-15T13:45:30.6170000 ->6 2009-06-15T13:45:30.05 ->0

「ふ」	日付と時刻の値の 100 分の 1 秒。 詳細: 「ff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6170000 ->61 2009-06-15T13:45:30.0050000 ->00
「ふふ」	日付と時刻の値のミリ秒。 詳細: 「fff」カスタム形式指定子。	2009/6/15 13:45:30.617 ->617 2009/6/15 13:45:30.0005 ->000
「ふふふ」	日付と時刻の値の 10,000 分の 1 秒。 詳細: 「ffff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175000 ->6175 2009-06-15T13:45:30.0000500 ->0000
「ふふふふ」	日付と時刻の値の 100,000 分の 1 秒。 詳細: 「fffff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175400 ->61754 2009/6/15 13:45:30.000005 ->00000
「ふふふふふ」	日付と時刻の値の 100 万分の 1 秒。 詳細: 「ffffff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175420 ->617542 2009-06-15T13:45:30.0000005 ->000000
「ふふふふふふ」	日付と時刻の値の 1000 万分の 1 秒。 詳細: 「fffffff」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175425 ->6175425 2009-06-15T13:45:30.0001150 ->0001150
「ふ」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 10 分の 1 秒。 詳細: 「F」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6170000 ->6 2009-06-15T13:45:30.0500000 ->(出力なし)
「FF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 100 分の 1 秒。 詳細については、「FF」カスタム形式指定子を参照してください。	2009-06-15T13:45:30.6170000 ->61 2009-06-15T13:45:30.0050000 ->(出力なし)
「FFF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値のミリ秒。 詳細: 「FFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6170000 ->617 2009-06-15T13:45:30.0005000 ->(出力なし)
「FFFF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 10,000 分の 1 秒。 詳細: 「FFFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.5275000 ->5275 2009-06-15T13:45:30.0000500 ->(出力なし)
「ふふふふ」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 100,000 分の 1 秒。 詳細: 「FFFFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175400 ->61754 2009-06-15T13:45:30.0000050 ->(出力なし)
「FFFFFF」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 100 万分の 1 秒。 詳細: 「FFFFFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175420 ->617542 2009-06-15T13:45:30.0000005 ->(出力なし)
「ふふふふふ」	ゼロ以外の場合、日付と時刻の値の 1000 万分の 1 秒。 詳細: 「FFFFFFF」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6175425 ->6175425 2009-06-15T13:45:30.0001150 ->000115
「g」、「G」	時代とか時代とか。 詳細: 「g」または「G」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30.6170000 ->AD
「h」	1 から 12 までの 12 時間制を使用した時間。 詳細: 「h」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:45:30 ->1 2009-06-15T13:45:30 ->1
「ふーん」	01 から 12 までの 12 時間制を使用した時間。 詳細: 「hh」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:45:30 ->01 2009-06-15T13:45:30 ->01
「H」	0 から 23 までの 24 時間制を使用した時間。 詳細: 「H」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:45:30 ->1 2009-06-15T13:45:30 ->13
「へー」	00 から 23 までの 24 時間制を使用した時間。 詳細: 「HH」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:45:30 ->01 2009-06-15T13:45:30 ->13
「き」	タイムゾーン情報。 詳細: 「K」カスタム形式指定子。	DateTime 値の場合: 2009-06-15T13:45:30、種類が指定されていません -> 2009-06-15T13:45:30、親切な UTC ->Z 2009-06-15T13:45:30、親切ローカル ->-07:00 (ローカル コンピューターの設定によって異なります) DateTimeOffset 値の場合: 2009-06-15T01:45:30-07:00 ->-07:00 2009-06-15T08:45:30+00:00 ->+00:00
「ん」	0 から 59 までの分。 詳細: 「m」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:09:30 ->9 2009-06-15T13:29:30 ->29
「んん」	00 から 59 までの分。 詳細: 「mm」カスタム形式指定子。	2009-06-15T01:09:30 ->09 2009-06-15T01:45:30 ->45
「ま」	1 から 12 までの月。 詳細: 「M」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->6
「んんん」	01 から 12 までの月。 詳細: 「MM」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->06

"ラーン"	月の略称。 詳細: 「MMM」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 -> ジュン (en-US) 2009-06-15T13:45:30 -> ジュイン (仏-仏) 2009-06-15T13:45:30 -> ジュン (ZAへ)
"んー"	月の完全な名前。 詳細: 「MMMM」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 -> 6月 (en-US) 2009-06-15T13:45:30 -> 6月 (da-DK) 2009-06-15T13:45:30 -> u6月 (ZAへ)
「す」	2番目は 0 から 59 までです。 詳細: 「s」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:09 -> 9
「SS」	2番目は 00 から 59 までです。 詳細: 「ss」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:09 -> 09
「て」	AM/PM 指定子の最初の文字。 詳細: 「t」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 -> P (en-US) 2009-06-15T13:45:30 -> (はい-JP) 2009-06-15T13:45:30 -> (フランス-フランス)
「っ」	AM/PM 指定子。 詳細: 「tt」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 -> PM (en-US) 2009-06-15T13:45:30 -> (はい-JP) 2009-06-15T13:45:30 -> (フランス-フランス)
「年」	0 から 99 までの年。 詳細: 「y」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 -> 1 0900-01-01T00:00:00 -> 0 1900-01-01T00:00:00 -> 0 2009-06-15T13:45:30 -> 9 2019-06-15T13:45:30 -> 19
「ええ」	00 から 99 までの年。 詳細: 「yy」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 -> 01 0900-01-01T00:00:00 -> 00 1900-01-01T00:00:00 -> 00 2019-06-15T13:45:30 -> 19
「ええ」	最低 3 桁の年。 詳細: 「yyy」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 -> 001 0900-01-01T00:00:00 -> 900 1900-01-01T00:00:00 -> 1900 2009-06-15T13:45:30 -> 2009
「ええ」	4 桁の数字で表される年。 詳細: 「yyyy」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 -> 0001 0900-01-01T00:00:00 -> 0900 1900-01-01T00:00:00 -> 1900 2009-06-15T13:45:30 -> 2009
「ええ」	5 桁の数字で表される年。 詳細: 「yyyyy」カスタム形式指定子。	0001-01-01T00:00:00 -> 00001 2009-06-15T13:45:30 -> 02009
「ズ」	UTC からのオフセット時間 (先行ゼロなし)。 詳細については、「z」カスタム形式指定子を参照してください。	2009-06-15T13:45:30-07:00 -> -7
「zz」	UTC からの時間オフセット 1 桁の値の場合は先頭にゼロが付きます。 詳細: 「zz」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30-07:00 -> -07
「ズズ」	UTC からの時間と分。 詳細: 「zzz」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30-07:00 -> -07:00
「:」	時刻区切り文字。 詳細: 「:」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 -: (en-US) 2009-06-15T13:45:30 ->。 (イットHT) 2009-06-15T13:45:30 -: (はい-JP)
「/」	日付区切り文字。 詳細: 「/」カスタム形式指定子。	2009-06-15T13:45:30 ->/ (en-US) 2009-06-15T13:45:30 ->。 (ar-DZ) 2009-06-15T13:45:30 ->。 (TR-TR)

"弦"	リテラル文字列区切り文字。	2009-06-15T13:45:30 ("arr:" h:mt) ->arr: 1:45 P
'弦'	詳細: 文字リテラル。	2009-06-15T13:45:30 ('arr:' h:mt) ->arr: 1:45 P
%	次の文字をカスタム書式指定子として定義します。 詳細: 単一のカスタム形式指定子の使用。	2009-06-15T13:45:30 (%h) ->1
\	エスケープ文字。 詳細については、「文字リテラル」および「エスケープ文字の使用」を参照してください。	2009-06-15T13:45:30 (時間:時間) ->1 時間
他のキャラクターでも	文字は変更されずに結果文字列にコピーされます。 詳細: 文字リテラル。	2009-06-15T01:45:30 (arr hh:mm t) ->arr 01:45 A

6.5 接続文字列

ユーザー名とパスワード接続の有効な接続文字列の例は次のとおりです。

```
1 サーバー=myServer;データベース=myDataBase;ユーザーID=myUser;パスワード=myPassword;
```

Active Directory ログインを使用した「信頼された接続」の場合:

```
1 サーバー=myServer;データベース=myDataBase;Trusted_Connection=True;
```

さらなる例については、次の Web サイト<https://www.connectionstrings.com/sql-server/>をご覧ください。

6.6 ドキュメントの同時印刷

作成したすべてのドキュメントをすぐに物理的に印刷する場合は、最後のプログラム ページで [すべてのドキュメントを結合して標準 PDF ビューアを開く (一括印刷など)] ボタンを使用できます。さらに確認した後、すべてのドキュメントが再作成され、全体的な PDF ドキュメントに結合されます。作成されたドキュメントは標準の PDF ビューアで開かれ、そこからすぐに印刷できます。

ここでは、印刷オプションを使用して、印刷しないページを設定することもできます。



よくある質問

(よくある質問)

7.1 BulkPDF Business のシステム要件は何ですか？

Windows 7、Windows 8、Windows 10、および Windows 11 と互換性があります。
インストールには約 500 MB のディスク容量が必要です。このプログラムでは、ライセンスのアクティベーションのために 1 回限りのインターネット接続が必要です。

7.2 BulkPDF がインストールされません。【Windowsスマートスクリーン】

ダウンロードしたインストールファイルをダブルクリックすると、
「コンピューターは Windows によって保護されています」または「Windows スマート スクリーンにより不明なアプリの起動が妨げられました」などのメッセージが返される必要があります
インストールはウィンドウ内の「詳細情報」テキストをクリックします。
そして「とにかく実行」をクリックします。
このようなメッセージは、実行可能プログラムが比較的最近作成され、Microsoft がまだ認識していない場合に Microsoft によって表示されます。マイクロソフト
バックグラウンドでexeファイルを自動的にアップロードして分析します
プログラムのバージョンがすでに多くのコンピュータでしばらく使用されている場合は、このメッセージを他の人に表示しないでください。したがって、それは可能です
残念ながら、プログラムのバージョンが新しくなるたびに問題が再発します。

7.3 ファイルやデータはアップロードされるか放棄されるか

どういうわけか私のコンピュータ？

いいえ！データはコンピュータ上に単独で残ります。BulkPDFは何もロードしません

データを任意のサーバーにアップロードします。プログラムは、少数の場合にのみ BulkPDF サーバーへの接続を確立します。これらのケースには、1 回限りのライセンスのアクティベーション、プログラムの更新の検索、ライセンスが現在複数のコンピューターで同時に使用されているかどうかの確認などが含まれます。

7.4 プログラムは Mac OS でも利用できますか？

いいえ、ただし Parallels Desktop for Mac を使用すると、Mac 上でプログラムを実行できます。
(<https://www.Parallels.com/>を参照)

7.5 ライセンスを同時に使用できるユーザーの数 なる？

これは選択したオファーによって異なります。個別のライセンスは一度に 1 ユーザーのみが使用できますが、ターミナル サーバー ライセンスは、オファーに応じて、たとえば複数のユーザーが同時に使用できます。

多分。

7.6 ライセンスは何台のコンピュータで使用できますか？

ライセンスは複数のコンピュータにインストールできますが、一度に使用できるのはそのうちの 1 台のコンピュータのみです。アプリケーションの起動時および使用中に、ライセンスがすでに複数のコンピュータで使用されているかどうかチェックされます。その場合、そのコンピュータが再びソフトウェア ライセンスを使用する唯一のコンピュータになるまで、プログラムはデモ モードに戻されます。それまでは、進行状況が失われることはなく、プログラムが自動的に終了したりすることはありません。唯一の違いは、作成された PDF ドキュメントにウォーターマークが表示されることと、同時に作成できる PDF ドキュメントの数が再び制限されることです。

7.7 「ライセンス キーは現在使用されています」というメッセージが表示されます すでにいくつかのデバイスで使用されています。」それはどういう意味ですか？

これは、ライセンスが過去 15 分間に複数のコンピューターで使用されており、別のコンピューターで同時に使用できないことを意味します。過去 15 年間に複数のコンピュータでライセンスを使用した場合

同時に数分経過し、プログラムがそこで再び閉じられた場合、遅くとも 15 分後には現在のコンピュータで BulkPDF Business を再度実行できるようになります。これに当てはまらず、現在プログラムが実行されている他のコンピュータを知らない場合は、ライセンス コードの盗難の可能性を排除できません。この場合は、サポートに連絡して、仕事に戻るための解決策を一緒に見つけてください。

7.8 PDF プレビューでは、フォームフィールドが表示されません。

正しい位置またはずれた位置

この場合は、「システム PDF ビューアで開く」ボタンを使用し、そこで文書が正しく表示されるかどうかを確認してください。まれに、プレビューで PDF ファイルが Acrobat Reader や Web ブラウザーなどとは異なる方法で処理されることがあります。

7.9 BulkPDF Business には PDF フォーム フィールドがありません

表示される

BulkPDF では、PDF ドキュメント内に PDF フォーム要素が必要です。たとえば、PDF ドキュメントを印刷して再度スキャンすると、そのドキュメントは PDF 形式のドキュメントではなくなります。PDFドキュメント

PDF 形式のドキュメントに含まれる技術的な背景データが含まれていない、単なる複数ページの画像になります。このバックグラウンド データがないと、BulkPDF Business はフィールドに入力できなくなります。

解決策 1 BulkPDF Business の特殊フィールドを使用して画像をオーバーレイできます。

たとえば、テキスト ボックス、チェック ボックス、またはラジオ ボタンをカスタム フィールドとして画像上にオーバーレイし、カスタム フィールドにデータ ソースを入力できます。詳細については、セクション1.5.4 を参照してください。

解決策 2適切なソフトウェアを使用して新しい PDF フォーム要素を作成し、表示されているフィールド上に配置できます。これにより、BulkPDF Business が検出され、再びフィールドに自動的に入力できるようになります。

7.10 Acrobat Reader で Unicode 文字が正しく表示されない

(中国語、キリル文字、アラビア語など)

Acrobat Reader で Unicode 文字を正しく表示するには、追加のフォント パッケージが必要です。

32 ビット インストールの場合、フォント パッケージは<https://helpx.adobe.com/acrobat/kb/windows-font-packs-32-bit-reader.html>で見つけるには。

64 ビット インストールの場合、フォント パッケージは<https://helpx.adobe.com/acrobat/kb/font-pack-spelling-dictionary-64-bit-windows.html>の準備ができてダウンロード。

7.11 Windows が間違った PDF ビューアを開き続ける

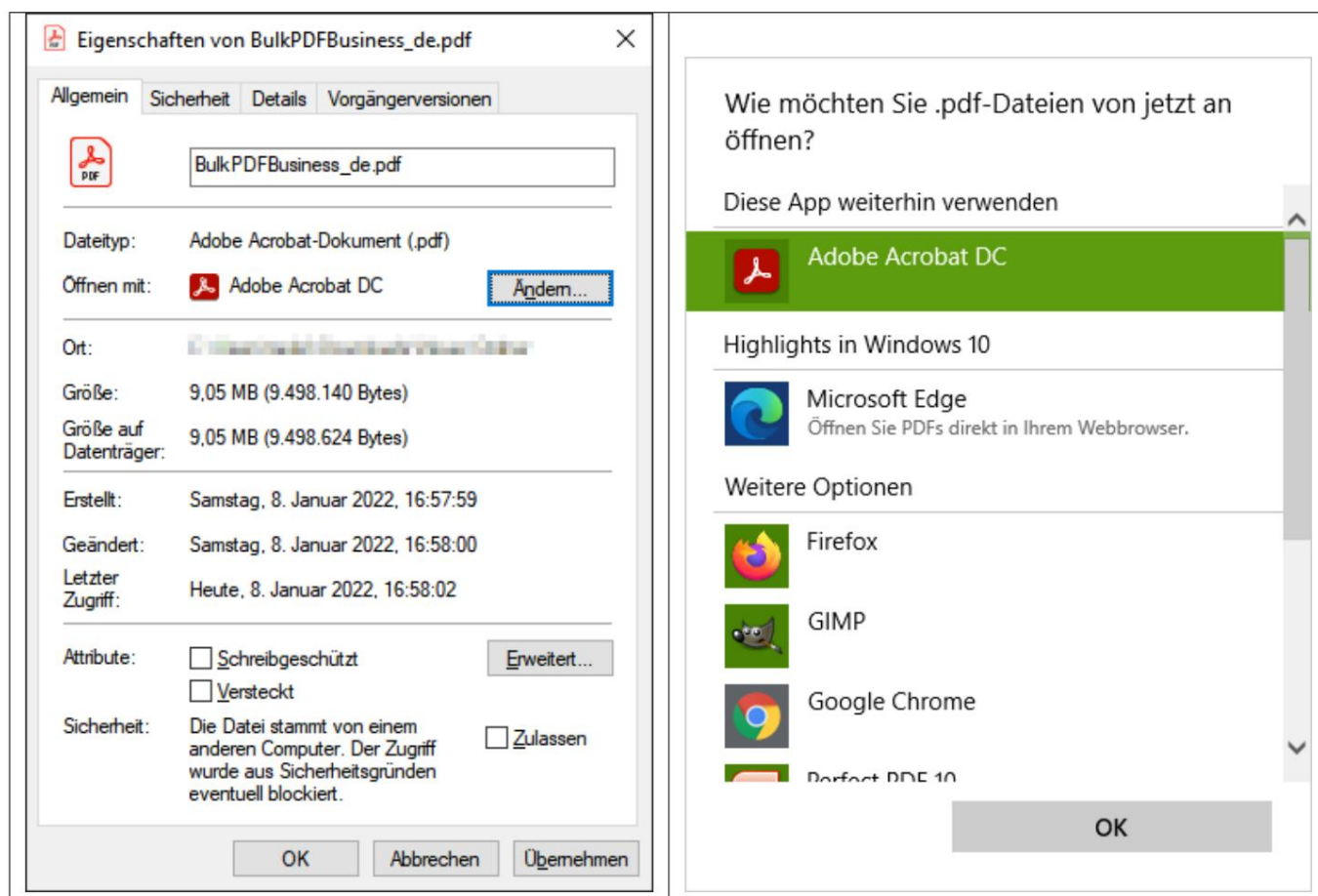
または PDF ファイルを閲覧するための Web ブラウザ (Chrome, Edge)

たとえば、常に Edge ブラウザまたは別の不要なブラウザを使用する場合は、

PDF ファイルをダブルクリックするとプログラムが開きますが、デフォルトの PDF ビューアが正しく設定されていません。これは、

PDF ファイルを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。開いたウィンドウの「変更」ボタンの「プログラムから開く」項目でデフォルトの PDF ビューアを設定するメニューを開くことができます。最も可能性の高いケースでは、それを選択するでしょう

「Adobe Acrobat」プログラムがインストールされている場合。



7.12 System.InvalidCastException: データをブール値に変換できませんでした

このエラーは、「チェックボックス」に非ブール値 (yes または no) を書き込もうとしたときに発生します。受け入れられる値については、第 1.4.2 章をもう一度読んでください。

7.13 System.IndexOutOfRangeException: "X 個のラジオ ボタンのみ

グループのが見つかりました。選択されたインデックスは Y でした。」

このエラーは、「ラジオ ボタン」で使用する数値よりも大きい数値を使用すると発生します。合計があります。たとえば、「ラジオ ボタン」グループに「ラジオ ボタン」が 3 つしかないときに、フィールドに 4 を書き込もうとすると、エラーが発生します。このインデックスにはラジオ ボタンがあるため、1 ~ 3 が有効な値となります。一方、4 の場合は「ラジオボタン」がないため、エラーが表示されます。

7.14 System.InvalidOperationException: 「Microsoft.ACE.OLEDB.12.0」プロバイダーがローカル マシンに登録されていません。

このエラーは、Microsoft Access データベース エンジン 2010 Redis が実行されている場合に発生します。tributable 64 ビット バージョンがコンピュータにインストールされていません。これは水曜日から可能です
クロソフト: <http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=13255>

7.15 Excel ファイルでデータが認識されません。

この場合、テーブルの先頭に空の列や空の行があるなど、必要なデータ構造が守られていない可能性があります。最初の行にテキストとして列名が指定されていない場合も、列は空とみなされます。もう一度例を見てください

セクション 1.3.2 で説明します。

7.16 日付フィールドも 00:00:00 で指定されます。どうやって

これは削除できますか？

日付から時間を削除するには、フィールドで時刻/日付の書式設定を有効にし、対応する書式設定文字列を挿入する必要があります (セクション 6.4 を参照)。たとえば、書式設定文字列「dd.MM.yyyy」(大文字と小文字が区別されます) の結果は「16.06.2022」になります。たとえば、書式設定文字列「MM-dd-yyyy」の結果は次のようになります。

「06-16-2022」および「dd/MM/yyyy」（例: 「16/06/2022」）。詳細については、セクション 3.3.8 を参照してください。

7.17 データ ソース ファイル (Excel、CSV など) がある、または PDF ファイルを移動しました。BulkPDF は引き続き動作しますか ビジネス設定ファイル?

はい。ただし、データ ソースまたは PDF ファイルへの有効なファイル パスが再度含まれる場合に限られます。構成ファイルを開くと、BulkPDF Business はファイルが見つからないことを通知し、ファイルの新しいパスを選択できるようにします。その後、設定が再び正常にロードされます。

7.18 バッチ スクリプト経由でコンソール アプリケーションを呼び出すと、ドイツ語のウムラウトなどの文字が正しく転送されない

この場合、バッチスクリプト内に「コードページ」を定義する必要があります。
たとえば、ドイツ語のウムラウトの場合、これはスクリプトの先頭にあるコマンド「chcp 1252」で機能します。
「コード ページ」の詳細については、<https://ss64.com/nt/chcp.html>を参照してください。

7.19 フィールドの複数の列の組み合わせ

BulkPDF Business では、データ フィールドを結合する関数を直接使用することはできません。ただし、XLSX ファイルで Excel 関数を使用することはできます。たとえば、データを結合するには、複数のセルを 1 つのセルに結合する Excel 関数 CONCAT を使用できます。

単一細胞が一緒に。ただし、システムによって関数名が異なる場合があるので注意してください。必要なデータを新しい列に結合した後、BulkPDF Business のソースとして使用できます。

PDF フォームフィールドの場合。

7.20 「チェックボックス」または「ラジオボタン」はデータと事前に従ってください。

ビューは XFA PDF で選択できますが、Acrobat で選択されます。

読者

これは、XFA との互換性が限られていることに関係しています。ただし、すべての要素に「書き込み保護」を適用することで要素を保護することは可能です。

他の PDF ビューアとの互換性を持たせるためです。この調整後
要素が正しく選択されている場合は、変更できなくなります。現時点では、これらの XFA 要素をプリコンパ
イルする方法はわかりません。
XFA ドキュメントの場合は特定の値。

7.21 生成された PDF の数値形式を変更するにはどうすればよいですか

正しい？テーブルに設定されている形式は維持されません。たとえば、小
数点以下 2 桁の数値を入力するにはどうすればよいですか？

最後にユーロ記号はありますか？

Excel は数値を純粋な値として保存し、ユーロ記号などの追加の詳細はメタデータとして考慮されます。
片道ご希望のフォーマット

BulkPDF Business では、番号をテキスト フィールドに変換します。

掘り下げるこれはExcel 関数=TEXT(A1;"#.##0.00 ")で実現できます。

Excel の関数と形式オプションの詳細については、 <https://>を参照してください。

support.microsoft.com/en-gb/office/text-function-20d5ac4d-7b94-49fd-bb38-93d29371

8位

参考文献

<https://bulkpdf.de/>

[1] BulkPDF Webサイト

[2] .NET の日付形式 <https://docs.microsoft.com/en-us/dotnet/standard/base-types/custom-date-and-time-format-strings>

docs.microsoft.com/en-us/dotnet/standard/base-types/custom-date-and-time-format-strings

[3] LibreOffice Writer で入力可能な PDF フォームを作成する方法

<https://www.linuxuprising.com/2019/02/how-to-create-fillable-pdf-forms-with.html>

[4] オリジナルのオンライン無料 PDF エディターおよびフォーム入力ツール。

<https://www.pdfescape.com/>

[5] JavaScriptのオブジェクト表記

<https://en.wikipedia.org/wiki/JSON>

[6] 絶対パスと相対パス - Wikipedia [https://en.wikipedia.org/wiki/Path_\(computing\)#Absolute_and_relative_paths](https://en.wikipedia.org/wiki/Path_(computing)#Absolute_and_relative_paths)

[7] ExcelDataReader
<https://github.com/ExcelDataReader/ExcelDataReader>